

# 転出者・転入者への アンケート調査結果

平成29年12月  
静岡市企画課

# 目次

項 目		頁	
I. アンケート の概要	1 目的	1	
	2 実施方法等	1	
	3 協力者	1	
	4 回収状況	1	
	5 集計期間の人口動態	2	
II. 転出	1 回答者（転出者）の属性__転出した人数別転出件数	4	
	2 回答者（転出者）の属性__男女別転出者数	5	
	3-1 回答者（転出者）の属性__転出先別転出件数	6	
	3-2 回答者（転出者）の属性__転出先別転出者数	7	
	4 回答者（転出者）の属性__年齢区分別転出者数	8	
	5 転出理由（大分類）別件数	9	
	6-1 年齢区分別転出理由（大分類）数（静岡市）	11	
	6-2 年齢区分別転出理由（大分類）数（静岡市・男）	12	
	6-3 年齢区分別転出理由（大分類）数（静岡市・女）	13	
	6-4 年齢区分別転出理由（大分類）数（葵区）	14	
	6-5 年齢区分別転出理由（大分類）数（駿河区）	15	
	6-6 年齢区分別転出理由（大分類）数（清水区）	16	
	6-7 転出した人数別転出理由（大分類）数（率）	17	
	7-1-1 転出理由「①仕事」の転出理由（小分類）数（複数回答）	18	
	7-1-2 転出理由「就職」の転出先別転出件数	19	
	7-1-3 転出理由「就職」の転出理由（小分類）数（複数回答）	20	
	7-1-4 転出理由「就職」、転出先「東京」の転出理由（小分類）数（複数回答）	21	
	7-1-5 転出理由「転勤」の転出先別転出件数	22	
	7-1-6 転出理由「転勤」の転出理由（小分類）数（複数回答）	23	
	7-1-7 転出理由「転職」の転出先別転出件数	24	
	7-1-8 転出理由「転職」の転出理由（小分類）数（複数回答）	25	
	7-2-1 転出理由「②進学」の転出理由（小分類）数（複数回答）	26	
	7-2-2 転出理由「進学」の転出先別転出件数	27	
	7-2-3 転出理由「進学」、転出先「東京」の転出理由（小分類）数（複数回答）	28	
	7-3-1 転出理由「③暮らし」の転出理由（小分類）数（複数回答）	29	
	7-3-2 転出理由「住宅取得」の転出先別転出件数	30	
	7-3-3 転出理由「住宅取得」の転出理由（小分類）数（複数回答）	31	
	7-3-4 転出理由（小分類）「結婚を機に転居」を選択した転出先別転出件数	32	
	7-3-5 転出理由（小分類）「結婚を機に転居」を選択した年齢区分別男女別人数	33	
	8 転出先別転出理由（大分類）数	34	
	9 届出の時期別転出理由（大分類）数	35	
	10 転出理由（大分類）別静岡市に戻る希望の有無	36	
	III. 転入	1 回答者（転入者）の属性__転入した人数別転入件数	37
		2 回答者（転入者）の属性__男女別転入者数	38
		3-1 回答者（転入者）の属性__転入元別転入件数	39
		3-2 回答者（転入者）の属性__転入元別転入者数	40

# 目次

項 目		頁		
Ⅲ. 転入	4	転入者数の構成（年齢区分別）	41	
	5	転入理由（大分類）別件数	42	
	6-1	年齢区分別転入理由（大分類）数（静岡市）	44	
	6-2	年齢区分別転入理由（大分類）数（静岡市・男）	45	
	6-3	年齢区分別転入理由（大分類）数（静岡市・女）	46	
	6-4	年齢区分別転入理由（大分類）数（葵区）	47	
	6-5	年齢区分別転入理由（大分類）数（葵区）	48	
	6-6	年齢区分別転入理由（大分類）数（葵区）	49	
	6-7	転入した人数別転入理由（大分類）数（率）	50	
	7-1-1	転入理由「①仕事」の転入理由（小分類）数（複数回答）	51	
	7-1-2	転入理由「就職」の転入元別転入件数	52	
	7-1-3	転入理由「就職」の転入理由（小分類）数（複数回答）	53	
	7-1-4	転入理由「就職」、転入元「県外」の転入理由（小分類）数（複数回答）	54	
	7-1-5	転入理由「転勤」の転入元別転入件数	55	
	7-1-6	転入理由「転勤」の転入理由（小分類）数（複数回答）	56	
	7-1-7	転入理由「転職」の転入元別転入件数	57	
	7-1-8	転入理由「転職」の転入理由（小分類）数（複数回答）	58	
	7-2-1	転入理由「②進学」の転入理由（小分類）数（複数回答）	59	
	7-2-2	転入理由「進学」の転入元別転入件数	60	
	7-3-1	転入理由「③暮らし」の転入理由（小分類）数（複数回答）	61	
	7-3-2	転入理由「住宅取得」の転入元別転入件数	62	
	7-3-3	転入理由「住宅取得」の転入理由（小分類）数（複数回答）	63	
	7-3-4	転入理由（小分類）「結婚を機に転居」を選択した転入元別転入件数	64	
	7-3-5	転入理由（小分類）「結婚を機に転居」を選択した年齢区分別男女別人数	65	
	8	転入元別転入理由（大分類）数	66	
	9	届出の時期別転入理由（大分類）数	67	
	10	転入理由（大分類）別静岡市外へ移る予定の有無	68	
	Ⅳ. 区間異動	1	回答者（区間異動者）の属性_区別区間異動件数	69
		2-1	葵区からの区間異動の異動理由数（複数回答）	70
		2-2	葵区への区間異動の異動理由数（複数回答）	71
3-1		駿河区からの区間異動の異動理由数（複数回答）	72	
3-2		駿河区への区間異動の異動理由数（複数回答）	73	
4-1		清水区からの区間異動の異動理由数（複数回答）	74	
4-2		清水区への区間異動の異動理由数（複数回答）	75	
Ⅴ. まとめ・考察		1	転出	76
	2	転入	77	
参考	1	アンケート用紙（転出者用）	78	
	2	アンケート用紙（転入者用）	79	
	3	アンケート用紙（区間異動者用）	80	
	4	アンケート用紙（裏面）	81	

# I. アンケートの概要

## 1. 目的

本市の転出超過＝人口減少の理由を調べ、静岡市の人口減少対策の施策立案の資料とする。

## 2. 実施方法等

設定した抽出日に、本市の調査対象窓口において転出届、転入届または区間異動の届けを提出する方に対してアンケート調査を実施。

対象	静岡市への転入者、静岡市からの転出者および区間異動者
期間	平成28年9月16日から平成29年9月15日までの1年間
調査対象窓口	各区戸籍住民課、長田支所および蒲原支所の窓口
調査方法	抽出調査 抽出した調査日に調査対象窓口において転出入及び区間異動の届けを提出する方に転出入届等と同時記入を依頼し、回収する。
調査日（抽出日）	各月最終営業日までの4営業日および当初営業日から4営業日の96営業日
謝礼・インセンティブ	なし
回答者の特定	しない

## 3. 協力者

1年を通じた戸籍住民課でのアンケートを実施し、静岡大学との包括連携協定を活用し、アンケート項目設計から集計・分析について専門家の協力を得ながら行う。

（静岡大学では文部科学省の地方創生事業である「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」として位置付ける。）

静岡大学の協力者

土居 英二	名誉教授（経済統計学） イノベーション社会連携推進機構客員教授（地域連携コーディネーター）
岸本 道明	特任教授（COC+推進コーディネーター）
三浦有紀子	学長補佐室特任教授（URA）
皆田 潔	地域創造教育センター准教授

## 4. 回収状況

	転出者 回収数※	転入者 回収数※	区間異動者 回収数※
平成28年9月下旬～平成28年10月上旬	252	296	86
平成28年10月下旬～平成28年11月上旬	163	211	89
平成28年11月下旬～平成28年12月上旬	134	128	67
平成28年12月下旬～平成29年1月上旬	202	177	63
平成29年1月下旬～平成29年2月上旬	155	187	65
平成29年2月下旬～平成29年3月上旬	341	235	91
平成29年3月下旬～平成29年4月上旬	754	1,153	101
平成29年4月下旬～平成29年5月上旬	176	208	54
平成29年5月下旬～平成29年6月上旬	128	158	44
平成29年6月下旬～平成29年7月上旬	126	168	35
平成29年7月下旬～平成29年8月上旬	100	106	34
平成29年8月下旬～平成29年9月上旬	110	150	53
計	2,641	3,177	782

※白紙回答、理由未記入を除く

5. 集計期間の人口動態  
静岡市の人口動態（平成28年9月～平成29年8月）

年月	社 会 動 態											自然動態			人口増減
	県外移動			県内			市内			その他 増減	社会 増減	出生	死亡	自然 増減	
	転入	転出	増減	転入	転出	増減	転入	転出	増減						
平成28年 9月分	801	916	-115	380	264	116	502	502	0	-13	-12	403	597	-194	-206
内訳：男	465	504	-39	205	124	81	250	250	0	-3	39	186	334	-148	-109
女	336	412	-76	175	140	35	252	252	0	-10	-51	217	263	-46	-97
内訳：葵区	234	313	-79	98	114	-16	211	179	32	-2	-65	126	233	-107	-172
駿河区	351	381	-30	135	55	80	193	185	8	-10	48	147	176	-29	19
清水区	216	222	-6	147	95	52	98	138	-40	-1	5	130	188	-58	-53
平成28年 10月分	939	681	258	374	480	-106	526	526	0	-8	144	435	625	-190	-46
内訳：男	548	377	171	174	257	-83	264	264	0	-2	86	223	306	-83	3
女	391	304	87	200	223	-23	262	262	0	-6	58	212	319	-107	-49
内訳：葵区	354	282	72	153	120	33	218	181	37	-2	140	164	252	-88	52
駿河区	379	251	128	129	234	-105	189	215	-26	-4	-7	146	156	-10	-17
清水区	206	148	58	92	126	-34	119	130	-11	-2	11	125	217	-92	-81
平成28年 11月分	562	582	-20	357	314	43	609	609	0	2	25	440	688	-248	-223
内訳：男	328	315	13	180	166	14	291	291	0	1	28	221	352	-131	-103
女	234	267	-33	177	148	29	318	318	0	1	-3	219	336	-117	-120
内訳：葵区	169	185	-16	120	102	18	265	209	56	7	65	150	272	-122	-57
駿河区	218	238	-20	144	116	28	246	233	13	-5	16	156	172	-16	0
清水区	175	159	16	93	96	-3	98	167	-69	0	-56	134	244	-110	-166
平成28年 12月分	613	649	-36	319	316	3	521	521	0	-1	-34	443	654	-211	-245
内訳：男	347	372	-25	167	147	20	245	245	0	4	-1	230	345	-115	-116
女	266	277	-11	152	169	-17	276	276	0	-5	-33	213	309	-96	-129
内訳：葵区	208	228	-20	115	87	28	202	211	-9	5	4	152	217	-65	-61
駿河区	232	257	-25	141	131	10	199	201	-2	2	-15	162	171	-9	-24
清水区	173	164	9	63	98	-35	120	109	11	-8	-23	129	266	-137	-160
平成29年 1月分	685	705	-20	314	356	-42	570	570	0	-16	-78	430	883	-453	-531
内訳：男	398	394	4	163	183	-20	269	269	0	-12	-28	211	455	-244	-272
女	287	311	-24	151	173	-22	301	301	0	-4	-50	219	428	-209	-259
内訳：葵区	224	248	-24	104	101	3	241	217	24	0	3	155	328	-173	-170
駿河区	282	259	23	127	139	-12	175	226	-51	-11	-51	150	238	-88	-139
清水区	179	198	-19	83	116	-33	154	127	27	-5	-30	125	317	-192	-222
平成29年 2月分	766	896	-130	427	267	160	621	621	0	8	38	354	720	-366	-328
内訳：男	454	487	-33	241	139	102	298	298	0	5	74	185	333	-148	-74
女	312	409	-97	186	128	58	323	323	0	3	-36	169	387	-218	-254
内訳：葵区	218	283	-65	142	76	66	291	210	81	5	87	116	284	-168	-81
駿河区	320	359	-39	170	93	77	200	267	-67	2	-27	116	188	-72	-99
清水区	228	254	-26	115	98	17	130	144	-14	1	-22	122	248	-126	-148
平成29年 3月分	2,574	4,267	-1,693	1,376	361	1,015	1,022	1,022	0	-7	-685	432	756	-324	-1,009
内訳：男	1,472	2,404	-932	717	133	584	501	501	0	-1	-349	230	370	-140	-489
女	1,102	1,863	-761	659	228	431	521	521	0	-6	-336	202	386	-184	-520
内訳：葵区	943	1,584	-641	535	52	483	422	363	59	4	-95	142	285	-143	-238
駿河区	969	1,593	-624	489	167	322	343	405	-62	-1	-365	162	212	-50	-415
清水区	662	1,090	-428	352	142	210	257	254	3	-10	-225	128	259	-131	-356

年月	社 会 動 態											自然動態			人口増減
	県外移動			県内			市内			その他 増減	社会 増減	出生	死亡	自然 増減	
	転入	転出	増減	転入	転出	増減	転入	転出	増減						
平成29年 4月分	2,552	1,197	1,355	863	1,716	-853	668	668	0	-12	490	379	632	-253	237
内訳：男	1,592	682	910	458	1,030	-572	343	343	0	0	338	202	342	-140	198
女	960	515	445	405	686	-281	325	325	0	-12	152	177	290	-113	39
内訳：葵区	870	440	430	321	632	-311	279	245	34	5	158	117	222	-105	53
駿河区	1,134	475	659	336	701	-365	256	249	7	-2	299	137	168	-31	268
清水区	548	282	266	206	383	-177	133	174	-41	-15	33	125	242	-117	-84
平成29年 5月分	903	761	142	450	392	58	569	569	0	-16	184	417	660	-243	-59
内訳：男	535	425	110	237	231	6	293	293	0	-12	104	216	315	-99	5
女	368	336	32	213	161	52	276	276	0	-4	80	201	345	-144	-64
内訳：葵区	334	263	71	175	124	51	227	229	-2	-7	113	167	227	-60	53
駿河区	311	271	40	165	151	14	224	208	16	-9	61	135	167	-32	29
清水区	258	227	31	110	117	-7	118	132	-14	0	10	115	266	-151	-141
平成29年 6月分	773	862	-89	371	221	150	598	598	0	-14	47	426	553	-127	-80
内訳：男	452	520	-68	183	92	91	312	312	0	-7	16	215	281	-66	-50
女	321	342	-21	188	129	59	286	286	0	-7	31	211	272	-61	-30
内訳：葵区	280	298	-18	122	64	58	239	188	51	1	92	141	194	-53	39
駿河区	296	344	-48	146	73	73	229	234	-5	-8	12	154	151	3	15
清水区	197	220	-23	103	84	19	130	176	-46	-7	-57	131	208	-77	-134
平成29年 7月分	931	837	94	428	370	58	487	487	0	-16	136	421	626	-205	-69
内訳：男	529	469	60	227	214	13	242	242	0	-6	67	223	327	-104	-37
女	402	368	34	201	156	45	245	245	0	-10	69	198	299	-101	-32
内訳：葵区	299	333	-34	145	113	32	178	191	-13	6	-9	152	224	-72	-81
駿河区	366	302	64	158	148	10	215	156	59	-20	113	148	163	-15	98
清水区	266	202	64	125	109	16	94	140	-46	-2	32	121	239	-118	-86
平成29年 8月分	893	824	69	371	486	-115	563	563	0	-13	-59	440	576	-136	-195
内訳：男	513	446	67	185	245	-60	284	284	0	-6	1	225	312	-87	-86
女	380	378	2	186	241	-55	279	279	0	-7	-60	215	264	-49	-109
内訳：葵区	307	283	24	106	160	-54	250	211	39	-7	2	164	217	-53	-51
駿河区	326	325	1	152	194	-42	220	220	0	2	-39	150	152	-2	-41
清水区	260	216	44	113	132	-19	93	132	-39	-8	-22	126	207	-81	-103
平成28年9月～29年8月累計	12,992	13,177	-185	6,030	5,543	487	7,256	7,256	0	-106	196	5,020	7,970	-2,950	-2,754
内訳：男	7,633	7,395	238	3,137	2,961	176	3,592	3,592	0	-39	375	2,567	4,072	-1,505	-1,130
女	5,359	5,782	-423	2,893	2,582	311	3,664	3,664	0	-67	-179	2,453	3,898	-1,445	-1,624
内訳：葵区	4,440	4,740	-300	2,136	1,745	391	3,023	2,634	389	15	495	1,746	2,955	-1,209	-714
駿河区	5,184	5,055	129	2,292	2,202	90	2,689	2,799	-110	-64	45	1,763	2,114	-351	-306
清水区	3,368	3,382	-14	1,602	1,596	6	1,544	1,823	-279	-57	-344	1,511	2,901	-1,390	-1,734

資料：住民基本台帳

○集計期間の移動状況では、県外移動では転出超過、県内移動では転入超過となっている。

○集計期間の人口増減は、2,754人の減であった。（社会増減で196人の増、自然増減で2,950人の減）

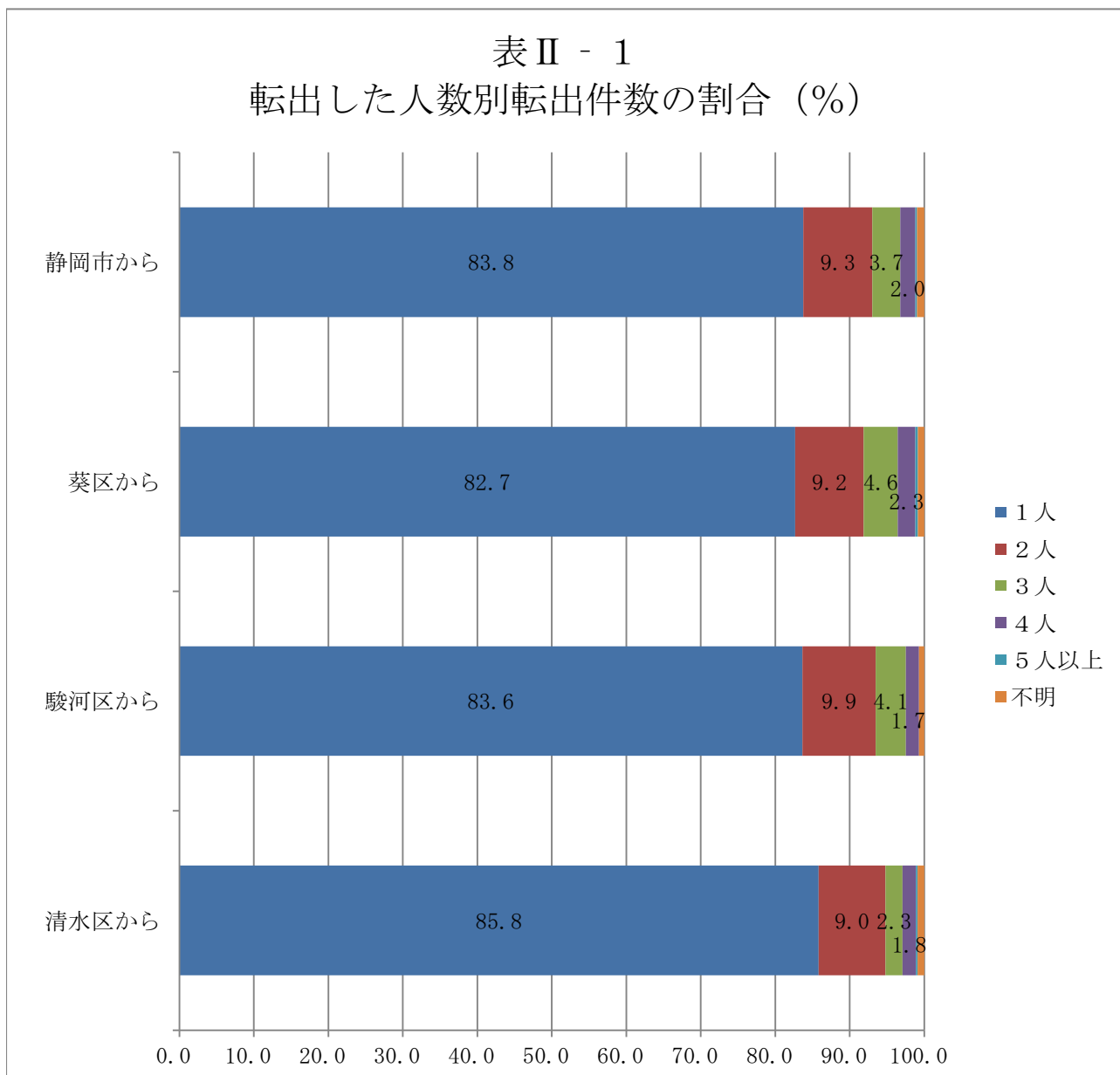
## Ⅱ. 転出

### 1. 回答者（転出者）の属性\_転出した人数別転出件数

N= 2,641

転出件数（件）※		1人で 転出	2人で 転出	3人で 転出	4人で 転出	5人以上 で転出	不明
静岡市から	2,641	2,212	245	99	53	6	26
葵区から	1,155	955	106	53	27	4	10
駿河区から	690	577	68	28	12	0	5
清水区から	789	677	71	18	14	2	7
不明	7	3	0	0	0	0	4

表Ⅱ - 1  
転出した人数別転出件数の割合（％）



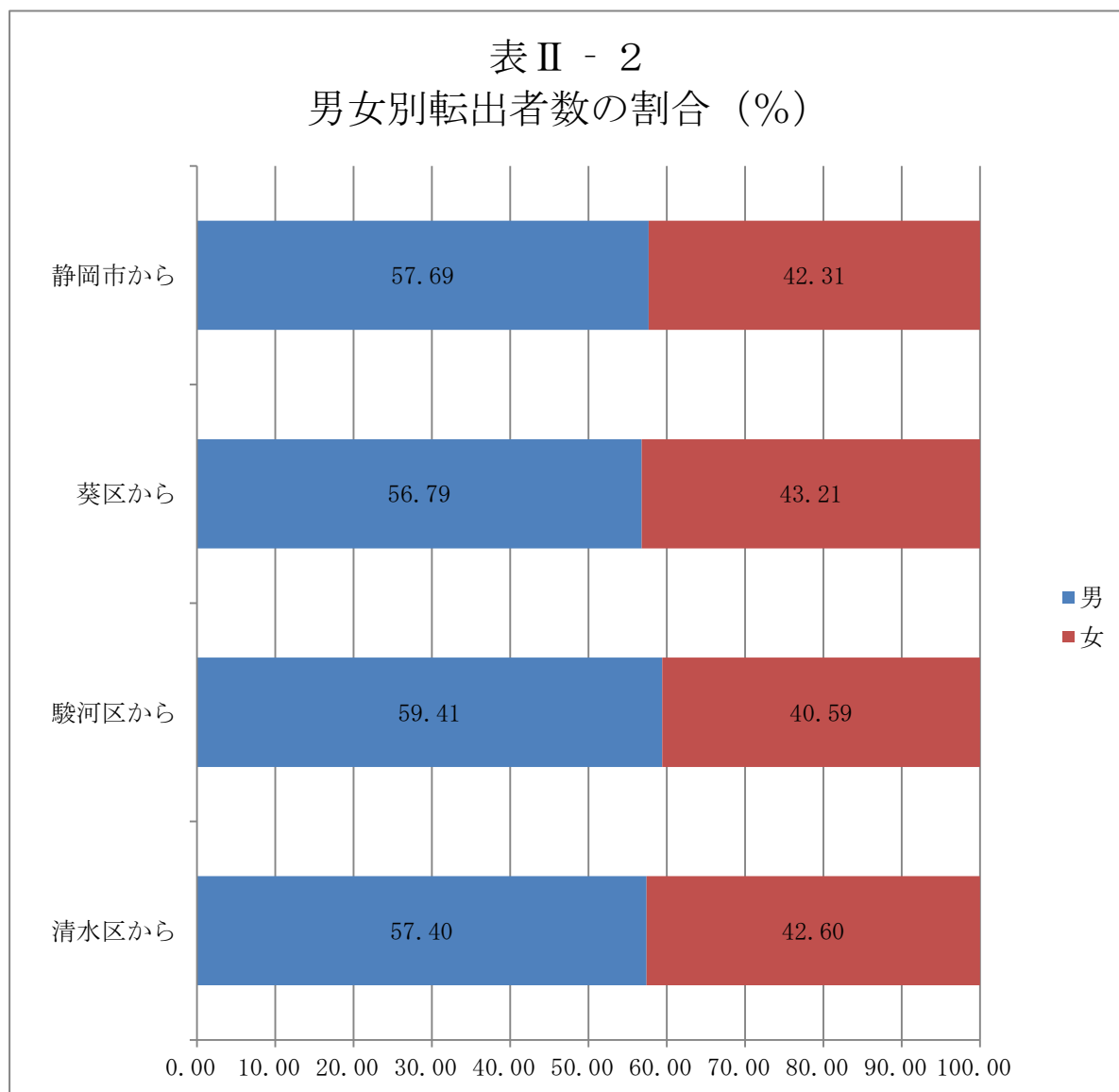
○静岡市から転出した人数別件数割合では、83%以上が単身で転出している。

○行政区別に比較すると、葵区が3人以上での転出割合が比較的多くなっている。

2. 回答者（転出者）の属性\_男女別転出者数

転出者数（人）※		男	女
静岡市から	3,245	1,872	1,373
葵区から	1,458	828	630
駿河区から	845	502	343
清水区から	939	539	400
不明	3	3	0

※転出者人数記載の調査票を集計



○静岡市から転出される男女別の割合は、男が約58%、女が約42%である。

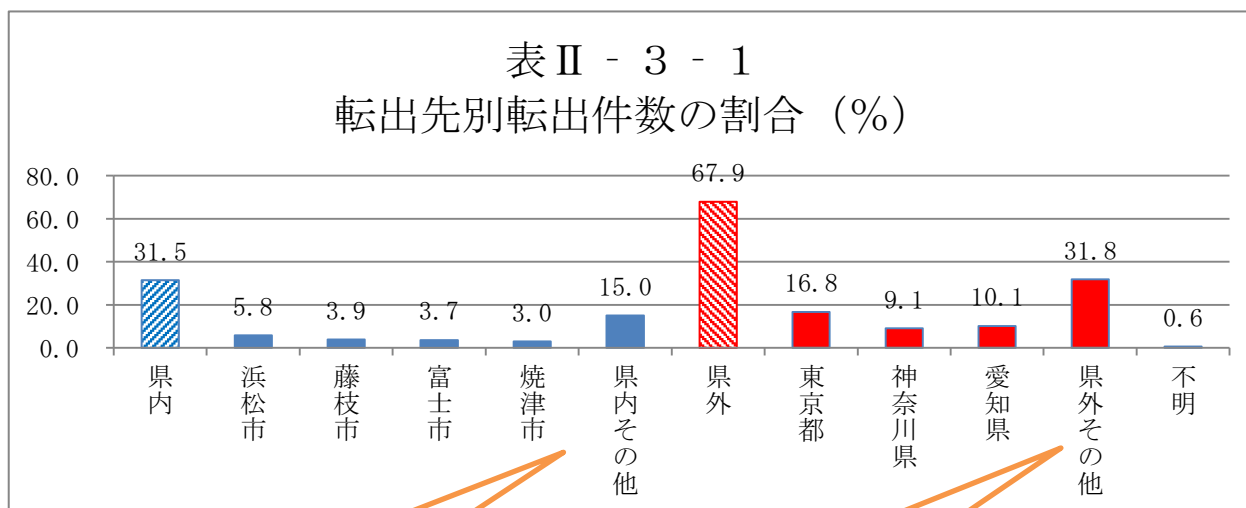
○行政区別に比較しても、顕著な違いはなかった。



3-1. 回答者（転出者）の属性\_転出先別転出件数

		N= 2,641	
		(件)	(率)
転出件数	県内	831	31.5
	浜松市	154	5.8
	藤枝市	104	3.9
	富士市	97	3.7
	焼津市	79	3.0
	その他	397	15.0
	県外	1,793	67.9
	東京都	443	16.8
	神奈川県	241	9.1
	愛知県	268	10.1
	その他	841	31.8
	不明	17	0.6

表Ⅱ-3-1  
転出先別転出件数の割合 (%)



沼津市	2.7%
島田市	1.6%
富士宮市	1.3%
掛川市	1.1%
三島市	0.9%
その他	7.2%
不明	0.3%

海外	4.1%
千葉県	4.0%
埼玉県	3.3%
大阪府	2.2%
兵庫県	1.8%
その他	16.2%
不明	0.4%

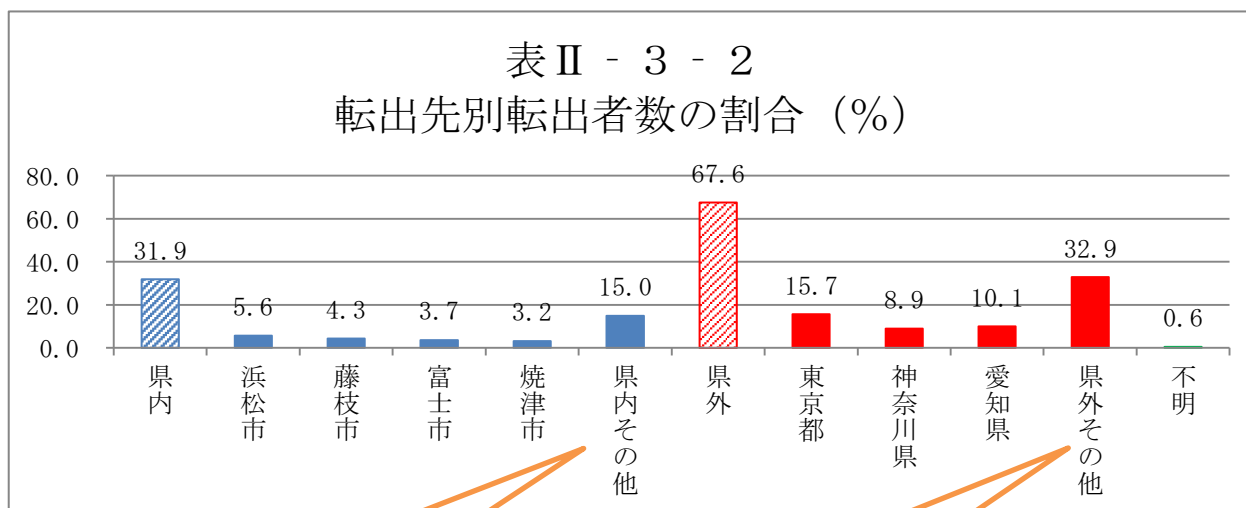
- 転出先別転出件数の割合は、県内が約32%、県外が約68%となっている。
- 県内での内訳は、浜松市、藤枝市、富士市、焼津市、沼津市の順に高くなっている。
- 県外での内訳は、東京都、愛知県、神奈川県、海外、千葉県の順に高くなっている。

3-2. 回答者（転出者）の属性\_転出先別転出者数

		(人)	(率)
転出者数 ※		3,245	100.0
	県内	1,035	31.9
	浜松市	183	5.6
	藤枝市	141	4.3
	富士市	120	3.7
	焼津市	105	3.2
	その他	486	15.0
	県外	2,192	67.6
	東京都	509	15.7
	神奈川県	290	8.9
	愛知県	327	10.1
	その他	1,066	32.9
	不明	18	0.6

※転出者人数記載の調査票を集計

表Ⅱ-3-2  
転出先別転出者数の割合（%）



沼津市	2.6%
島田市	1.6%
富士宮市	1.3%
三島市	1.0%
掛川市	1.0%
その他	7.1%
不明	0.3%

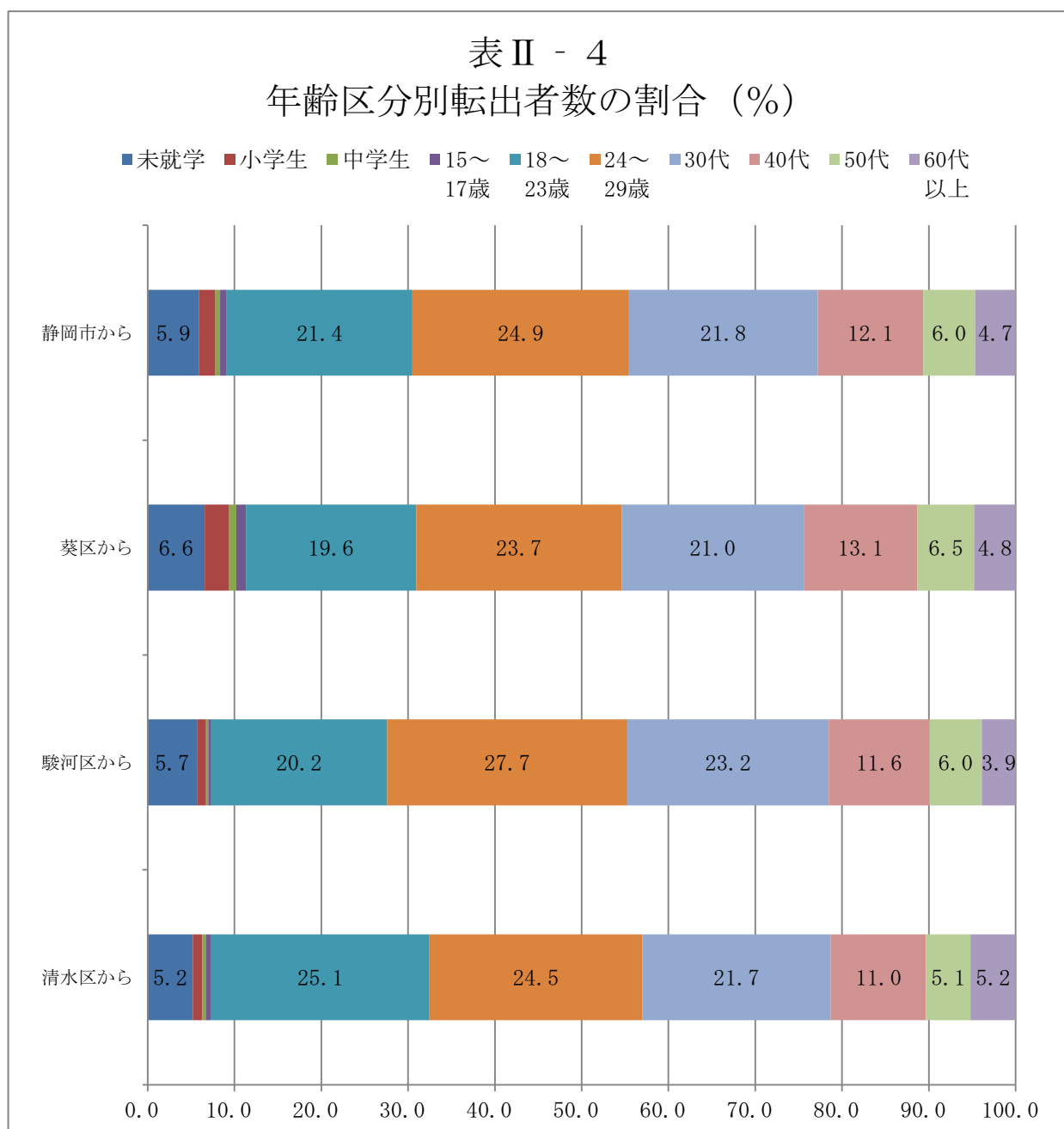
海外	4.2%
千葉県	3.8%
埼玉県	3.5%
大阪府	2.4%
兵庫県	1.8%
その他	16.6%
不明	0.6%

- 転出先別転出者数の割合は、県内が約32%、県外が約68%となっている。
- 県内での内訳は、浜松市、藤枝市、富士市、焼津市、沼津市の順に高くなっている。
- 県外での内訳は、東京都、愛知県、神奈川県、海外、千葉県の順に高くなっている。

4. 回答者（転出者）の属性\_年齢区分別転出者数

転出者数 (人) ※	年齢区分別										
	総数	未就学	小学生	中学生	15～ 17歳	18～ 23歳	24～ 29歳	30代	40代	50代	60代 以上
静岡市から	3,245	193	60	18	25	694	809	706	394	194	152
葵区から	1,458	96	41	12	16	286	345	306	191	95	70
駿河区から	845	48	9	2	3	171	234	196	98	51	33
清水区から	939	49	10	4	6	236	230	204	103	48	49
不明	3	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0

※ 転出者人数記載の調査票を集計



○年齢区分別転出者数の割合は、18歳から30代までで約68%を占めている。

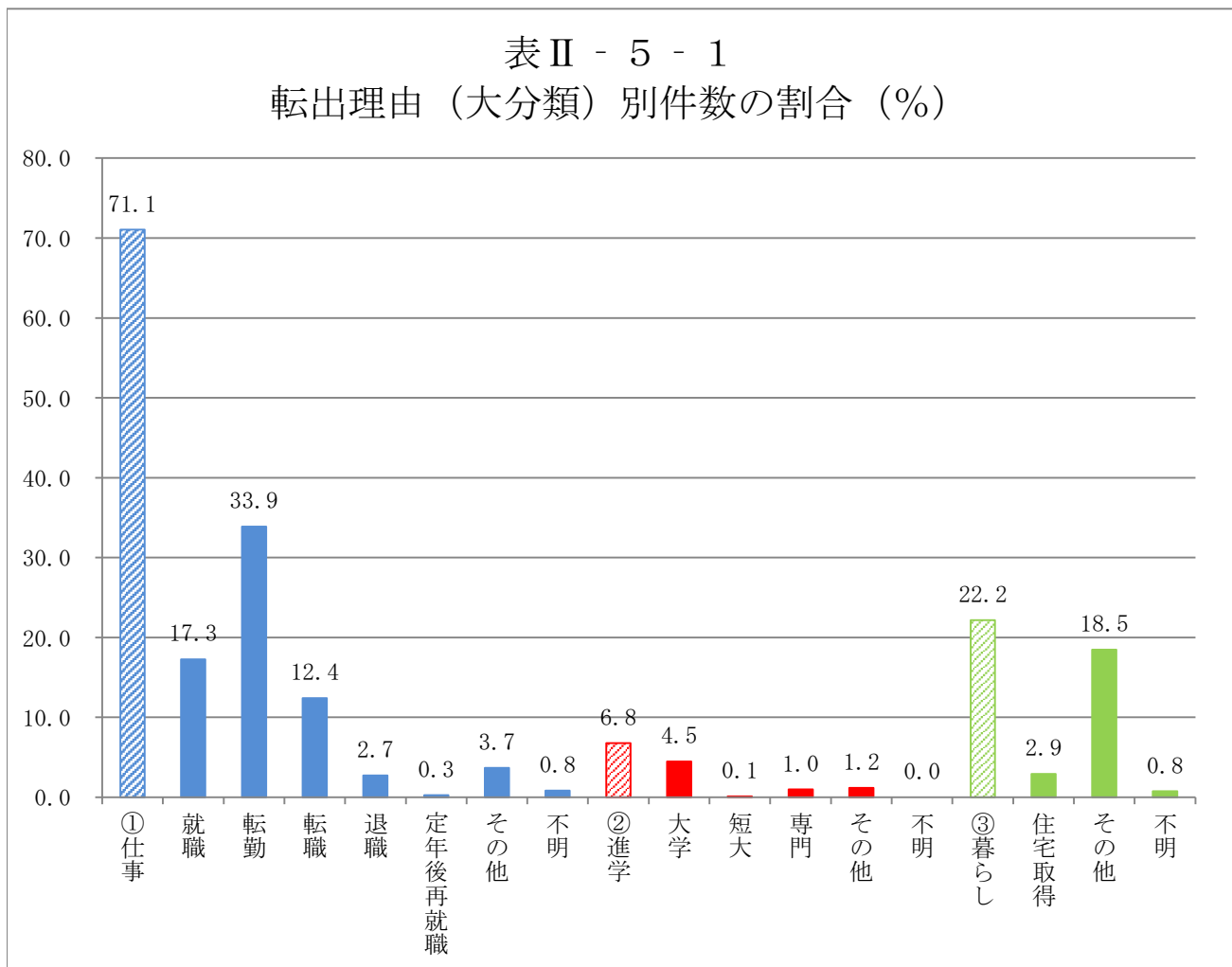
5. 転出理由（大分類）別件数

N= 2,641

転出理由 (大分類) (件) ※	静岡市から					
	計	葵区から	駿河区から	清水区から	不明	
計	2641	1155	690	789	7	
①仕事	1 就職	1876.5	823	520	528.5	5
	2 転勤	456	180.5	101.5	172	2
	3 転職	894.5	429.5	242	221	2
	4 退職	327.5	134.5	107	86	0
	5 定年後再就職	72.5	29	27.5	16	0
	6 その他	7	2	1	4	0
	不明	97	42	33	21	1
	不明	22	5.5	8	8.5	0
②進学	1 1 大学	179	76	40.5	62.5	0
	1 2 短大	118.5	48	31	39.5	0
	1 3 専門	3	1	0	2	0
	1 4 その他	26	10.5	6.5	9	0
	不明	31.5	16.5	3	12	0
③暮らし	2 1 住宅取得	0	0	0	0	0
	2 2 その他	585.5	256	129.5	198	2
	不明	77.5	38.5	20	19	0
	不明	487.5	211	101.5	173	2
不明	20.5	6.5	8	6	0	

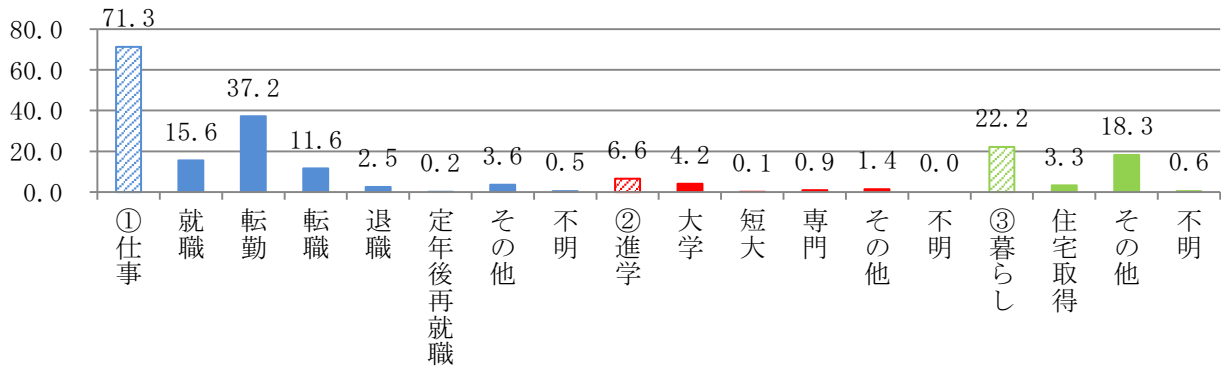
※ 複数回答ある調査票については、按分処理を実施

表Ⅱ - 5 - 1  
転出理由（大分類）別件数の割合（%）

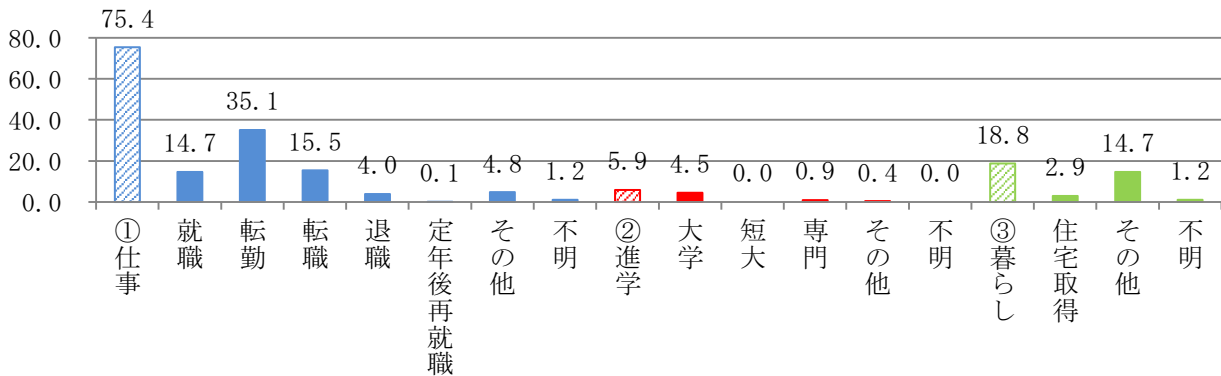


※①仕事、②進学、③暮らしはそれぞれの対応する大分類の割合を累計したもの。  
○転出理由（大分類）別件数の割合は、仕事が約71%、進学が約7%、暮らしが約22%である。

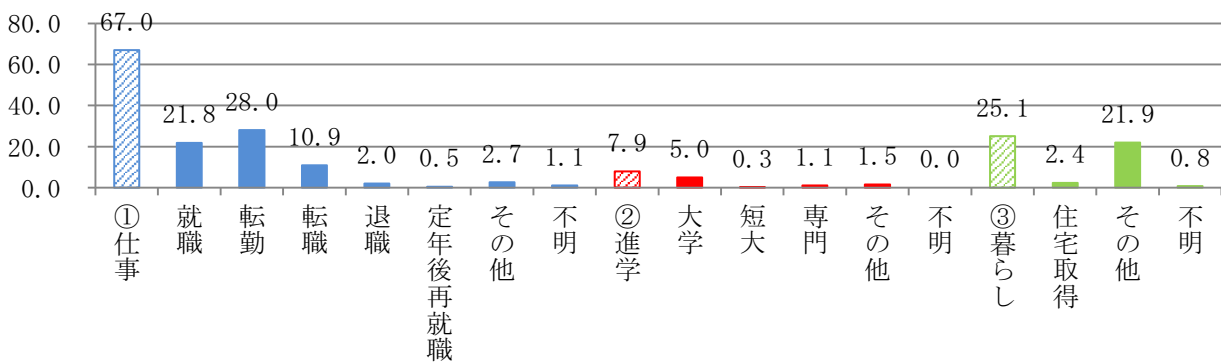
表Ⅱ - 5 - 2  
 転出理由（大分類）別件数の割合（％）  
 （葵区）



表Ⅱ - 5 - 3  
 転出理由（大分類）別件数の割合（％）  
 （駿河区）



表Ⅱ - 5 - 4  
 転出理由（大分類）別件数の割合（％）  
 （清水区）



6-1. 年齢区分別転出理由（大分類）数（静岡市）

転出理由 (大分類) 数※											
	総数	未就学	小学生	中学生	15~ 17歳	18~ 23歳	24~ 29歳	30代	40代	50代	60代 以上
計	3245	193	60	18	25	694	809	706	394	194	152
①仕事	2300	123	39.5	12	8	473.5	587.5	533	307.5	156.5	59.5
就職	472	8	0	0	1	298.5 (43.0)	101	32	20.5	7	4
転勤	1223 (37.7)	91 (47.2)	30 (50.0)	8 (44.4)	4	82	305 (37.7)	362 (51.3)	224 (56.9)	108 (55.7)	9
転職	376	14	3	3	0	56	128.5	105.5	37	23	6
退職	76	0	0	0	0	18.5	19	10.5	8	7	13
定年後 再就職	11	0	0	0	0	0	0	1	0	1	9
その他	119	9	5.5	1	2	13.5	29	15	16.5	10	17.5
不明	23	1	1	0	1	5	5	7	1.5	0.5	1
②進学	187	0	0.5	3	9	150.5	12.5	4	3	2	2.5
大学	124	0	0	0	1	117	0	2	2	0	2
短大	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0
専門	29	0	0	0	1	19.5	5.5	0	1	1.5	0.5
その他	31	0	0.5	3	7 (28.0)	11	7	2	0	0.5	0
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③暮らし	758	70	20	3	8	70	209	169	83.5	35.5	90
住宅取得	156	33	8	1	1	9	31.5	37.5	15	10	10
その他	576.5	37	10	2	7 (28.0)	56.5	171.5	125.5	67.5	23	76.5 (50.3)
不明	25.5	0	2	0	0	4.5	6	6	1	2.5	3.5

※複数回答ある調査票については、按分処理を実施

- は各年齢区分における最も回答の多い転出理由
- は各年齢区分における2番目に回答の多い転出理由
- ※()内は年齢区分に占める割合

6-2. 年齢区分別転出理由（大分類）数（静岡市・男）

転出理由 (大分類) 数 (男) ※											
	総数	未就学	小学生	中学生	15～ 17歳	18～ 23歳	24～ 29歳	30代	40代	50代	60代 以上
計	1872	101	34	9	13	400	461	413	232	134	75
①仕事	1476.5	63	23	7	5	284.5	389	347.5	203	122	32.5
就職	293	5	0	0	1	177.5	67	22	13.5	5	2
転勤	832.5	45	20	6	2	59	214	243.5	151.5	86	5.5
転職	229.5	8	1	1	0	26	83	65.5	25	19	1
退職	46.5	0	0	0	0	11.5	8	7.5	4	4	11.5
定年後 再就職	6	0	0	0	0	0	0	1	0	0	5
その他	59	4	2	0	2	7.5	15	5	8.5	7.5	7.5
不明	10	1	0	0	0	3	2	3	0.5	0.5	0
②進学	108.5	0	0.5	1	4	94.5	4	3	0.5	0	1
大学	79.5	0	0	0	0	77	0	1	0.5	0	1
短大	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
専門	11.5	0	0	0	0	10.5	1	0	0	0	0
その他	15.5	0	0.5	1	4	5	3	2	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③暮らし	287	38	10.5	1	4	21	68	62.5	28.5	12	41.5
住宅取得	80	19	4	0	0	3	17	18.5	6.5	6	6
その他	197	19	5.5	1	4	15.5	48	44	22	4.5	33.5
不明	10	0	1	0	0	2.5	3	0	0	1.5	2

※複数回答ある調査票については、按分処理を実施

6-3. 年齢区分別転出理由（大分類）数（静岡市・女）

転出理由 (大分類)数 (女)※											
	総数	未就学	小学生	中学生	15～ 17歳	18～ 23歳	24～ 29歳	30代	40代	50代	60代 以上
計	1373	92	26	9	12	294	348	293	162	60	77
①仕事	823.5	60	16.5	5	3	189	198.5	185.5	104.5	34.5	27
就職	179	3	0	0	0	121	34	10	7	2	2
転勤	390.5	46	10	2	2	23	91	118.5	72.5	22	3.5
転職	146.5	6	2	2	0	30	45.5	40	12	4	5
退職	29.5	0	0	0	0	7	11	3	4	3	1.5
定年後 再就職	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
その他	60	5	3.5	1	0	6	14	10	8	2.5	10
不明	13	0	1	0	1	2	3	4	1	0	1
②進学	78.5	0	0	2	5	56	8.5	1	2.5	2	1.5
大学	44.5	0	0	0	1	40	0	1	1.5	0	1
短大	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
専門	17.5	0	0	0	1	9	4.5	0	1	1.5	0.5
その他	15.5	0	0	2	3	6	4	0	0	0.5	0
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③暮らし	471	32	9.5	2	4	49	141	106.5	55	23.5	48.5
住宅取得	76	14	4	1	1	6	14.5	19	8.5	4	4
その他	379.5	18	4.5	1	3	41	123.5	81.5	45.5	18.5	43
不明	15.5	0	1	0	0	2	3	6	1	1	1.5

※複数回答ある調査票については、按分処理を実施



6-4. 年齢区分別転出理由（大分類）数（葵区）

転出理由 (大分類) 数 (葵区) ※											
	総数	未就学	小学生	中学生	15～ 17歳	18～ 23歳	24～ 29歳	30代	40代	50代	60代 以上
計	1458	96	41	12	16	286	345	306	191	95	70
①仕事	1029	56	25.5	8	7	195	245.5	238.5	151.5	79.5	22.5
就職	188.5	2	0	0	1	115.5	43	11	11	3	2
転勤	599	45	18	6	4	38	139	174	116	53	6
転職	149	6	3	1	0	25	43.5	39.5	16	13	2
退職	29.5	0	0	0	0	7.5	6	6	1	3	6
定年後 再就職	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
その他	52.5	2	3.5	1	1	9	13	5	6.5	7	4.5
不明	7.5	1	1	0	1	0	1	2	1	0.5	0
②進学	82	0	0.5	2	5	59	8	2	3	0.5	2
大学	52.5	0	0	0	1	46.5	0	1	2	0	2
短大	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
専門	11.5	0	0	0	0	8.5	2	0	1	0	0
その他	17	0	0.5	2	4	3	6	1	0	0.5	0
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③暮らし	347	40	15	2	4	32	91.5	65.5	36.5	15	45.5
住宅取得	86	23	7	1	0	5	16.5	21	8.5	2	2
その他	251.5	17	6	1	4	26.5	73	44.5	27	12.5	40
不明	9.5	0	2	0	0	0.5	2	0	1	0.5	3.5

※複数回答ある調査票については、按分処理を実施

6-5. 年齢区分別転出理由（大分類）数（駿河区）

転出理由 (大分類)数 (駿河区)※											
	総数	未就学	小学生	中学生	15～ 17歳	18～ 23歳	24～ 29歳	30代	40代	50代	60代 以上
計	845	48	9	2	3	171	234	196	98	51	33
①仕事	647.5	37	7	2	1	121.5	190	148.5	82.5	40	18
就職	103.5	2	0	0	0	73	18	4	5.5	1	0
転勤	335	26	5	0	0	21	101	96	54	31	1
転職	128	4	0	2	0	16	50	35	13	5	3
退職	29.5	0	0	0	0	7	10	3.5	4	1	4
定年後 再就職	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	42.5	5	2	0	1	2.5	10	5	6	2	9
不明	8	0	0	0	0	2	1	5	0	0	0
②進学	39.5	0	0	0	0	37.5	1	1	0	0	0
大学	31	0	0	0	0	30	0	1	0	0	0
短大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専門	6.5	0	0	0	0	5.5	1	0	0	0	0
その他	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③暮らし	158	11	2	0	2	12	43	46.5	15.5	11	15
住宅取得	34	5	0	0	0	2	6	11	1	4	5
その他	114	6	2	0	2	7	34	33.5	14.5	5	10
不明	10	0	0	0	0	3	3	2	0	2	0

※複数回答ある調査票については、按分処理を実施

6-6. 年齢区分別転出理由（大分類）数（清水区）

転出理由 (大分類)数 (清水区)※											
	総数	未就学	小学生	中学生	15～ 17歳	18～ 23歳	24～ 29歳	30代	40代	50代	60代 以上
計	939	49	10	4	6	236	230	204	103	48	49
①仕事	621.5	30	7	2	0	156	152	146	72.5	37	19
就職	179	4	0	0	0	109	40	17	4	3	2
転勤	288	20	7	2	0	23	65	92	53	24	2
転職	99	4	0	0	0	15	35	31	8	5	1
退職	17	0	0	0	0	4	3	1	3	3	3
定年後 再就職	7	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6
その他	24	2	0	0	0	2	6	5	4	1	4
不明	7.5	0	0	0	0	3	3	0	0.5	0	1
②進学	65.5	0	0	1	4	54	3.5	1	0	1.5	0.5
大学	40.5	0	0	0	0	40.5	0	0	0	0	0
短大	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
専門	11	0	0	0	1	5.5	2.5	0	0	1.5	0.5
その他	12	0	0	1	3	6	1	1	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③暮らし	252	19	3	1	2	26	74.5	57	30.5	9.5	29.5
住宅取得	36	5	1	0	1	2	9	5.5	5.5	4	3
その他	210	14	2	1	1	23	64.5	47.5	25	5.5	26.5
不明	6	0	0	0	0	1	1	4	0	0	0

※複数回答ある調査票については、按分処理を実施

6-7. 転出した人数別転出理由（大分類）数（率）

転出理由 (大分類) 数	(人)					(率) ※				
	総数	1人で 転出	1人で 転出 (男)	1人で 転出 (女)	複数人で 転出	総数	1人で 転出	1人で 転出 (男)	1人で 転出 (女)	複数人で 転出
計	3245	2212	1379	833	1033	100.0	68.2	42.5	25.7	31.8
①仕事	2300	1579	1124.5	454.5	721	100.0	68.7	48.9	19.8	31.3
就職	472	440	277	163	32	100.0	93.2	58.7	34.5	6.8
転勤	1223	684.5	559	125.5	538.5	100.0	56.0	45.7	10.3	44.0
転職	376	288	191	97	88	100.0	76.6	50.8	25.8	23.4
退職	76	67	42	25	9	100.0	88.2	55.3	32.9	11.8
定年後 再就職	11	3	2	1	8	100.0	27.3	18.2	9.1	72.7
その他	119	76.5	43.5	33	42.5	100.0	64.3	36.6	27.7	35.7
不明	23	20	10	10	3	100.0	87.0	43.5	43.5	13.0
②進学	187	171	103.5	67.5	16	100.0	91.4	55.3	36.1	8.6
大学	124	115	75	40	9	100.0	92.7	60.5	32.3	7.3
短大	3	3	2	1	0	100.0	100.0	66.7	33.3	0.0
専門	29	23	11.5	11.5	6	100.0	79.3	39.7	39.7	20.7
その他	31	30	15	15	1	100.0	96.8	48.4	48.4	3.2
不明	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
③暮らし	758	462	151	311	296	100.0	60.9	19.9	41.0	39.1
住宅取得	156	40.5	21.5	19	115.5	100.0	26.0	13.8	12.2	74.0
その他	576.5	405	123.5	281.5	171.5	100.0	70.3	21.4	48.8	29.7
不明	25.5	16.5	6	10.5	9	100.0	64.7	23.5	41.2	35.3

※複数回答ある調査票については、按分処理を実施

※率は理由に対する転出した人数別の割合

7-1-1. 転出理由「①仕事」の転出理由（小分類）数（複数回答）

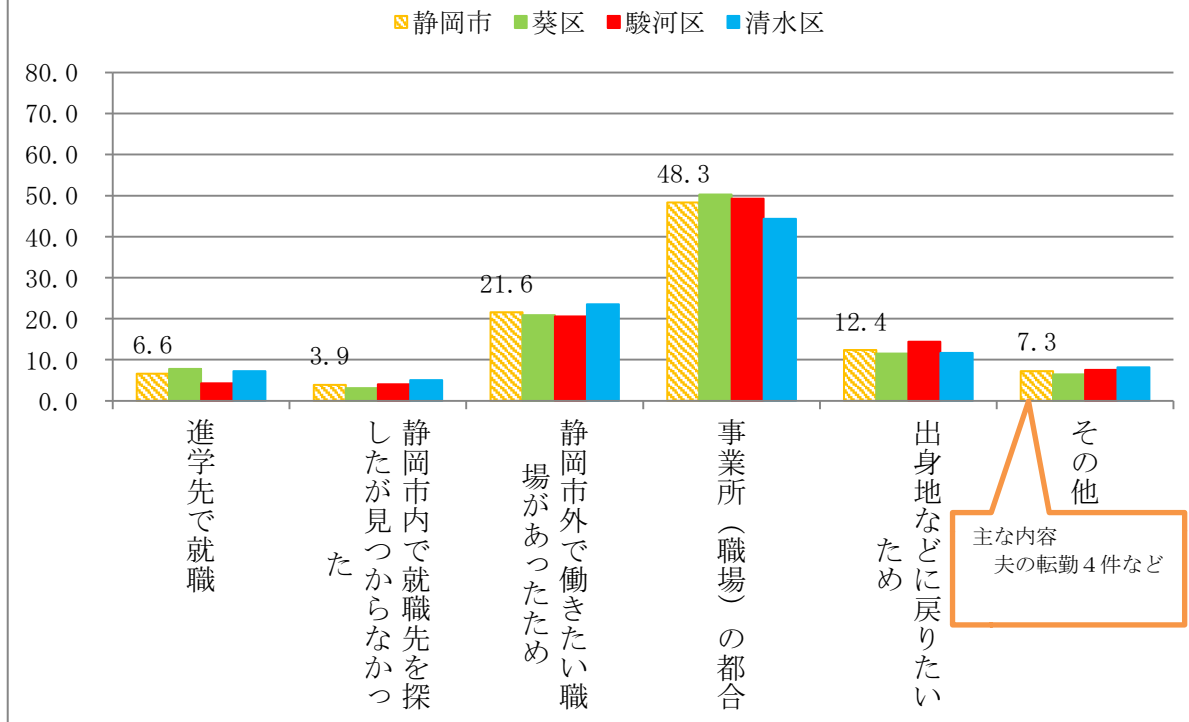
回答者数 N = 1,876.5

転出理由 (小分類) 数 ※	仕事					
	進学先で就職	静岡市内で就職先を探したが見つからなかった	静岡市外で働きたい職場があったため	事業所（職場）の都合	出身地などに戻りたいため	その他
静岡市から	122	72	398	892	228	134
葵区から	63	25	169	407	93	52
駿河区から	22	21	107	256	75	39
清水区から	37	26	121	228	60	42
不明	0	0	1	1	0	1

※ 転出理由（小分類）記載のある調査票を集計

※ 複数回答可

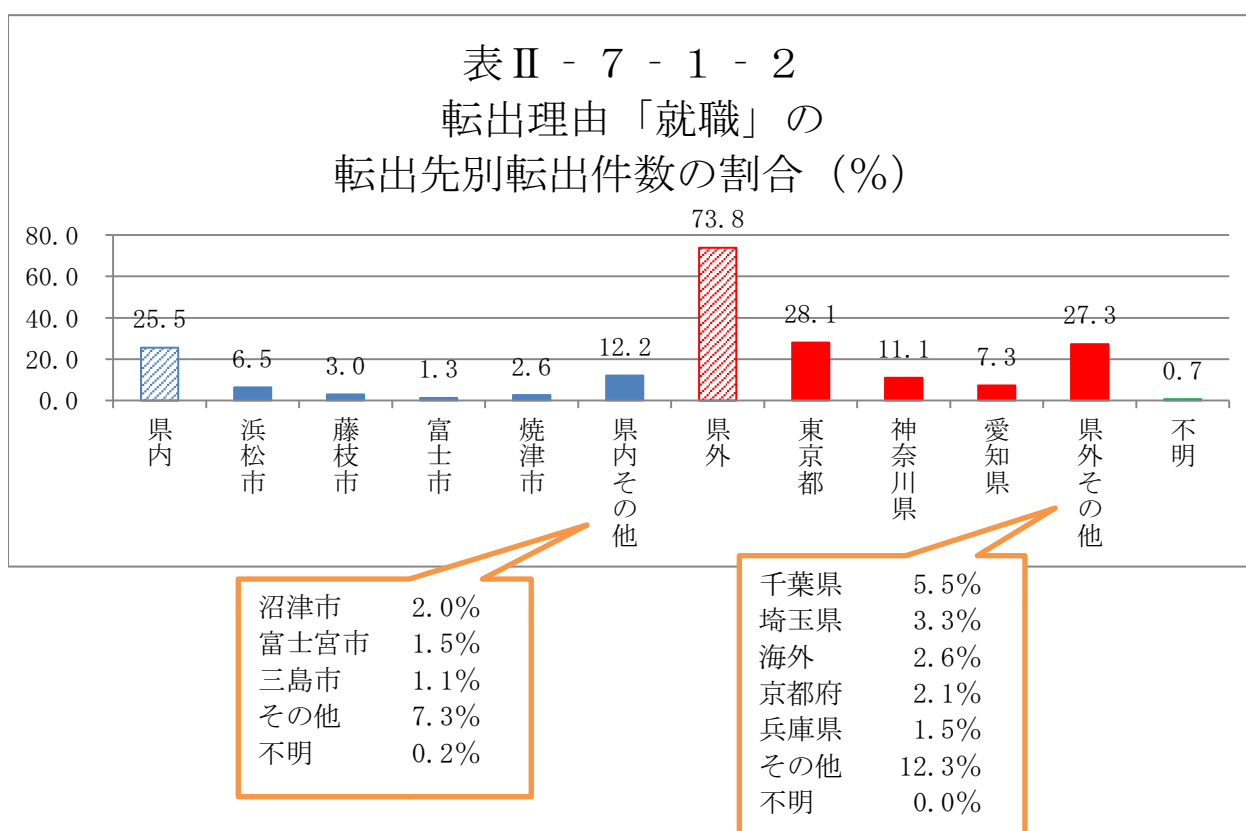
表Ⅱ - 7 - 1 - 1  
転出理由「①仕事」の転出理由（小分類）数の割合（%）



7-1-2. 転出理由「就職」の転出先別転出件数

		(件)	(率)
		456	100.0
転出理由「就職」 の転出件数 ※	県内	116.5	25.5
	浜松市	29.5	6.5
	藤枝市	13.5	3.0
	富士市	6	1.3
	焼津市	12	2.6
	その他	55.5	12.2
	県外	336.5	73.8
	東京都	128	28.1
	神奈川県	50.5	11.1
	愛知県	33.5	7.3
	その他	124.5	27.3
	不明	3	0.7

※複数回答ある調査票については、按分処理を実施



○転出理由を「就職」に限定すると、転出先別転出件数の割合は、県内が約25.5%、県外が約73.8%を占めている。

○県外での内訳は、東京都、神奈川県、愛知県、千葉県の順に割合が高くなっている。

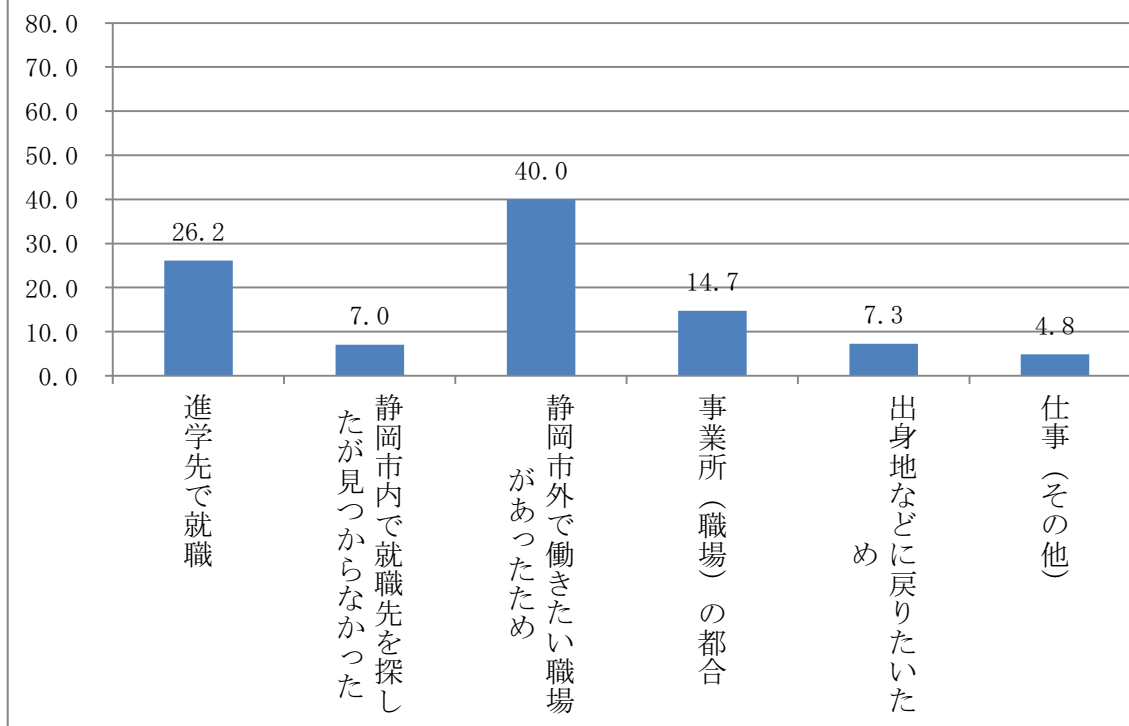
7-1-3. 転出理由「就職」の転出理由（小分類）数（複数回答）

回答件数 N = 456.0

転出理由 「就職」 の転出理由 (小分類)	仕事					
	進学先で就職	静岡市内で就職先を探したが見つからなかった	め 静岡市外で働きたい職場があったため	事業所（職場）の都合	出身地などに戻りたいため	その他
転出理由 (小分類) 数 ※	119	32	182	67	33	22

※ 転出理由（小分類）記載のある調査票を集計  
 ※ 複数回答可

表Ⅱ - 7 - 1 - 3  
 転出理由「就職」の  
 転出理由（小分類）数の割合（%）



○転出理由を「就職」に限定すると、転出理由（小分類）は、「静岡市外で働きたい職場があったため」が約40.0%、「進学先で就職」が約26.2%を占めている。

7-1-4. 転出理由「就職」、転出先「東京」の転出理由（小分類）数（複数回答）

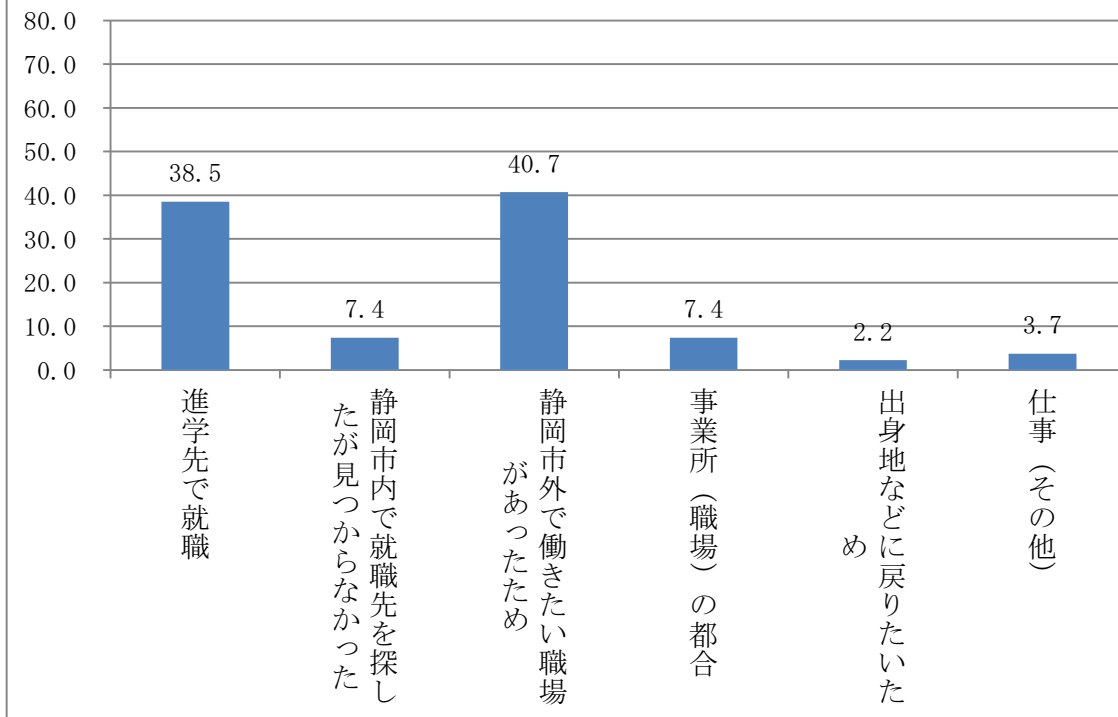
回答件数 N = 128.0

転出理由 「就職」 転出先 「東京」 の転出理由 (小分類)	仕事					
	進学先で就職	静岡市内で就職先を探したが見つからなかった	静岡市外で働きたい職場があったため	事業所（職場）の都合	出身地などに戻りたいため	その他
転出理由 (小分類) 数 ※	52	10	55	10	3	5

※ 転出理由（小分類）記載のある調査票を集計

※ 複数回答可

表Ⅱ - 7 - 1 - 4  
転出理由「就職」、転出先「東京」の  
転出理由（小分類）数の割合（%）



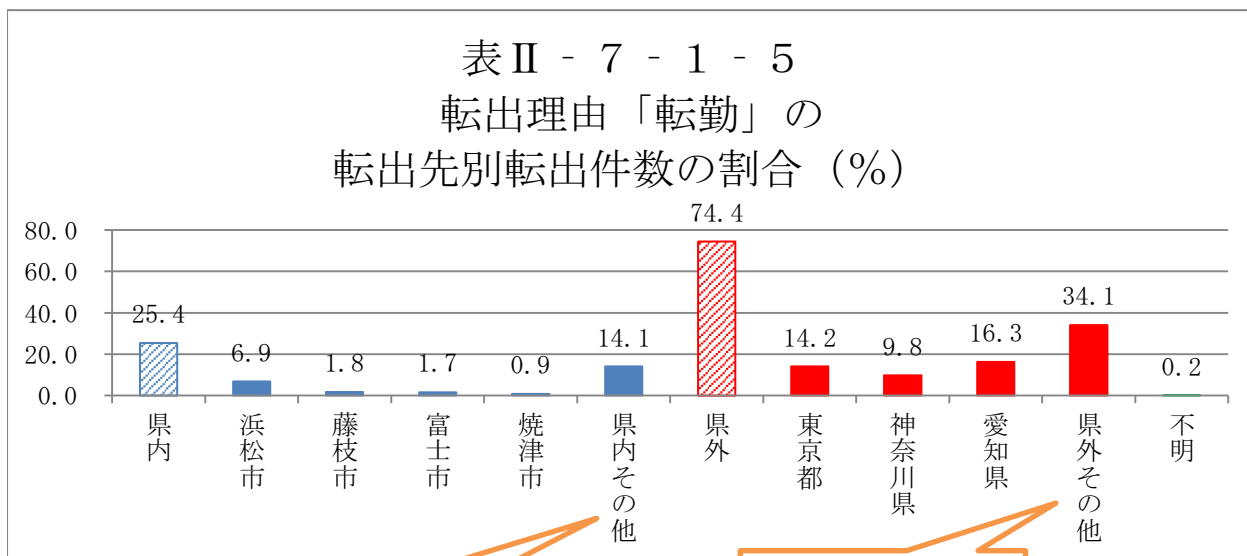
○転出理由を「就職」、転出先「東京」に限定すると、転出理由（小分類）は、「静岡市外で働きたい職場があったため」が約40.7%、「進学先で就職」が約38.5%を占め、転出先を「東京」に限定しない場合と比較すると「進学先で就職」の割合が12.3ポイント高くなっている。



7-1-5. 転出理由「転勤」の転出先別転出件数

		(件)	(率)
		894.5	100.0
転出理由「転勤」 の転出件数 ※	県内	227	25.4
	浜松市	62	6.9
	藤枝市	16	1.8
	富士市	15	1.7
	焼津市	8	0.9
	その他	126	14.1
	県外	665.5	74.4
	東京都	127	14.2
	神奈川県	88	9.8
	愛知県	145.5	16.3
	その他	305	34.1
	不明	2	0.2

※複数回答ある調査票については、按分処理を実施



沼津市	3.5%
磐田市	1.2%
掛川市	1.2%
その他	8.0%
不明	0.1%

千葉県	4.8%
埼玉県	3.5%
海外	3.5%
大阪府	3.4%
兵庫県	1.6%
その他	16.9%
不明	0.6%

○転出理由を「転勤」に限定すると、転出先別転出件数の割合は、県内が約25.4%、県外が約74.4%を占めている。

○県外での内訳は、愛知県、東京都、神奈川県、千葉県の順に割合が高くなっている。

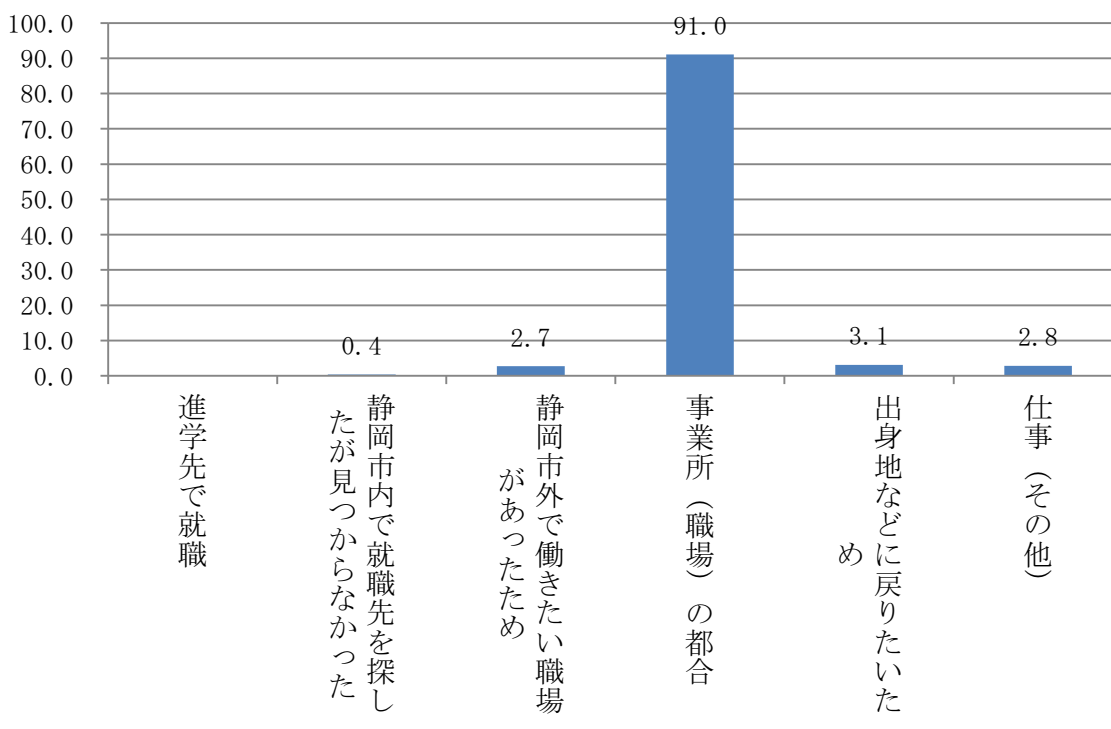
7-1-6. 転出理由「転勤」の転出理由（小分類）数（複数回答）

回答件数 N = 894.5

転出理由「転勤」の転出理由（小分類）	仕事					
	進学先で就職	静岡市内で就職先を探したが見つからなかった	め 静岡市外で働きたい職場があった	事業所（職場）の都合	出身地などに戻りたいため	その他
転出理由（小分類）数 ※	0	3	23	772	26	24

※ 転出理由（小分類）記載のある調査票を集計  
 ※ 複数回答可

表Ⅱ - 7 - 1 - 6  
 転出理由「転勤」の  
 転出理由（小分類）数の割合（%）

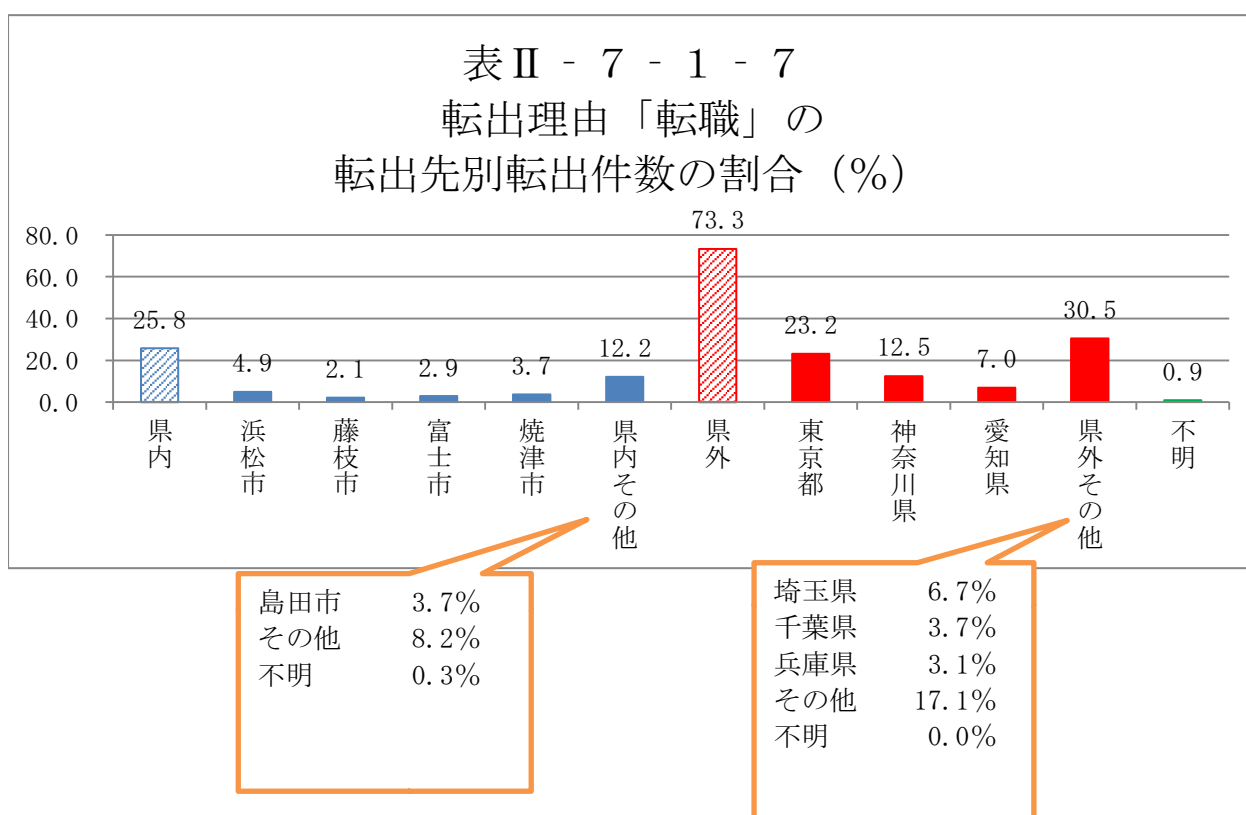


○転出理由を「転勤」に限定すると、転出理由（小分類）は、「事業所（職場）の都合」が約91.0%と大多数を占めている。

7-1-7. 転出理由「転職」の転出先別転出件数

		(件)	(率)
		327.5	100.0
転出理由「転職」 の転出件数 ※	県内	84.5	25.8
	浜松市	16	4.9
	藤枝市	7	2.1
	富士市	9.5	2.9
	焼津市	12	3.7
	その他	40	12.2
	県外	240	73.3
	東京都	76	23.2
	神奈川県	41	12.5
	愛知県	23	7.0
	その他	100	30.5
	不明	3	0.9

※複数回答ある調査票については、按分処理を実施



○転出理由を「転職」に限定すると、転出先別転出件数の割合は、県内が約25.8%、県外が約73.3%を占めている。

- 県外での内訳は、東京都、神奈川県、愛知県、埼玉県の順に割合が高くなっている。
- 県内での内訳は、浜松市、島田市、焼津市の順に割合が高くなっている。

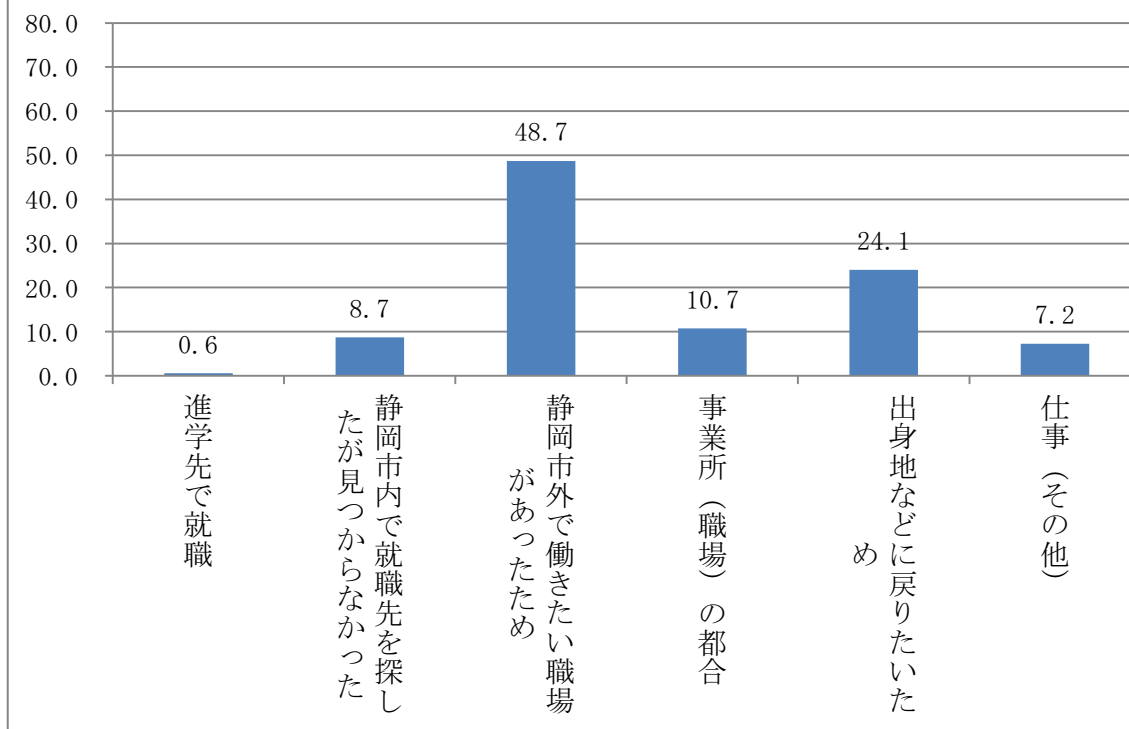
7-1-8. 転出理由「転職」の転出理由（小分類）数（複数回答）

回答件数 N = 327.5

転出理由 「転職」 の転出理由 (小分類)	仕事					
	進学先で就職	静岡市内で就職先を探したが見つからなかった	め 静岡市外で働きたい職場があったため	事業所（職場）の都合	出身地などに戻りたいため	その他
転出理由 (小分類) 数 ※	2	30	168	37	83	25

※ 転出理由（小分類）記載のある調査票を集計  
 ※ 複数回答可

表Ⅱ - 7 - 1 - 8  
 転出理由「転職」の  
 転出理由（小分類）数の割合（%）



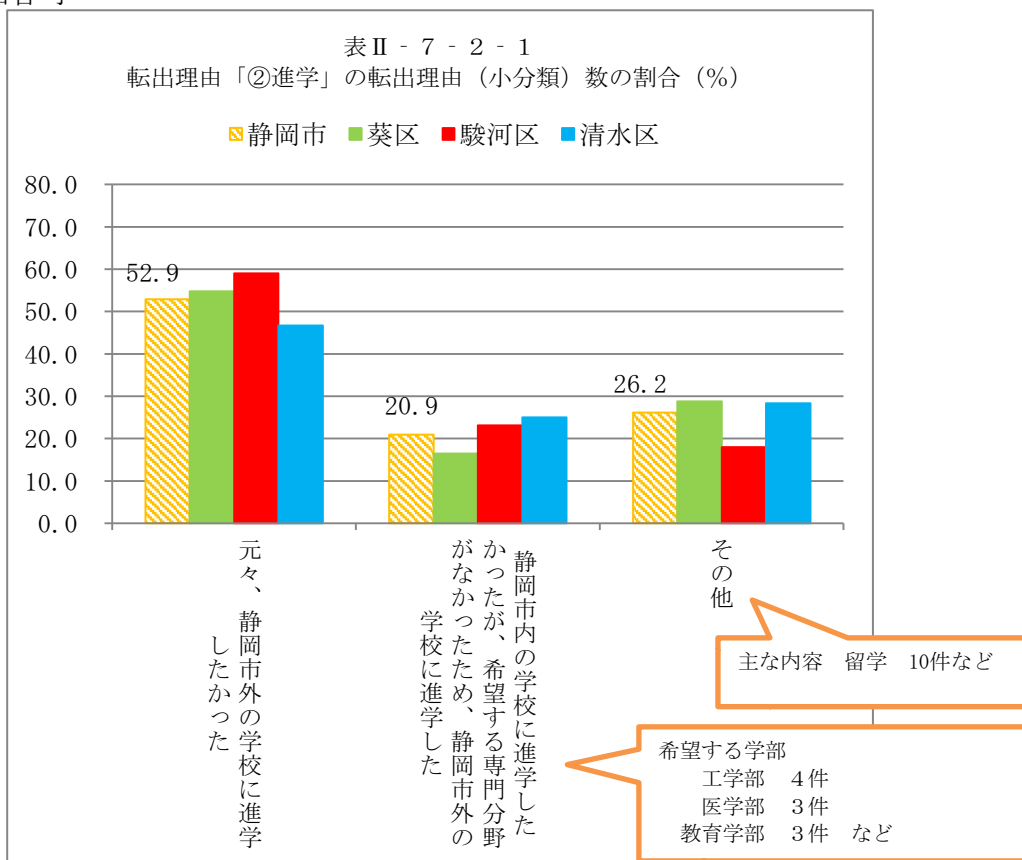
○転出理由を「転職」に限定すると、転出理由（小分類）は、「静岡市外で働きたい職場があったため」が約48.7%、「出身地などに戻りたいため」が約24.1%を占めている。

7-2-1. 転出理由「②進学」の転出理由（小分類）数（複数回答）

回答件数 N = 179.0

転出理由 (小分類) 数 ※	進学		
	元々、 静岡市外 の学校に 進学した かった	めが、 静岡市 希望す る専門 分野に 進学し た	静岡市 内の学 校に進 学した かった
静岡市から	91	36	45
葵区から	40	12	21
駿河区から	23	9	7
清水区から	28	15	17
不明	0	0	0

※ 転出理由（小分類）記載のある調査票を集計  
 ※ 複数回答可

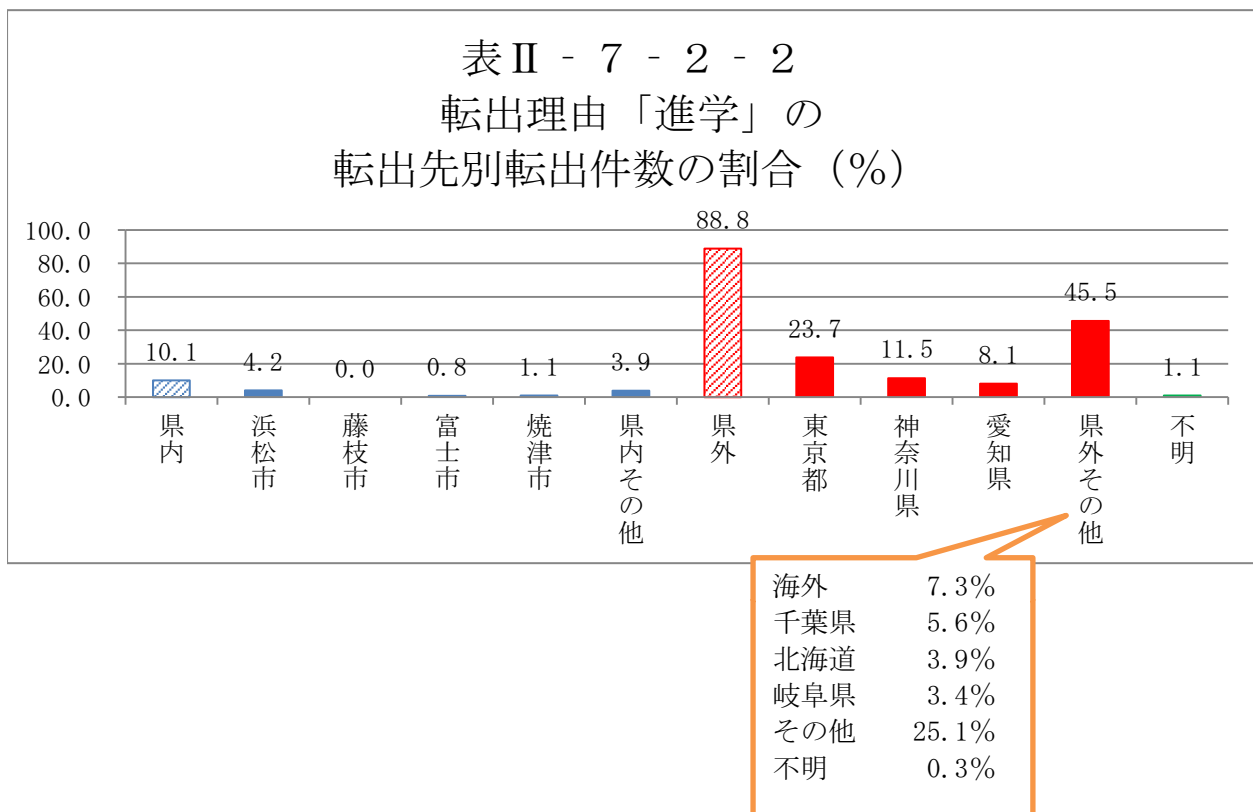


○転出理由「②進学」の転出理由（小分類）数の割合では「元々、静岡市外の学校に進学したかった」の割合が約52.9%と半数以上を占めている。

7-2-2. 転出理由「進学」の転出先別転出件数

		(件)	(率)	
		179	100.0	
転出理由「進学」 の転出件数 ※	県内	18	10.1	
		浜松市	7.5	4.2
		藤枝市	0	0.0
		富士市	1.5	0.8
		焼津市	2	1.1
		その他	7	3.9
	県外	159	88.8	
		東京都	42.5	23.7
		神奈川県	20.5	11.5
		愛知県	14.5	8.1
		その他	81.5	45.5
	不明	2	1.1	

※複数回答ある調査票については、按分処理を実施



○転出理由を「進学」に限定すると、転出先別転出件数の割合は、県内が約10.1%、県外が約88.8%を占めている。

○県外での内訳は、東京都、神奈川県、愛知県、海外、千葉県の順に割合が高くなっている。

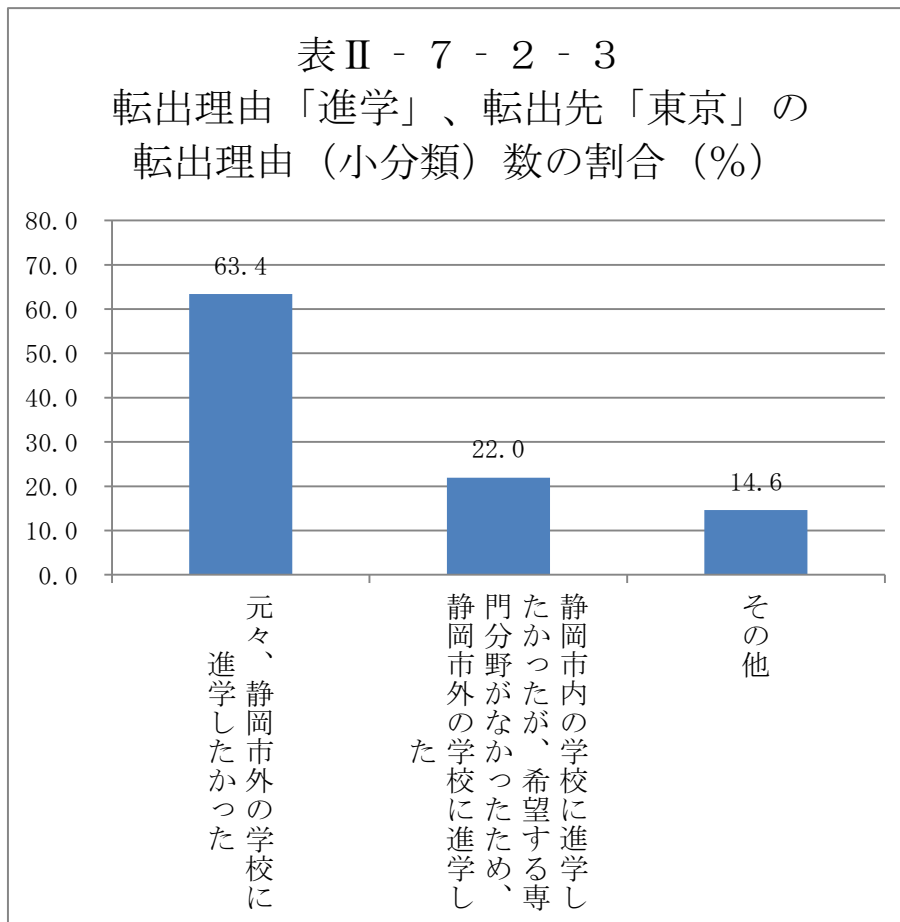
7-2-3. 転出理由「進学」、転出先「東京」の転出理由（小分類）数（複数回答）

回答件数 N = 42.5

転出理由 「進学」 転出先 「東京」 の転出理由 (小分類)	進学		
	元々、静岡市外の学校に進学した	めが、静岡市内の学校に進学した が、希望する専門分野に進学しなかった	その他
転出理由 (小分類) 数 ※	26	9	6

※ 転出理由（小分類）記載のある調査票を集計

※ 複数回答可



○転出理由を「進学」、転出先「東京」に限定すると、転出理由（小分類）は、「元々、静岡市外の学校に進学した」が約63.4%を占め、転出先を「東京」に限定しない場合と比較すると割合が10.5ポイント高くなっている。

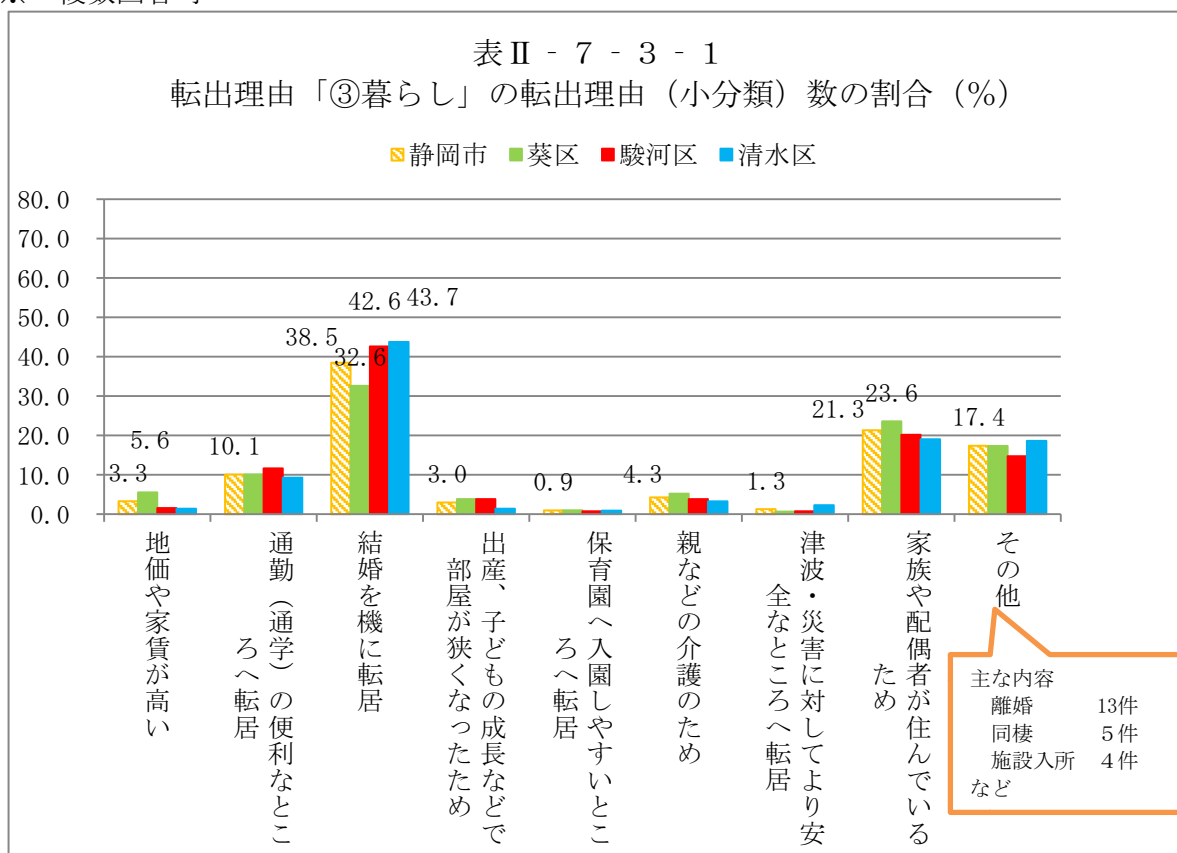
7-3-1. 転出理由「③暮らし」の転出理由（小分類）数（複数回答）

回答件数 N = 585.5

転出理由 (小分類) 数 ※	暮らし								
	地価や家賃が高い	通勤（通学）の便利などところへ転居	結婚を機に転居	出産、子どもの成長などで部屋が狭くなったため	保育園へ入園しやすいところへ転居	親などの介護のため	津波・災害に対してより安全なところへ転居	家族や配偶者が住んでいるため	その他
静岡市から	21	64	244	19	6	27	8	135	110
葵区から	16	29	94	11	3	15	2	68	50
駿河区から	2	15	55	5	1	5	1	26	19
清水区から	3	20	94	3	2	7	5	41	40
不明	0	0	1	0	0	0	0	0	1

※ 転出理由（小分類）記載のある調査票を集計

※ 複数回答可



○転出理由「③暮らし」の転出理由（小分類）数の割合では「結婚を機に転居」の割合が約38.5%と最も高い。

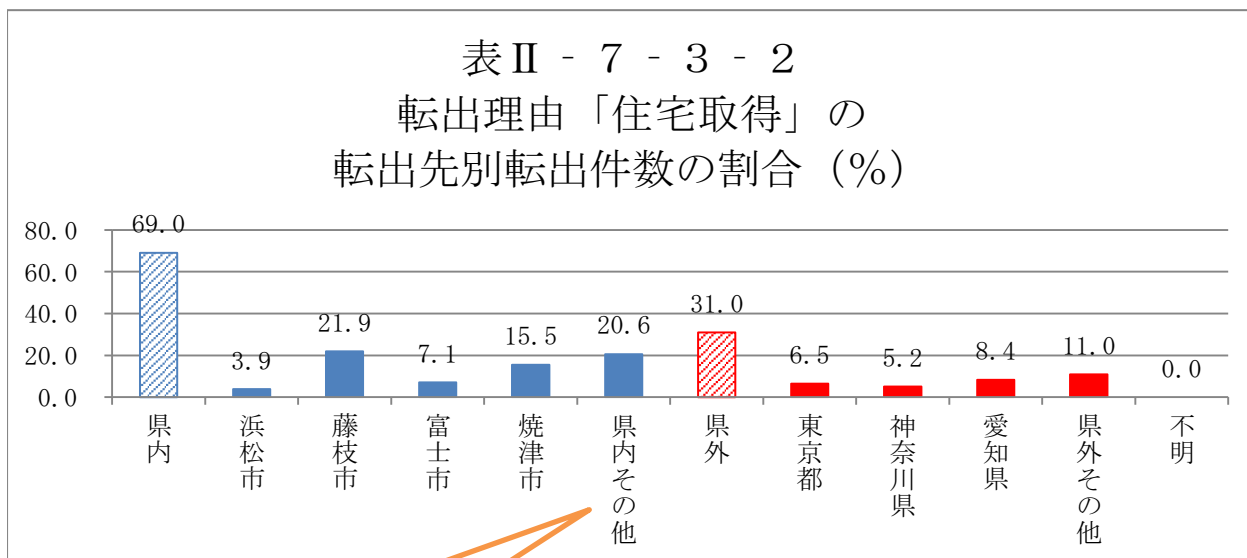
○行政区別に比較すると、葵区は「家族や配偶者が住んでいるため」、「地価や家賃が高い」が比較的高くなっている。駿河区と清水区は、「結婚を機に転居」の割合が高い。



7-3-2. 転出理由「住宅取得」の転出先別転出件数

		(件)	(率)
		77.5	100.0
転出理由「住宅取得」 の転出件数 ※	県内	53.5	69.0
	浜松市	3	3.9
	藤枝市	17	21.9
	富士市	5.5	7.1
	焼津市	12	15.5
	その他	16	20.6
	県外	24	31.0
	東京都	5	6.5
	神奈川県	4	5.2
	愛知県	6.5	8.4
	その他	8.5	11.0
	不明	0	0.0

※複数回答ある調査票については、按分処理を実施



富士宮市 5.2%  
その他 15.5%

○転出理由を「住宅取得」に限定すると、転出先別転出件数の割合は、県内が約69.0%、県外が約31.0%を占めている。（参考：アンケート全体の転出先別転出件数の割合 県内32%、県外68% (6P)）

○県内での内訳は、藤枝市、焼津市の順に割合が高くなっている。

7-3-3. 転出理由「住宅取得」の転出理由（小分類）数（複数回答）

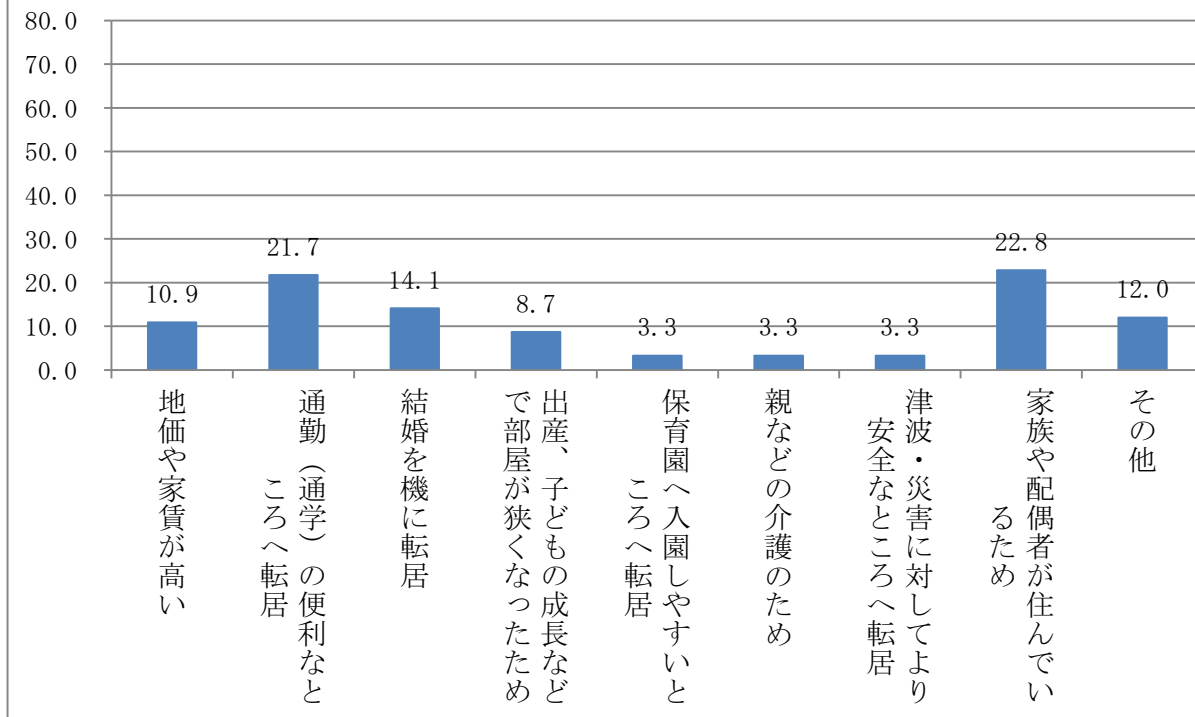
回答件数 N = 77.5

転出理由 「住宅取得」 の転出理由 (小分類)	暮らし								
	地価や家賃が高い	通勤（通学）の便利なところへ転居	結婚を機に転居	出産、子どもの成長などで部屋が狭くなったため	保育園へ入園しやすいところへ転居	親などの介護のため	津波・災害に対してより安全なところへ転居	家族や配偶者が住んでいるため	その他
転出理由 (小分類) 数 ※	10	20	13	8	3	3	3	21	11

※ 転出理由（小分類）記載のある調査票を集計

※ 複数回答可

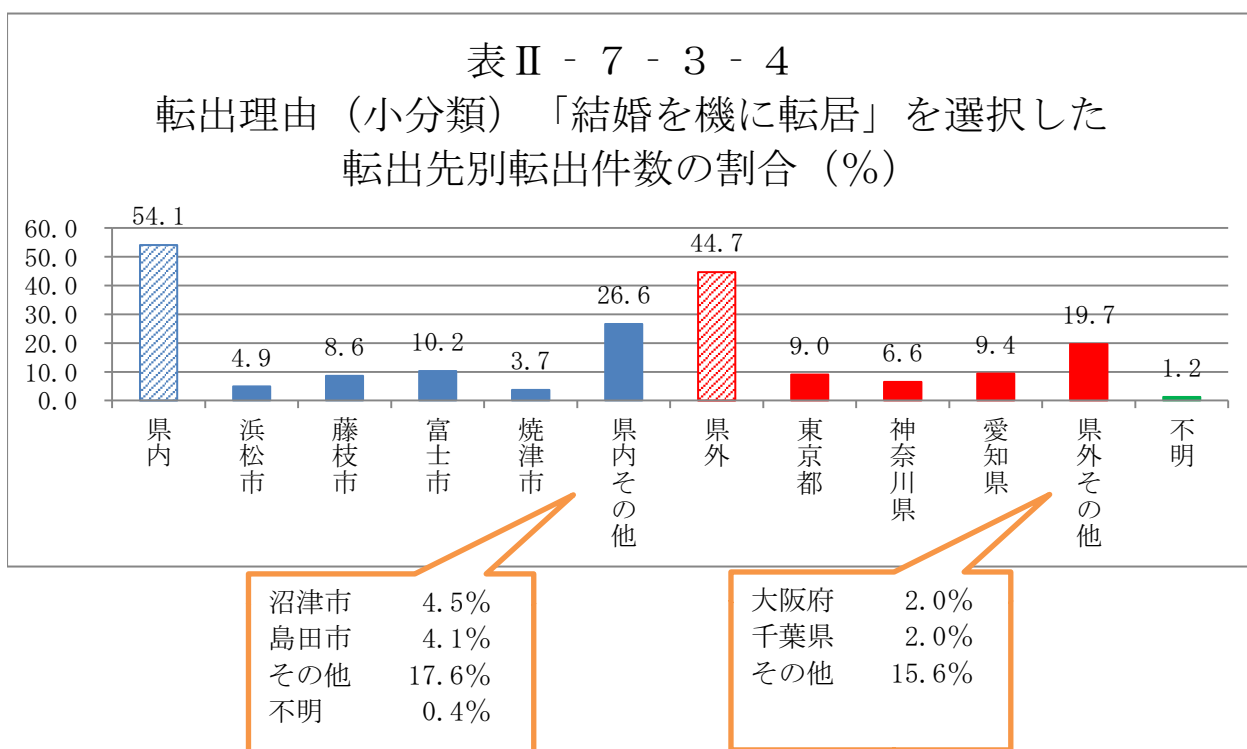
表Ⅱ - 7 - 3 - 3  
転出理由「住宅取得」の  
転出理由（小分類）数の割合（%）



○転出理由を「住宅取得」に限定すると、転出理由（小分類）は、「家族や配偶者が住んでいるため」が約22.8%、「通勤（通学）の便利なところへ転居」が約21.7%、「結婚を機に転居」が約14.1%を占めている。

7-3-4. 転出理由（小分類）「結婚を機に転居」を選択した転出先別転出件数

		(件)	(率)
		244	100.0
転出理由（小分類） 「結婚を機に転居」 の転出先別転出件数	県内	132	54.1
	浜松市	12	4.9
	藤枝市	21	8.6
	富士市	25	10.2
	焼津市	9	3.7
	その他	65	26.6
	県外	109	44.7
	東京都	22	9.0
	神奈川県	16	6.6
	愛知県	23	9.4
	その他	48	19.7
	不明	3	1.2



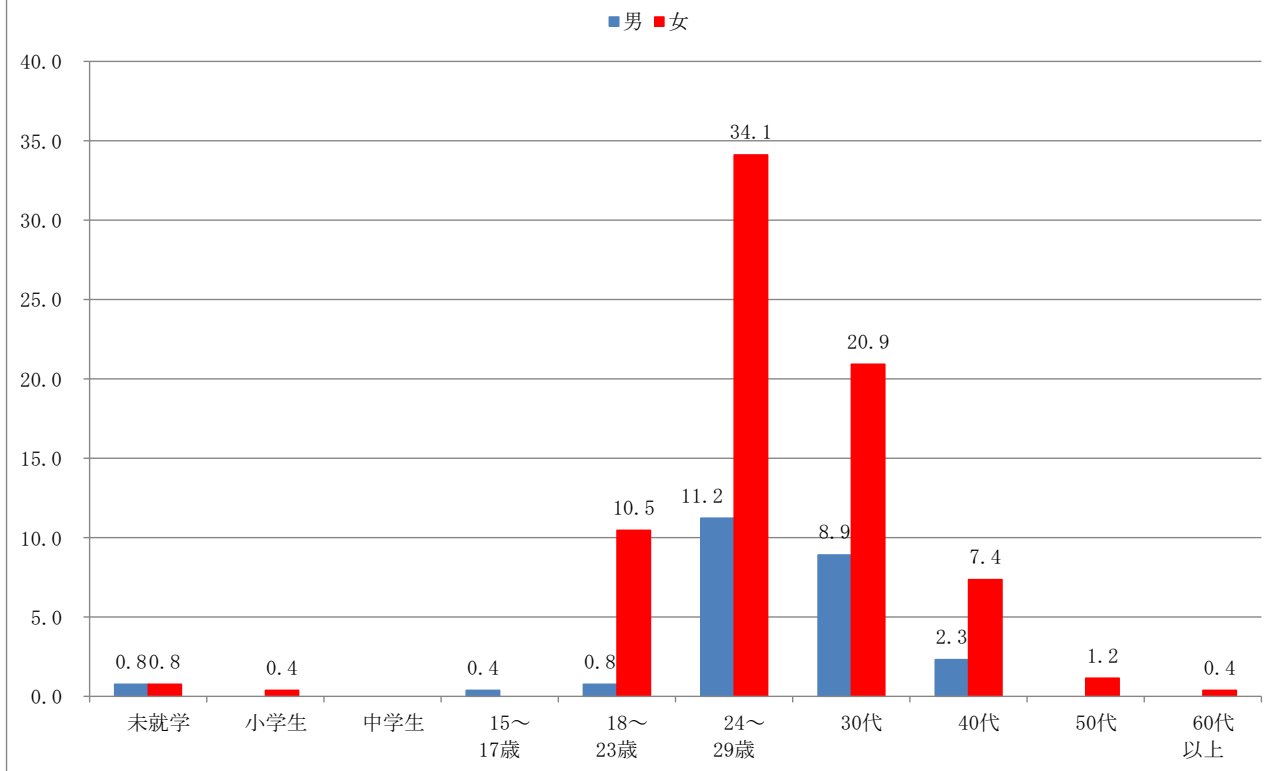
○転出理由（小分類）で「結婚を機に転居」を選択した転出先別転出件数の割合は、県内が約54.1%、県外が約44.7%を占めている。

- 県内での内訳は、富士市、藤枝市、浜松市の順に割合が高くなっている。
- 県外での内訳は、愛知県、東京都、神奈川県の順に割合が高くなっている。

7-3-5. 転出理由（小分類）「結婚を機に転居」を選択した年齢区分別男女別人数

転出理由（小分類）「結婚を機に転居」を選択した人数（人）	総数	年齢区分別									
		未就学	小学生	中学生	15～17歳	18～23歳	24～29歳	30代	40代	50代	60代以上
総数（男女）	258	4	1	0	1	29	117	77	25	3	1
男	63	2	0	0	1	2	29	23	6	0	0
女	195	2	1	0	0	27	88	54	19	3	1

表Ⅱ - 7 - 3 - 5  
 転出理由（小分類）「結婚を機に転居」を選択した  
 年齢区分別男女別人数の割合（％）



○転出理由（小分類）「結婚を機に転居」を選択した男女別人数の割合は、男性が約24.4%、女性が約75.6%と女性の割合が高い。（参考：アンケート全体の男女別転出者数の割合 男58%、女42%（5P））

○年齢区分別にみると、男性は、「24歳～29歳」、「30代」、「40代」の順に割合が高くなっている。一方、女性は、「24歳～29歳」、「30代」、「18～23歳」の順に割合が高くなっている。

8. 転出先別転出理由（大分類）数

転出理由 (大分類) 数※	総 数	県 内						県 外	不 明				
		浜松市	藤枝市	富士市	焼津市	県内 その他	東京都		神奈川 県	愛知県	県外 その他	不 明	
総数	2641	831	154	104	97	79	397	1793	443	241	268	841	17
仕事	1876.5	493	117.5	44.5	35.5	43	252.5	1374	359.5	188.5	210.5	615.5	9.5
就職	456	116.5	29.5	13.5	6	12	55.5	336.5	128	50.5	33.5	124.5	3
転勤	894.5	227	62	16	15	8	126	665.5	127	88	145.5	305	2
転職	327.5	84.5	16	7	9.5	12	40	240	76	41	23	100	3
退職	72.5	20.5	6	0.5	0	1	13	52	11.5	4	3	33.5	0
定年後 再就職	7	1	0	0	1	0	0	6	0	1	0	5	0
仕事 その他	97	38.5	4	7	4	9	14.5	57.5	13.5	3	3	38	1
不明	22	5	0	0.5	0	1	3.5	16.5	3.5	1	2.5	9.5	0.5
進学	179	18	7.5	0	1.5	2	7	159	42.5	20.5	14.5	81.5	2
大学	118.5	5	3	0	1	0	1	113.5	28.5	15.5	11.5	58	0
短大	3	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	2	0
専門 学校	26	6	3.5	0	0.5	0	2	19	9	4	2	4	1
進学 その他	31.5	6	1	0	0	2	3	24.5	5	1	1	17.5	1
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
暮らし	585.5	320	29	59.5	60	34	137.5	260	41	32	43	144	5.5
住宅取得	77.5	53.5	3	17	5.5	12	16	24	5	4	6.5	8.5	0
暮らし その他	487.5	259.5	26	40	52.5	22	119	222.5	30.5	27	35.5	129.5	5.5
不明	20.5	7	0	2.5	2	0	2.5	13.5	5.5	1	1	6	0

※複数回答ある調査票については、按分処理を実施

○   は各転出先における最も回答の多い転出理由

○   は各転出先における2番目に回答の多い転出理由

9. 届出の時期別転出理由（大分類）数

転出理由 (大分類) 数※	総 数	9月下旬 から 12月上旬	12月下旬 から 3月上旬	3月下旬 から 4月上旬	4月下旬 から 7月上旬	7月下旬 から 9月上旬
		総数	2641	549	698	754
仕事	1876.5	379	487.5	582	289	139
就職	456	47	181.5	151.5	49	27
転勤	894.5	194.5	140.5	335.5	149	75
転職	327.5	78	103	63	60.5	23
退職	72.5	22.5	14.5	16.5	13	6
定年後 再就職	7	3	1	1	1	1
仕事 その他	97	27.5	38	10	14.5	7
不明	22	6.5	9	4.5	2	0
進学	179	13	37.5	97.5	23	8
大学	118.5	7	21	73	13.5	4
短大	3	1	0	2	0	0
専門 学校	26	2	7	13.5	3.5	0
進学 その他	31.5	3	9.5	9	6	4
不明	0	0	0	0	0	0
暮らし	585.5	157	173	74.5	118	63
住宅取得	77.5	21	30	8	9.5	9
暮らし その他	487.5	132	133	61.5	107	54
不明	20.5	4	10	5	1.5	0

※複数回答ある調査票については、按分処理を実施

- は各届出時期における最も回答の多い転出理由
- は各届出時期における2番目に回答の多い転出理由

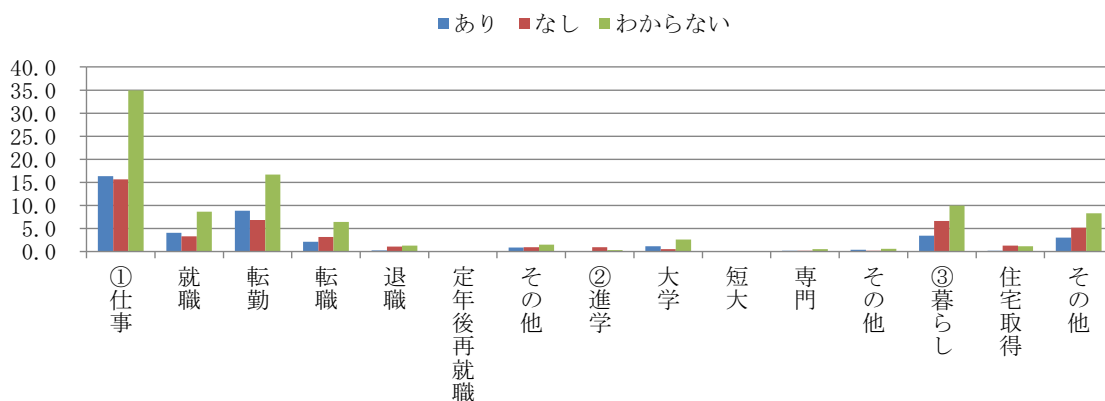
10. 転出理由（大分類）別静岡市に戻る希望の有無

N = 2,641

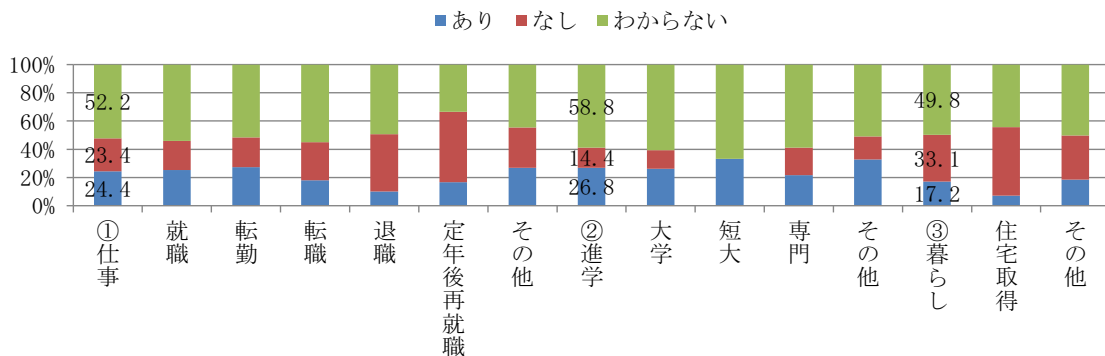
		総数	あり	なし	わからない	不明 (回答なし)
転出理由 (大分類) 数(件) ※	①仕事	2641	568	613	1287	173
	1 就職	1876.5	431	413.5	922.5	109.5
	2 転勤	456	107	86.5	228.5	34
	3 転職	894.5	234	180	440	40.5
	4 退職	327.5	56	83.5	170	18
	5 定年後再就職	72.5	7	28	34	3.5
	6 その他	7	1	3	2	1
	不明	97	23.5	25	39	9.5
	②進学	22	2.5	7.5	9	3
	1 1 大学	179	46.5	25	102	5.5
	1 2 短大	118.5	30	15	69.5	4
	1 3 専門	3	1	0	2	0
	1 4 その他	26	5.5	5	15	0.5
	不明	31.5	10	5	15.5	1
	③暮らし	0	0	0	0	0
	2 1 住宅取得	585.5	90.5	174.5	262.5	58
2 2 その他	77.5	5	34.5	31.5	6.5	
不明	487.5	80.5	137.5	219.5	50	
	20.5	5	2.5	11.5	1.5	

※ 大分類が複数回答ある調査票については、按分処理を実施

表Ⅱ - 10 - 1  
静岡市に戻る希望の有無の割合 (%)



表Ⅱ - 10 - 2  
転出理由（大分類）別  
静岡市に戻る希望の有無の割合 (%)



※不明を除いて算出

○「暮らし」を理由に転出した場合、静岡市へ戻る希望なしの割合が高い。

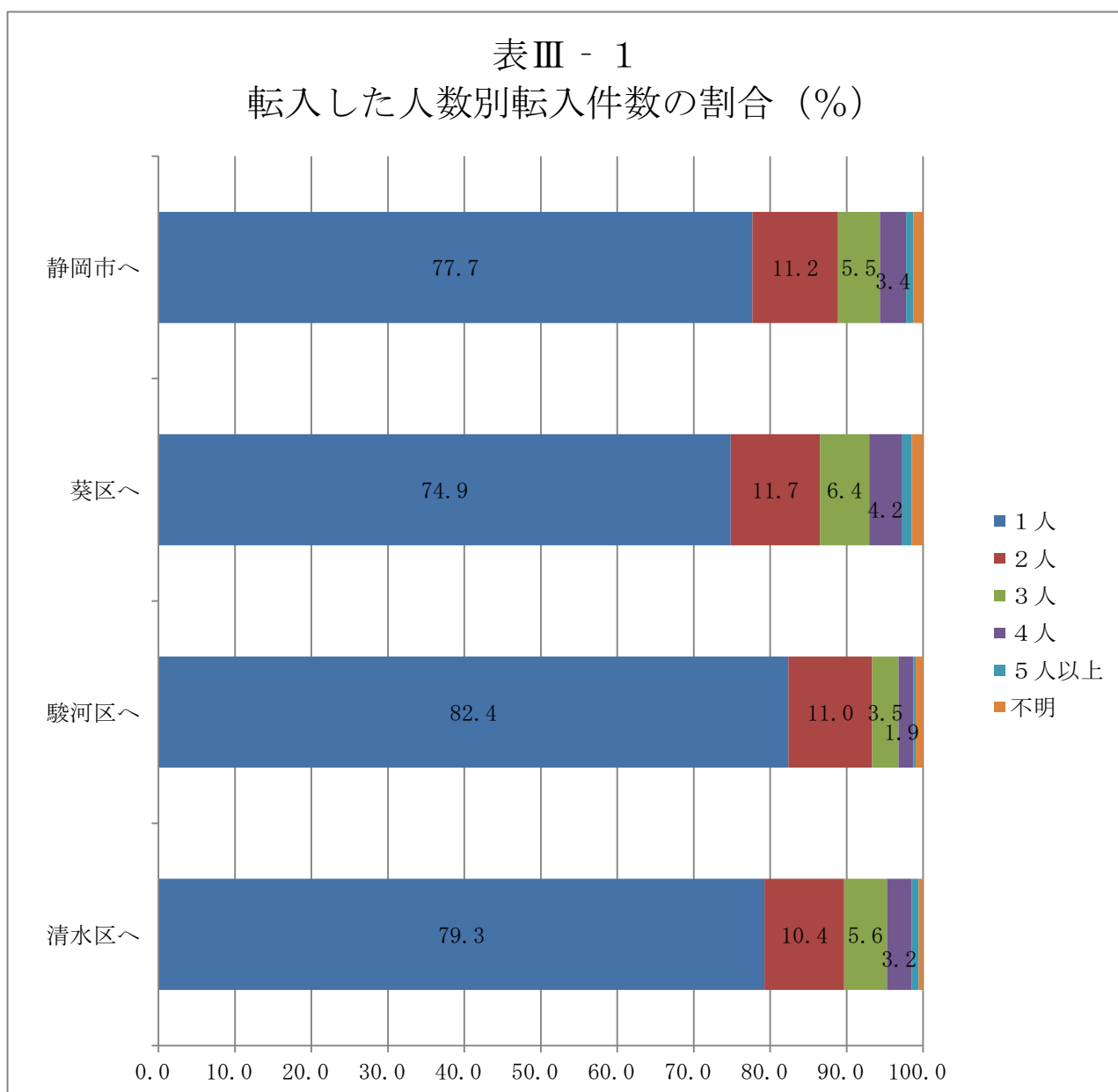
○転出者の約半数は、転出時点で「わからない」と回答している。

### Ⅲ. 転入

#### 1. 回答者（転入者）の属性\_転入した人数別転入件数

N= 3,177

転入件数（件）※		1人で 転入	2人で 転入	3人で 転入	4人で 転入	5人以上 で転入	不明
静岡市へ	3,177	2,468	355	175	109	30	40
葵区へ	1,507	1,128	176	97	64	19	23
駿河区へ	721	594	79	25	14	2	7
清水区へ	931	738	97	52	30	9	5
不明	18	8	3	1	1	0	5



○静岡市へ転入した人数別件数では、77%以上が単身で転入している。

○行政区別に比較すると、葵区が複数人での転入割合が高くなっている。

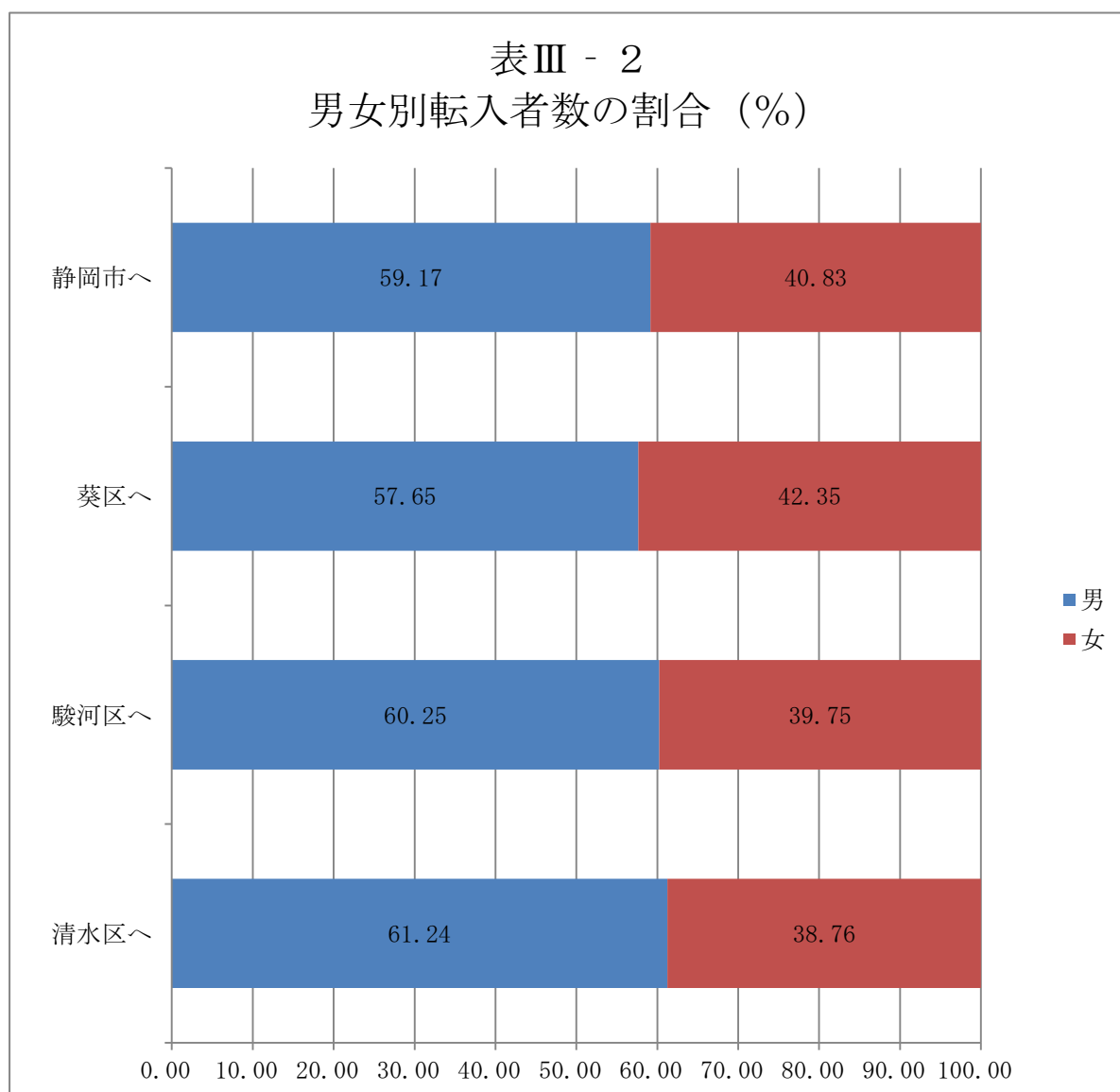
○表Ⅱ-1（転出した人数別転出件数の割合）と比較すると、単身での異動割合は転出より転入での割合が約6.1ポイント低くなっている。



2. 回答者（転入者）の属性\_\_男女別転入者数

転入者数（人）※	男女別	
	男	女
静岡市へ	2,540	1,753
葵区へ	1,225	900
駿河区へ	538	355
清水区へ	768	486
不明	9	12

※転入者人数記載の調査票を集計

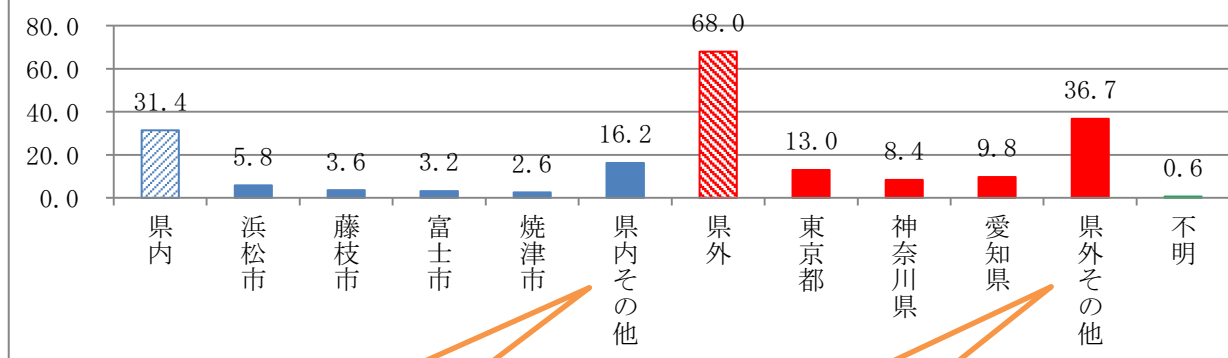


- 静岡市へ転入される男女別の割合は、男性が約59%、女性が約41%である。
- 行政区別に比較すると、葵区の女性の転入割合が若干高い。
- 表Ⅱ-2（男女別転出者数の割合）と比較しても、顕著な違いはなかった。

3-1. 回答者（転入者）の属性\_転入元別転入件数

		N= 3,177	
		(件)	(率)
転入件数	県内	998	31.4
	浜松市	184	5.8
	藤枝市	115	3.6
	富士市	101	3.2
	焼津市	82	2.6
	その他	516	16.2
	県外	2,159	68.0
	東京都	413	13.0
	神奈川県	268	8.4
	愛知県	311	9.8
	その他	1,167	36.7
	不明	20	0.6

表Ⅲ - 3 - 1  
転入元別転入件数の割合 (%)



沼津市	2.6%
島田市	1.5%
掛川市	1.4%
富士宮市	1.3%
磐田市	1.0%
三島市	1.0%
その他	7.2%
不明	0.3%

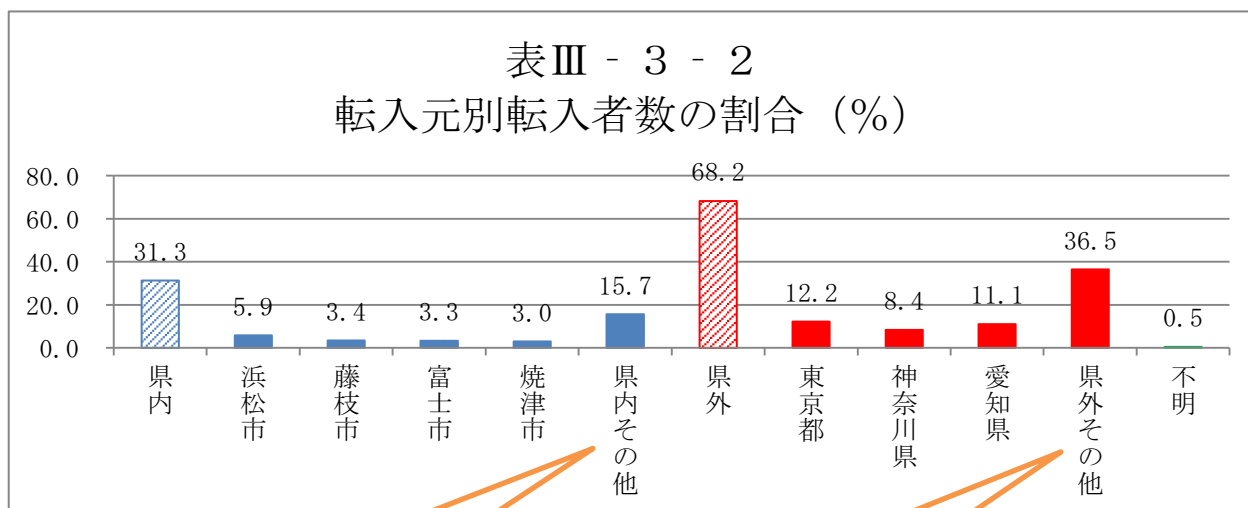
千葉県	3.9%
埼玉県	3.5%
大阪府	3.1%
海外	2.8%
福岡県	1.6%
その他	21.5%
不明	0.4%

- 転入元別転入件数の割合は、県内が約31%、県外が約68%となっている。
- 県内での内訳は、浜松市、藤枝市、富士市、沼津市、焼津市の順に高くなっている。
- 県外での内訳は、東京都、愛知県、神奈川県、千葉県、埼玉県の順に高くなっている。

3-2. 回答者（転入者）の属性\_転入元別転入者数

		(人)	(率)
転入者数 ※	県内	4,293	100.0
	浜松市	1,344	31.3
	藤枝市	253	5.9
	富士市	147	3.4
	焼津市	143	3.3
	その他	128	3.0
	その他	673	15.7
	県外	2,929	68.2
	東京都	524	12.2
	神奈川県	361	8.4
	愛知県	478	11.1
	その他	1,566	36.5
	不明	20	0.5

※転入者人数記載の調査票を集計



沼津市	2.7%
掛川市	1.6%
島田市	1.4%
富士宮市	1.3%
三島市	0.9%
その他	7.5%
不明	0.2%

千葉県	3.9%
大阪府	3.2%
埼玉県	3.1%
海外	2.7%
福岡県	2.0%
その他	21.1%
不明	0.5%

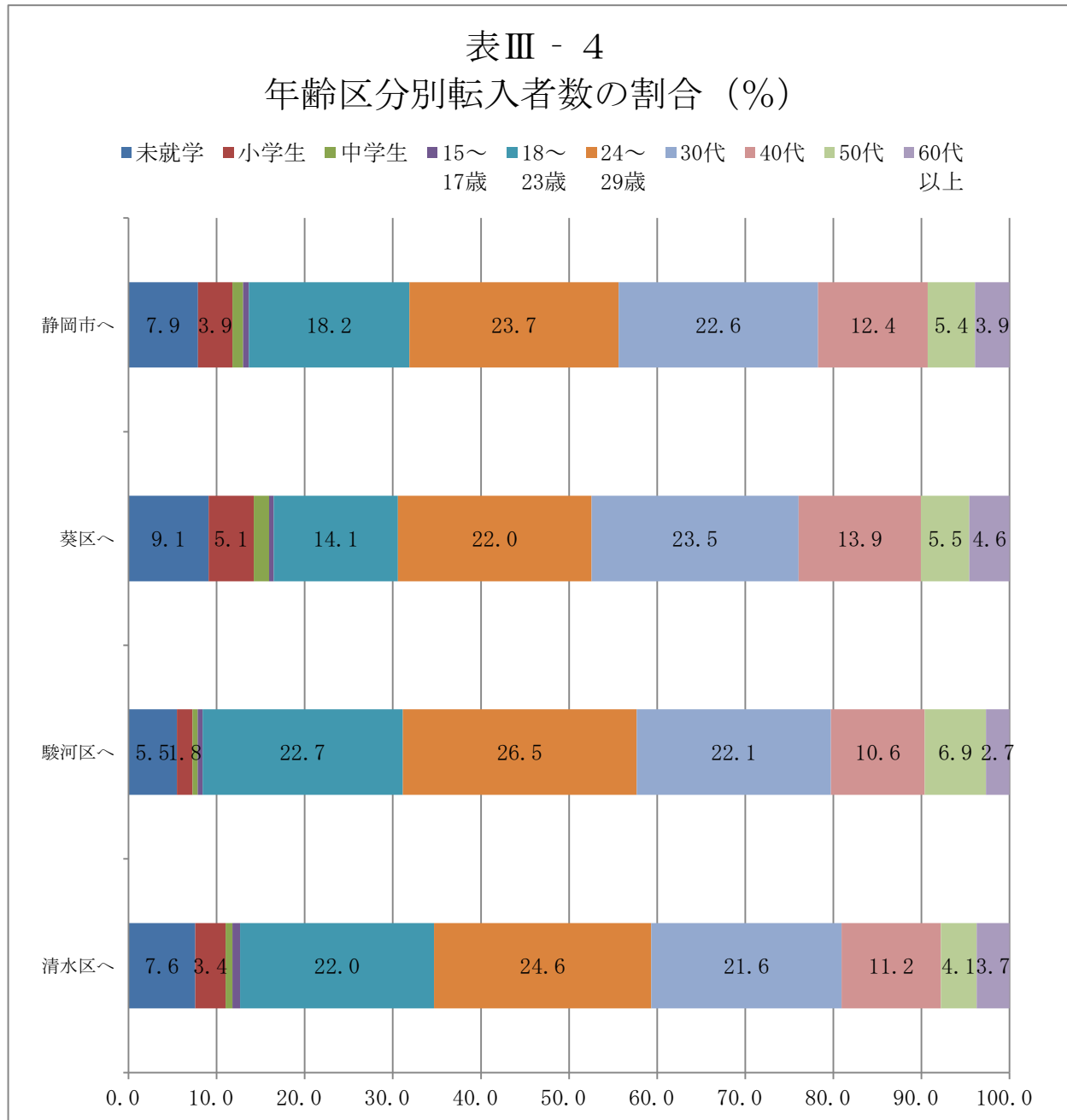
- 転入元別転入者数の割合は、県内が約31%、県外が約68%となっている。
- 県内での内訳は、浜松市、藤枝市、富士市、焼津市、沼津市の順に高くなっている。
- 県外での内訳は、東京都、愛知県、神奈川県、千葉県、大阪府の順に高くなっている。

4. 転入者数の構成（年齢区分別）

転入者数 (人) ※	年齢区分別										
	総数	未就学	小学生	中学生	15～ 17歳	18～ 23歳	24～ 29歳	30代	40代	50代	60代 以上
静岡市へ	4,293	338	169	52	27	783	1019	972	534	230	169
葵区へ	2,125	193	109	37	11	300	467	499	295	117	97
駿河区へ	893	49	16	5	5	203	237	197	95	62	24
清水区へ	1,254	95	43	10	11	276	309	271	141	51	47
不明	21	1	1	0	0	4	6	5	3	0	1

※ 転入者人数記載の調査票を集計

表Ⅲ - 4  
年齢区分別転入者数の割合（％）



○年齢区分別転入者数の割合は、18歳から30代までで約65%を占めている。

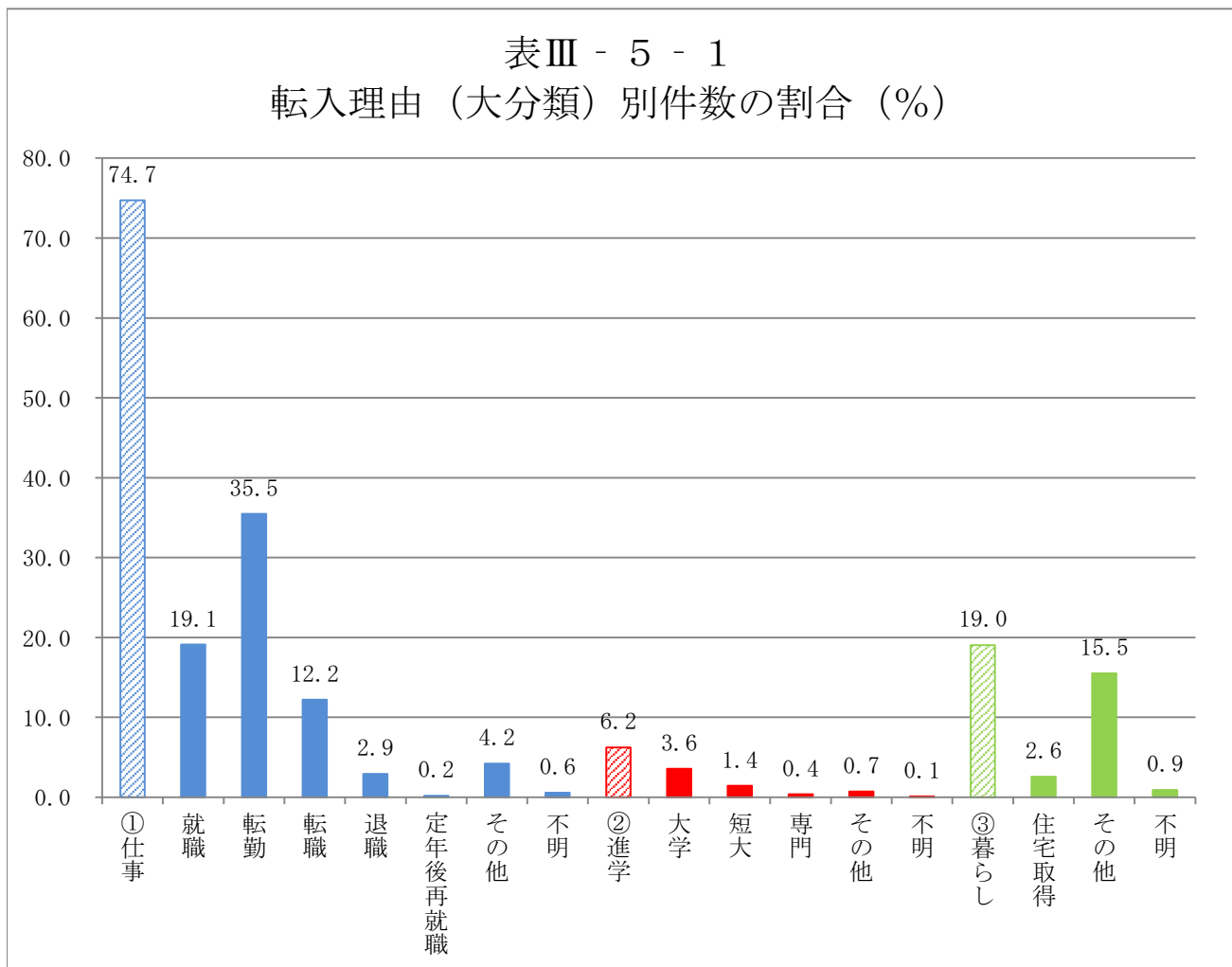
5. 転入理由（大分類）別件数

N= 3,177

転入理由 (大分類) (件) ※	静岡市へ					
	計	葵区へ	駿河区へ	清水区へ	不明	
計	3177	1507	721	931	18	
①仕事	1 就職	2374	1196.5	534	626.5	17
	2 転勤	608	304.5	134.5	165	4
	3 転職	1127	585.5	269.5	265	7
	4 退職	388.5	179.5	81	126	2
	5 定年後再就職	92.5	46	15.5	30	1
	6 その他	6	3	0	3	0
	不明	134	69.5	30.5	32	2
	不明	18	8.5	3	5.5	1
②進学	1 1 大学	198	28	55	115	0
	1 2 短大	113	11.5	42	59.5	0
	1 3 専門	45.5	1	3	41.5	0
	1 4 その他	12	3	5	4	0
	不明	23.5	12.5	4.5	6.5	0
③暮らし	2 1 住宅取得	4	0	0.5	3.5	0
	2 2 その他	605	282.5	132	189.5	1
	不明	82	37	21.5	23.5	0
	不明	493.5	232	107	153.5	1
不明	29.5	13.5	3.5	12.5	0	

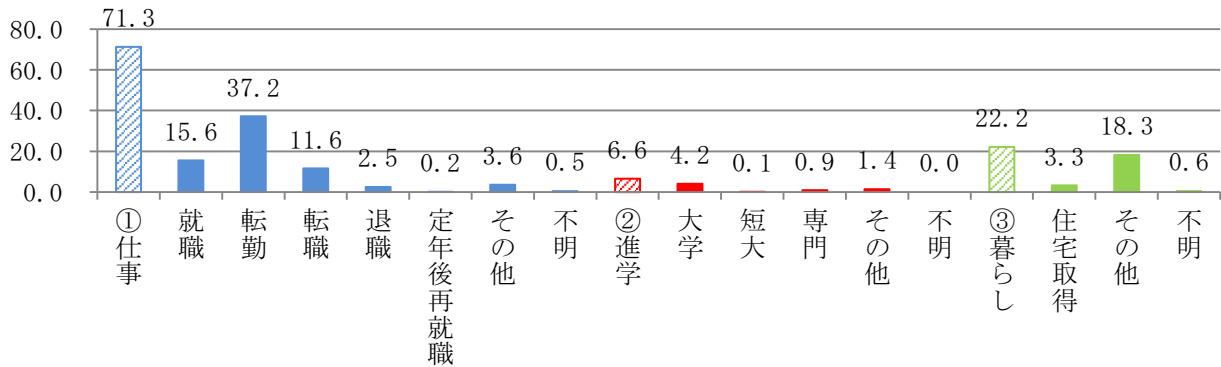
※ 複数回答ある調査票については、按分処理を実施

表Ⅲ - 5 - 1  
転入理由（大分類）別件数の割合（%）

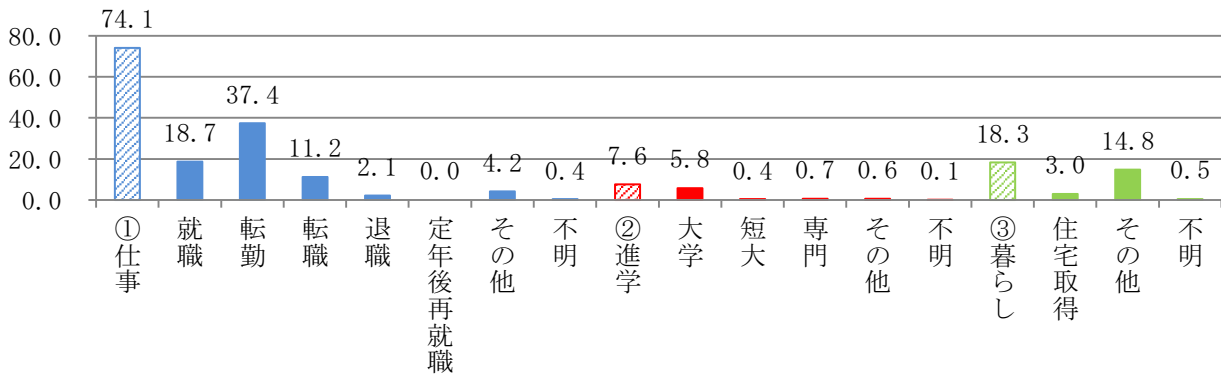


※①仕事、②進学、③暮らしはそれぞれの対応する大分類の割合を累計したもの。  
○転入理由（大分類）別件数の割合は、仕事が約75%、進学が約6%、暮らしが約19%である。

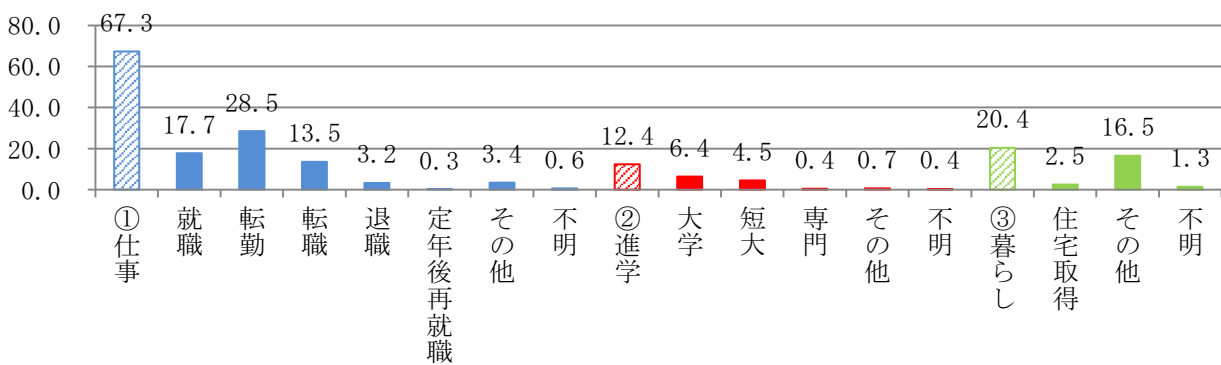
表Ⅲ - 5 - 2  
 転入理由（大分類）別件数の割合（％）  
 （葵区）



表Ⅲ - 5 - 3  
 転入理由（大分類）別件数の割合（％）  
 （駿河区）



表Ⅲ - 5 - 4  
 転入理由（大分類）別件数の割合（％）  
 （清水区）



6-1. 年齢区分別転入理由（大分類）数（静岡市）

転入理由 (大分類) 数※											
	総数	未就学	小学生	中学生	15~ 17歳	18~ 23歳	24~ 29歳	30代	40代	50代	60代 以上
計	4293	338	169	52	27	783	1019	972	534	230	169
①仕事	3164.5	245.5	118	34.5	8.5	560	801.5	745.5	410.5	179.5	61
就職	633.5	9.5	3	0	1	352.5 (45.0)	182	52	16.5	10	7
転勤	1742 (40.6)	187 (55.3)	102 (60.4)	29 (55.8)	5	114	379.5 (37.2)	477.5 (49.1)	310.5 (58.1)	130.5 (56.7)	7
転職	485.5	38	5	1	2	54	167.5	151.5	45	17	4.5
退職	104.5	1	0	0	0	15	37	18	11	9	13.5
定年後 再就職	10	1	0	0	0	1	0	1	1	0	6
その他	167.5	8.5	8	4.5	0.5	21	33.5	39	24.5	10	18
不明	21.5	0.5	0	0	0	2.5	2	6.5	2	3	5
②進学	217.5	0.5	4.5	5	6.5	165	16.5	8	10.5	1	0
大学	115	0	1	0	0	103	8.5	1.5	1	0	0
短大	46.5	0	0	0	0	40.5	4	1	1	0	0
専門	12	0	0	0	0	10	1	1	0	0	0
その他	40	0.5	3.5	5	6.5	9	2	4	8.5	1	0
不明	4	0	0	0	0	2.5	1	0.5	0	0	0
③暮らし	911	92	46.5	12.5	12	58	201	218.5	113	49.5	108
住宅取得	191	32	15	5	3	7.5	25.5	49	29	11	14
その他	674	54	28.5	7.5	7 (25.9)	49	165	160	78.5	36.5	88 (52.1)
不明	46	6	3	0	2	1.5	10.5	9.5	5.5	2	6

※複数回答ある調査票については、按分処理を実施

- は各年齢区分における最も回答の多い転入理由
- は各年齢区分における2番目に回答の多い転入理由
- ※()内は年齢区分に占める割合

6-2. 年齢区分別転入理由（大分類）数（静岡市・男）

転入理由 (大分類)数 (男)※											
	総数	未就学	小学生	中学生	15～ 17歳	18～ 23歳	24～ 29歳	30代	40代	50代	60代 以上
計	2540	180	89	30	13	494	613	551	337	155	78
①仕事	2000.5	126.5	62	19	4	357.5	528	454	282	134	33.5
就職	422	5.5	2	0	1	216.5	135	38	10.5	7.5	6
転勤	1108.5	94	51	15	1	90	258.5	281	210.5	105.5	2
転職	292.5	21	3	0	2	25	97	93	38	10	3.5
退職	60.5	0	0	0	0	9	19	12	7	5	8.5
定年後 再就職	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
その他	100	6	6	4	0	15.5	16.5	25	14	6	7
不明	13	0	0	0	0	1.5	2	5	2	0	2.5
②進学	145.5	0	3.5	2.5	3	117.5	11.5	3.5	4	0	0
大学	79	0	1	0	0	70	6.5	1.5	0	0	0
短大	37.5	0	0	0	0	34	2	1	0.5	0	0
専門	7	0	0	0	0	5	1	1	0	0	0
その他	19.5	0	2.5	2.5	3	6	2	0	3.5	0	0
不明	2.5	0	0	0	0	2.5	0	0	0	0	0
③暮らし	394	53.5	23.5	8.5	6	19	73.5	93.5	51	21	44.5
住宅取得	101.5	18	10	3	1	2	12.5	23.5	17.5	7	7
その他	272	33	11.5	5.5	3	17	56	66	32	12	36
不明	20.5	2.5	2	0	2	0	5	4	1.5	2	1.5

※複数回答ある調査票については、按分処理を実施



6-3. 年齢区分別転入理由（大分類）数（静岡市・女）

転入理由 (大分類)数 (女)※											
	総数	未就学	小学生	中学生	15～ 17歳	18～ 23歳	24～ 29歳	30代	40代	50代	60代 以上
計	1753	158	80	22	14	289	406	421	197	75	91
①仕事	1164	119	56	15.5	4.5	202.5	273.5	291.5	128.5	45.5	27.5
就職	211.5	4	1	0	0	136	47	14	6	2.5	1
転勤	633.5	93	51	14	4	24	121	196.5	100	25	5
転職	193	17	2	1	0	29	70.5	58.5	7	7	1
退職	44	1	0	0	0	6	18	6	4	4	5
定年後 再就職	6	1	0	0	0	1	0	1	1	0	2
その他	67.5	2.5	2	0.5	0.5	5.5	17	14	10.5	4	11
不明	8.5	0.5	0	0	0	1	0	1.5	0	3	2.5
②進学	72	0.5	1	2.5	3.5	47.5	5	4.5	6.5	1	0
大学	36	0	0	0	0	33	2	0	1	0	0
短大	9	0	0	0	0	6.5	2	0	0.5	0	0
専門	5	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0
その他	20.5	0.5	1	2.5	3.5	3	0	4	5	1	0
不明	1.5	0	0	0	0	0	1	0.5	0	0	0
③暮らし	517	38.5	23	4	6	39	127.5	125	62	28.5	63.5
住宅取得	89.5	14	5	2	2	5.5	13	25.5	11.5	4	7
その他	402	21	17	2	4	32	109	94	46.5	24.5	52
不明	25.5	3.5	1	0	0	1.5	5.5	5.5	4	0	4.5

※複数回答ある調査票については、按分処理を実施

6-4. 年齢区分別転入理由（大分類）数（葵区）

転入理由 (大分類)数 (葵区)※											
	総数	未就学	小学生	中学生	15～ 17歳	18～ 23歳	24～ 29歳	30代	40代	50代	60代 以上
計	2125	193	109	37	11	300	467	499	295	117	97
①仕事	1647	138.5	80	28	3	261	385.5	393.5	229.5	95.5	32.5
就職	321	6.5	2	0	1	181	85.5	29	7	5	4
転勤	952.5	112	71	25	1	43	180.5	260	184.5	72.5	3
転職	218	14	2	1	1	20	78	71.5	20.5	7	3
退職	50	0	0	0	0	7	21	6	7	4	5
定年後 再就職	5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4
その他	87.5	5.5	5	2	0	7	20.5	22.5	10.5	5	9.5
不明	13	0.5	0	0	0	2	0	4.5	0	2	4
②進学	42	0.5	4	3.5	3	18	1.5	3.5	8	0	0
大学	13.5	0	1	0	0	9	1.5	1	1	0	0
短大	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
専門	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0
その他	24.5	0.5	3	3.5	3	5	0	2.5	7	0	0
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③暮らし	436	54	25	5.5	5	21	80	102	57.5	21.5	64.5
住宅取得	91.5	17	8	4	1	3	9.5	26	16	2	5
その他	324	35	15	1.5	3	18	67	73	39.5	18.5	53.5
不明	20.5	2	2	0	1	0	3.5	3	2	1	6

※複数回答ある調査票については、按分処理を実施

6-5. 年齢区分別転入理由（大分類）数（駿河区）

転入理由 (大分類)数 (駿河区)※											
	総数	未就学	小学生	中学生	15～ 17歳	18～ 23歳	24～ 29歳	30代	40代	50代	60代 以上
計	893	49	16	5	5	203	237	197	95	62	24
①仕事	657	37	14	1	0	142	186.5	146	73	49	8.5
就職	135.5	0	0	0	0	85	32.5	8	5	3	2
転勤	366.5	30	12	1	0	30	100	102.5	55	35	1
転職	98	6	1	0	0	16	39	24.5	7	4	0.5
退職	19.5	1	0	0	0	4	4	4	1	4	1.5
定年後 再就職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	34.5	0	1	0	0	7	9	7	4	3	3.5
不明	3	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0
②進学	57.5	0	0.5	1	1	47	4	1.5	1.5	1	0
大学	42	0	0	0	0	39	3	0	0	0	0
短大	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0
専門	5	0	0	0	0	3	1	1	0	0	0
その他	7	0	0.5	1	1	2	0	0	1.5	1	0
不明	0.5	0	0	0	0	0	0	0.5	0	0	0
③暮らし	178.5	12	1.5	3	4	14	46.5	49.5	20.5	12	15.5
住宅取得	37.5	4	1	0	1	2.5	9	6	4	8	2
その他	137.5	8	0.5	3	3	11	36	42	16.5	4	13.5
不明	3.5	0	0	0	0	0.5	1.5	1.5	0	0	0

※複数回答ある調査票については、按分処理を実施

6-6. 年齢区分別転入理由（大分類）数（清水区）

転入理由 (大分類)数 (清水区)※											
	総数	未就学	小学生	中学生	15～ 17歳	18～ 23歳	24～ 29歳	30代	40代	50代	60代 以上
計	1254	95	43	10	11	276	309	271	141	51	47
①仕事	842.5	69	23	5.5	5.5	155	223.5	201	106	35	19
就職	174	3	1	0	0	85.5	64	13	4.5	2	1
転勤	414	44	18	3	4	40	97	112	70	23	3
転職	167.5	18	2	0	1	18	48.5	55.5	17.5	6	1
退職	33	0	0	0	0	4	10	8	3	1	7
定年後 再就職	5	1	0	0	0	0	0	1	1	0	2
その他	43.5	3	2	2.5	0.5	7	4	9.5	9	2	4
不明	5.5	0	0	0	0	0.5	0	2	1	1	1
②進学	118	0	0	0.5	2.5	100	11	3	1	0	0
大学	59.5	0	0	0	0	55	4	0.5	0	0	0
短大	42.5	0	0	0	0	36.5	4	1	1	0	0
専門	4	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0
その他	8.5	0	0	0.5	2.5	2	2	1.5	0	0	0
不明	3.5	0	0	0	0	2.5	1	0	0	0	0
③暮らし	293.5	26	20	4	3	21	74.5	67	34	16	28
住宅取得	62	11	6	1	1	2	7	17	9	1	7
その他	209.5	11	13	3	1	18	62	45	21.5	14	21
不明	22	4	1	0	1	1	5.5	5	3.5	1	0

※複数回答ある調査票については、按分処理を実施

6-7. 転入した人数別転入理由（大分類）数（率）

転入理由 (大分類) 数	(人)					(率) ※				
	総数	1人で 転入	1人で 転入 (男)	1人で 転入 (女)	複数人で 転入	総数	1人で 転入	1人で 転入 (男)	1人で 転入 (女)	複数人で 転入
計	4293	2468	1641	827	1825	100.0	57.5	38.2	19.3	42.5
①仕事	3164.5	1882.5	1359	523.5	1282	100.0	59.5	42.9	16.5	40.5
就職	633.5	584.5	395.5	189	49	100.0	92.3	62.4	29.8	7.7
転勤	1742	770	626	144	972	100.0	44.2	35.9	8.3	55.8
転職	485.5	323.5	210.5	113	162	100.0	66.6	43.4	23.3	33.4
退職	104.5	80.5	50.5	30	24	100.0	77.0	48.3	28.7	23.0
定年後 再就職	10	2	1	1	8	100.0	20.0	10.0	10.0	80.0
その他	167.5	109.5	67	42.5	58	100.0	65.4	40.0	25.4	34.6
不明	21.5	12.5	8.5	4	9	100.0	58.1	39.5	18.6	41.9
②進学	217.5	185	132.5	52.5	32.5	100.0	85.1	60.9	24.1	14.9
大学	115	112	77	35	3	100.0	97.4	67.0	30.4	2.6
短大	46.5	45	37	8	1.5	100.0	96.8	79.6	17.2	3.2
専門	12	12	7	5	0	100.0	100.0	58.3	41.7	0.0
その他	40	12	9	3	28	100.0	30.0	22.5	7.5	70.0
不明	4	4	2.5	1.5	0	100.0	100.0	62.5	37.5	0.0
③暮らし	911	400.5	149.5	251	510.5	100.0	44.0	16.4	27.6	56.0
住宅取得	191	24.5	13.5	11	166.5	100.0	12.8	7.1	5.8	87.2
その他	674	360	131.5	228.5	314	100.0	53.4	19.5	33.9	46.6
不明	46	16	4.5	11.5	30	100.0	34.8	9.8	25.0	65.2

※複数回答ある調査票については、按分処理を実施

※率は理由に対する転入した人数別の割合

7-1-1. 転入理由「①仕事」の転入理由（小分類）数（複数回答）

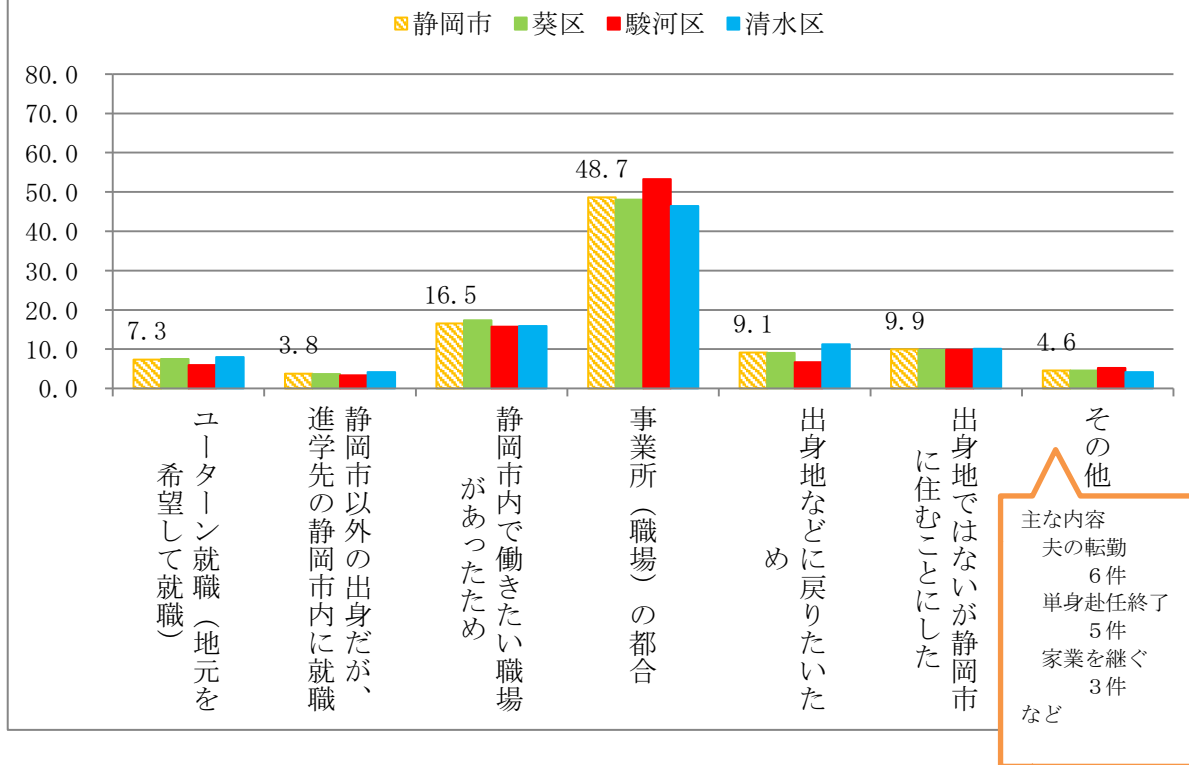
回答件数 N = 2,374.0

転入理由 (小分類) 数 ※	仕事						
	Uター ン就 職 (地 元 を 希 望 し て 就 職)	静岡 市 以 外 の 出 身 だ が、 進 学 先 の 静 岡 市 内 に 就 職	め 静岡 市 内 で 働 き た い 職 場 が あ っ た た	事 業 所 (職 場) の 都 合	出 身 地 な ど に 戻 り た い た め	に 出 身 地 で は な い が 静 岡 市 に 住 む こ と に し た	そ の 他
静岡市へ	175	90	394	1,160	218	237	110
葵区へ	90	44	209	578	109	118	55
駿河区へ	32	18	85	287	36	53	28
清水区へ	50	26	99	290	70	63	26
不明	3	2	1	5	3	3	1

※ 転入理由（小分類）記載のある調査票を集計

※ 複数回答可

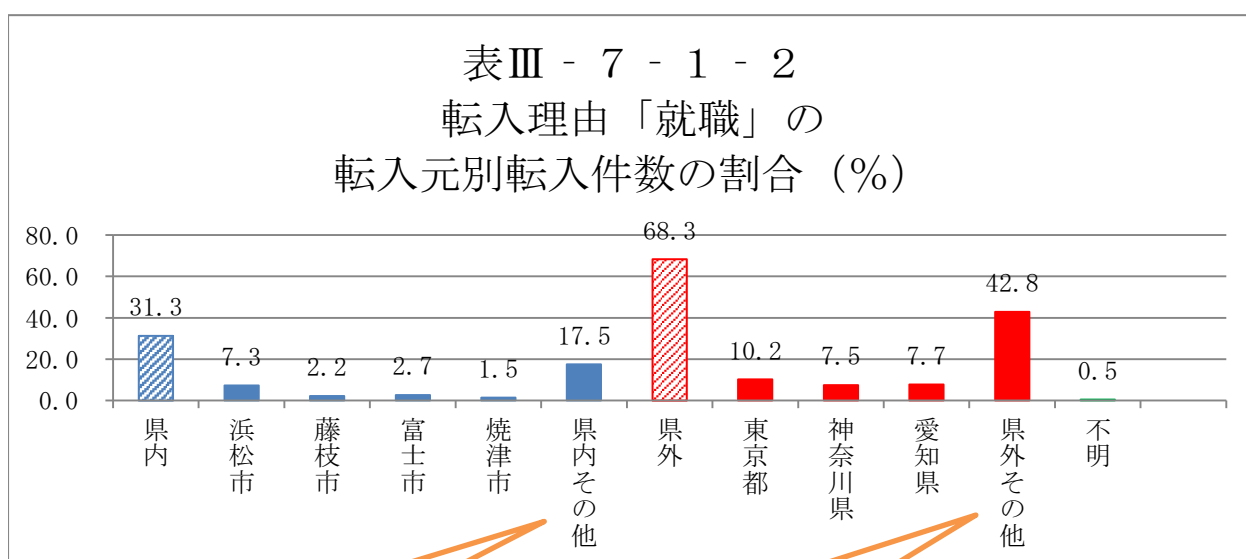
表Ⅲ - 7 - 1 - 1  
転入理由「①仕事」の転入理由（小分類）数の割合（%）



7-1-2. 転入理由「就職」の転入元別転入件数

		(件)	(率)	
		608	100.0	
転入理由「就職」 の転入件数 ※	県内	190	31.3	
		浜松市	44.5	7.3
		藤枝市	13.5	2.2
		富士市	16.5	2.7
		焼津市	9	1.5
		その他	106.5	17.5
	県外	415	68.3	
		東京都	62	10.2
		神奈川県	45.5	7.5
		愛知県	47	7.7
		その他	260.5	42.8
	不明	3	0.5	

※複数回答ある調査票については、按分処理を実施



富士宮市	2.1%
沼津市	1.8%
島田市	1.6%
その他	12.0%

山梨県	3.3%
埼玉県	3.3%
大阪府	3.1%
福岡県	3.0%
兵庫県	2.3%
その他	27.1%
不明	0.8%

○転入理由を「就職」に限定すると、転入元別転入件数の割合は、県内が約31.3%、県外が約68.3%を占めている。

○県外での内訳は、東京都、愛知県、神奈川県の順に割合が高くなっている。

○県内での内訳は、浜松市、富士市、藤枝市の順に割合が高くなっている。

○その他の割合が、転出件数の割合と比較しても高い。(一定の地域に偏っていない。)

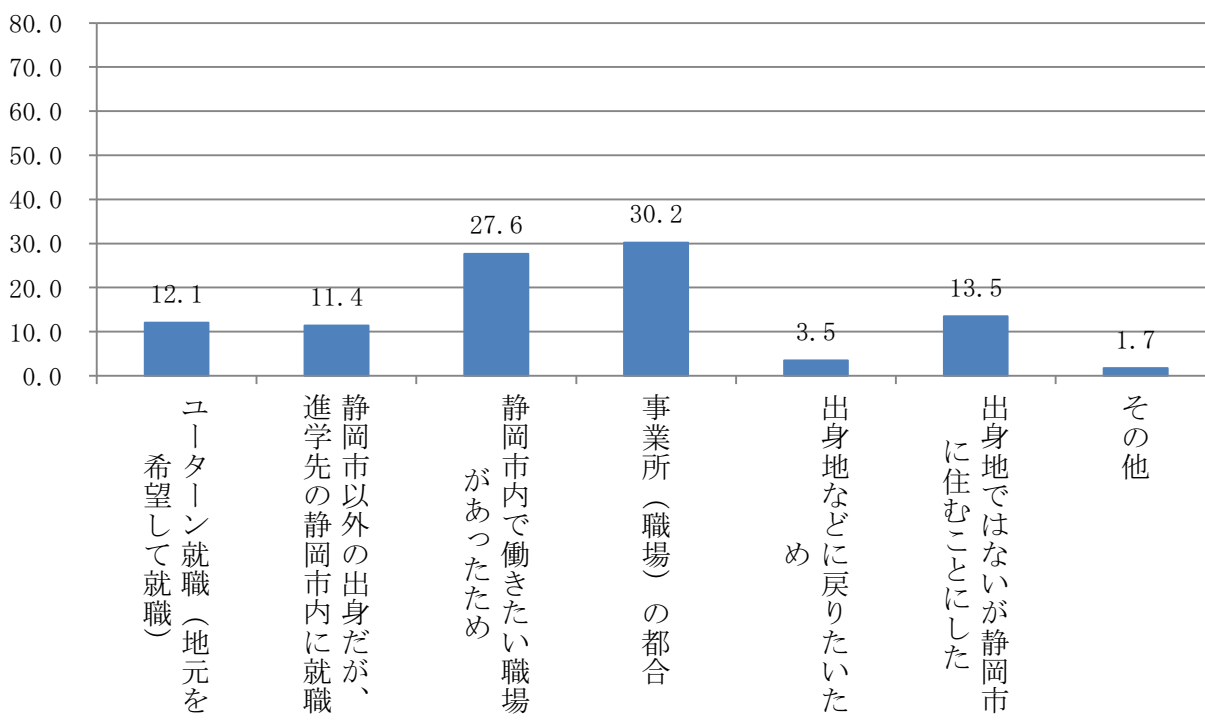
7-1-3. 転入理由「就職」の転入理由（小分類）数（複数回答）

回答件数 N = 608.0

転入理由「就職」の転入理由（小分類）	仕事						
	Uターン就職（地元を希望して就職）	静岡市以外に出身だが、進学先の静岡市内に就職	め 静岡市内で働きたい職場があったため	事業所（職場）の都合	出身地などに戻りたいため	出身地ではないが静岡市に住むことにした	その他
転入理由（小分類）数 ※	76	72	174	190	22	85	11

※ 転入理由（小分類）記載のある調査票を集計  
 ※ 複数回答可

表Ⅲ - 7 - 1 - 3  
 転入理由「就職」の  
 転入理由（小分類）数の割合（%）



○転入理由を「就職」に限定すると、転入理由（小分類）は、「事業所（職場）の都合」が約30.2%、「静岡市内で働きたい職場があったため」が約27.6%を占めている。



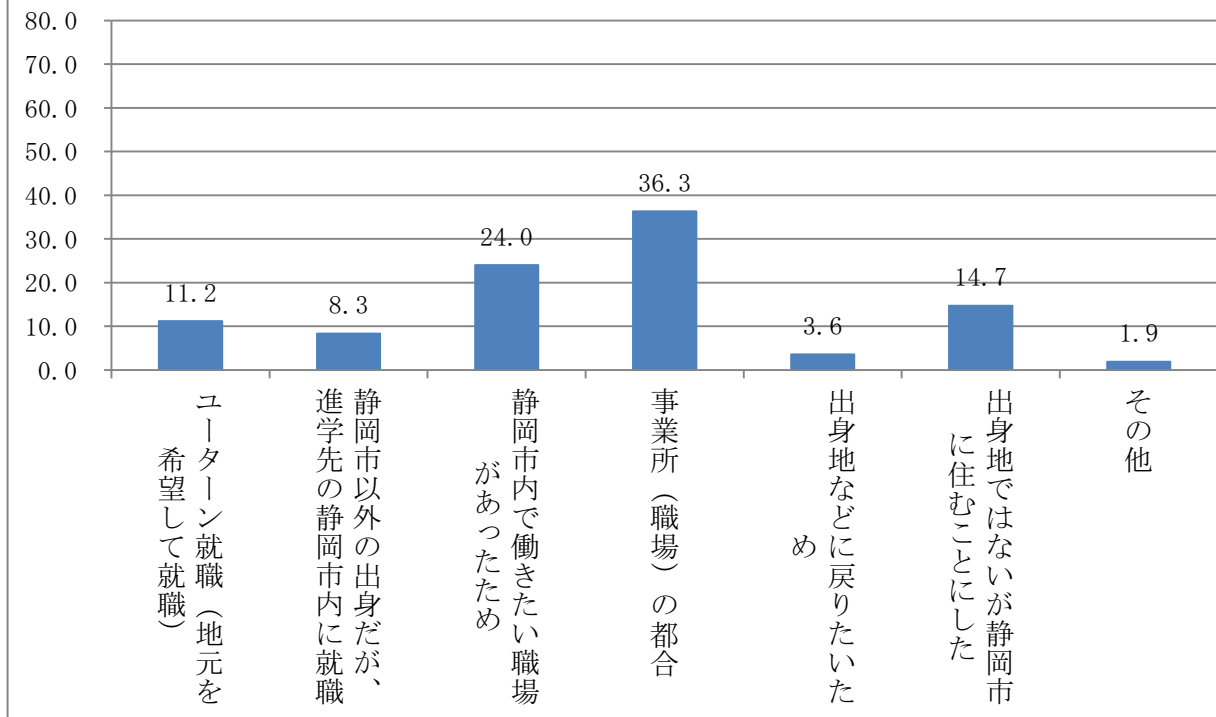
7-1-4. 転入理由「就職」、転入元「県外」の転入理由（小分類）数（複数回答）

回答件数 N = 415.0

転入理由「就職」 転入元「県外」 の転入理由 (小分類)	仕事						
	Uター ン就職 (地元を 希望して 就職)	静岡市 以外 の出身 だが、 進学 先の 静岡 市内 に就 職	め 静岡 市内 で働 きたい 職場 があ った ため	事業 所（ 職場 ）の 都合	出身 地な どに 戻り たい ため	出身 地 では ない が 静岡 市に 住む こと に した	その 他
転入理由 (小分類) 数 ※	47	35	101	153	15	62	8

※ 転入理由（小分類）記載のある調査票を集計  
※ 複数回答可

表Ⅲ - 7 - 1 - 4  
転入理由「就職」、転入元「県外」の  
転入理由（小分類）数の割合（%）

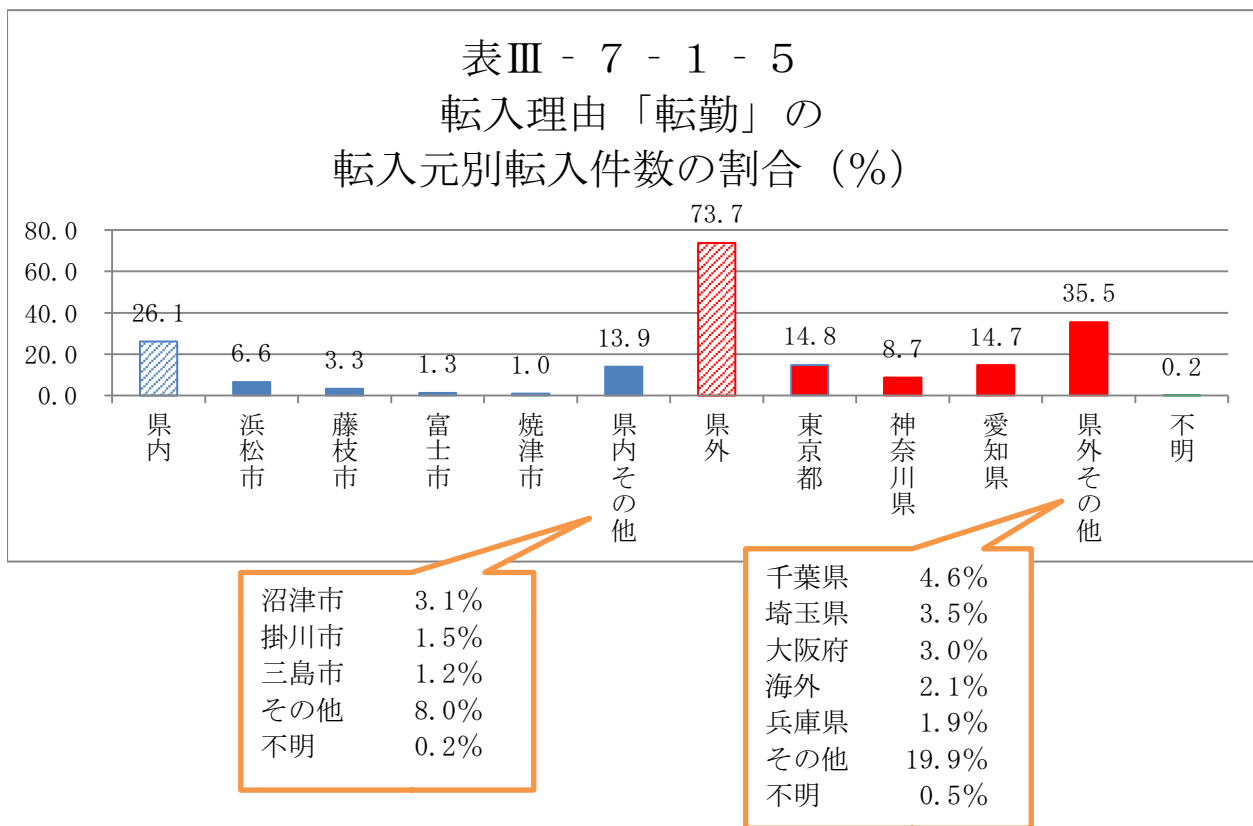


○転入理由を「就職」、転入元を「県外」に限定すると、転入理由（小分類）は、「事業所（職場）の都合」が約36.3%を占め、転入元を「県外」に限定しない場合と比較すると「事業所（職場）の都合」の割合が6.1ポイント高くなっている。

7-1-5. 転入理由「転勤」の転入元別転入件数

		(件)	(率)
		1127	100.0
転入理由「転勤」 の転入件数 ※	県内	294.5	26.1
	浜松市	74	6.6
	藤枝市	37.5	3.3
	富士市	15	1.3
	焼津市	11	1.0
	その他	157	13.9
	県外	830.5	73.7
	東京都	167	14.8
	神奈川県	97.5	8.7
	愛知県	166	14.7
	その他	400	35.5
	不明	2	0.2

※複数回答ある調査票については、按分処理を実施



○転入理由を「転勤」に限定すると、転入元別転入件数の割合は、県内が約26.1%、県外が約73.7%を占めている。

○県外での内訳は、東京都、愛知県、神奈川県、千葉県の順に割合が高くなっている。

○県内での内訳は、浜松市、藤枝市、沼津市の順に割合が高くなっている。

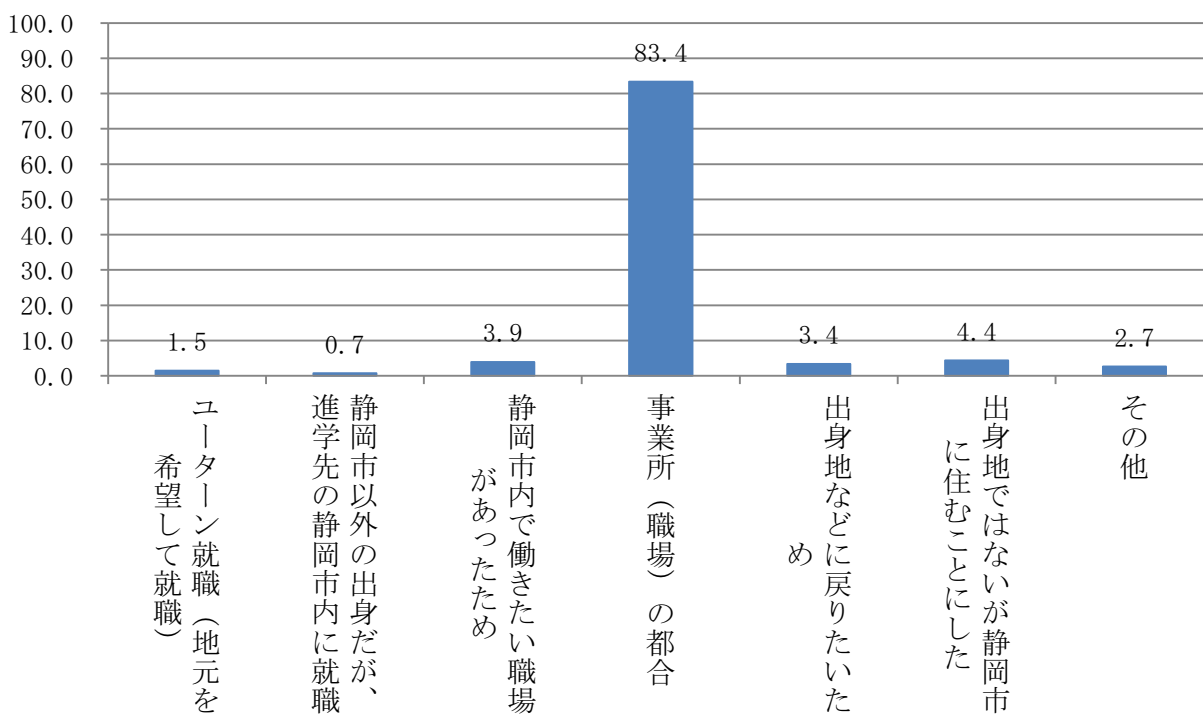
7-1-6. 転入理由「転勤」の転入理由（小分類）数（複数回答）

回答件数 N = 1,127.0

転入理由「転勤」の転入理由（小分類）	仕事						
	Uター ン就職 （地元を 希望して 就職）	静岡市 以外に 出身だ が、進 学先の 静岡市 内に就 職	静岡市 内で働 きたい 職場が あった ため	事業所 （職場） の都合	出身地 などに 戻りた いため	出身地 ではない が静岡 市に住 むこと にした	その他
転入理由（小分類）数※	16	8	43	909	37	48	29

※ 転入理由（小分類）記載のある調査票を集計  
 ※ 複数回答可

表Ⅲ - 7 - 1 - 6  
 転入理由「転勤」の  
 転入理由（小分類）数の割合（%）



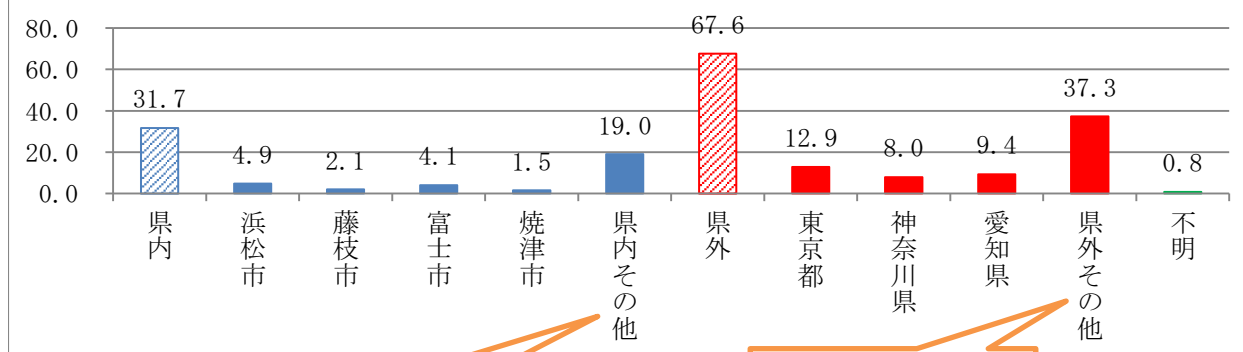
○転入理由を「転勤」に限定すると、転入理由（小分類）は、「事業所（職場）の都合」が約83.4%と大多数を占めている。

7-1-7. 転入理由「転職」の転入元別転入件数

		(件)	(率)
		388.5	100.0
転入理由「転職」 の転入件数(件) ※	県内	123	31.7
	浜松市	19	4.9
	藤枝市	8	2.1
	富士市	16	4.1
	焼津市	6	1.5
	その他	74	19.0
	県外	262.5	67.6
	東京都	50	12.9
	神奈川県	31	8.0
	愛知県	36.5	9.4
	その他	145	37.3
	不明	3	0.8

※複数回答ある調査票については、按分処理を実施

表Ⅲ - 7 - 1 - 7  
転入理由「転職」の  
転入元別転入件数の割合 (%)



沼津市 2.6%  
掛川市 1.8%  
磐田市 1.5%  
その他 11.8%  
不明 1.3%

千葉県 5.7%  
埼玉県 4.4%  
大阪府 4.2%  
山梨県 2.2%  
その他 20.6%  
不明 0.3%

○転入理由を「転職」に限定すると、転入元別転入件数の割合は、県内が約31.7%、県外が約67.6%を占めている。

○県外での内訳は、東京都、愛知県、神奈川県、千葉県の順に割合が高くなっている。

○県内での内訳は、浜松市、富士市、沼津市の順に割合が高くなっている。

7-1-8. 転入理由「転職」の転入理由（小分類）数（複数回答）

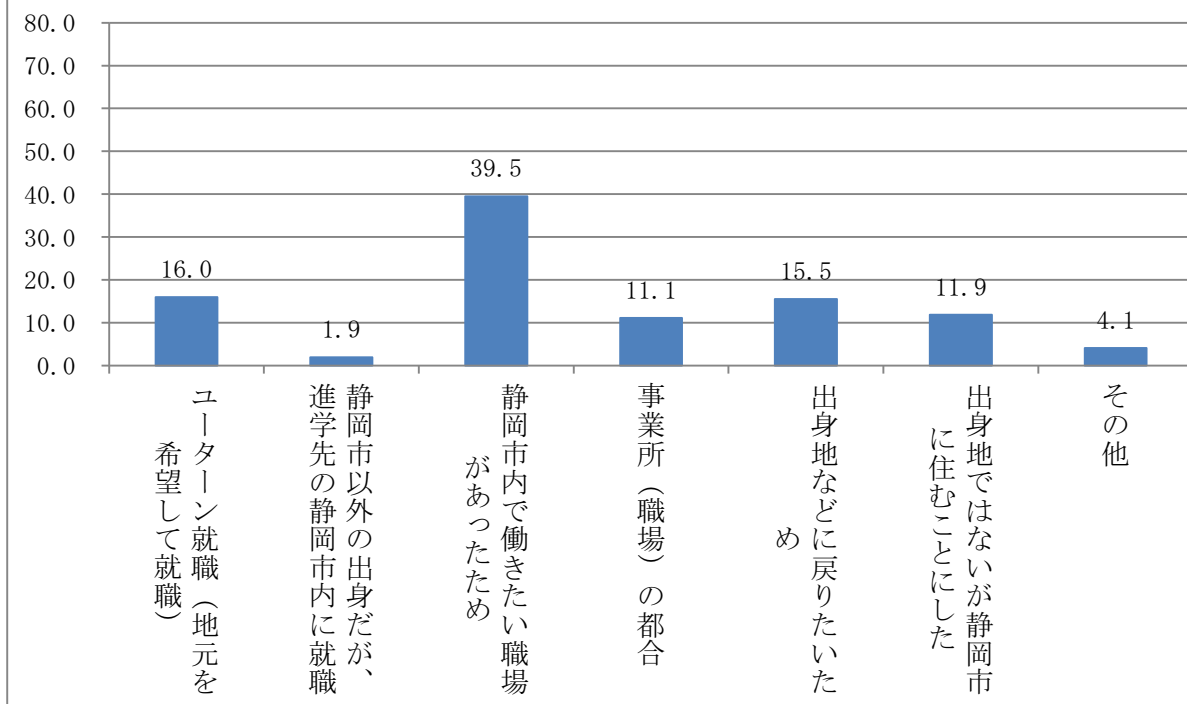
回答件数 N = 388.5

転入理由 「転職」 の転入理由 (小分類)	仕事						
	Uター ン就 職 (地 元 を 希 望 し て 就 職)	静岡 市以 外の 出身 だが、 進学 先の 静岡 市内 に就 職	静岡 市内 で働 きたい 職場 があ った ため	事業 所(職 場)の 都合	出身 地な どに 戻り たい ため	出身 地 では ない が静 岡市 に住 むこ とに した	その 他
転入理由 (小分類) 数 ※	66	8	163	46	64	49	17

※ 転入理由（小分類）記載のある調査票を集計

※ 複数回答可

表Ⅲ - 7 - 1 - 8  
転入理由「転職」の  
転入理由（小分類）数の割合（%）



○転入理由を「転職」に限定すると、転入理由（小分類）は、「静岡市内で働きたい職場があったため」が約39.5%を占めている。

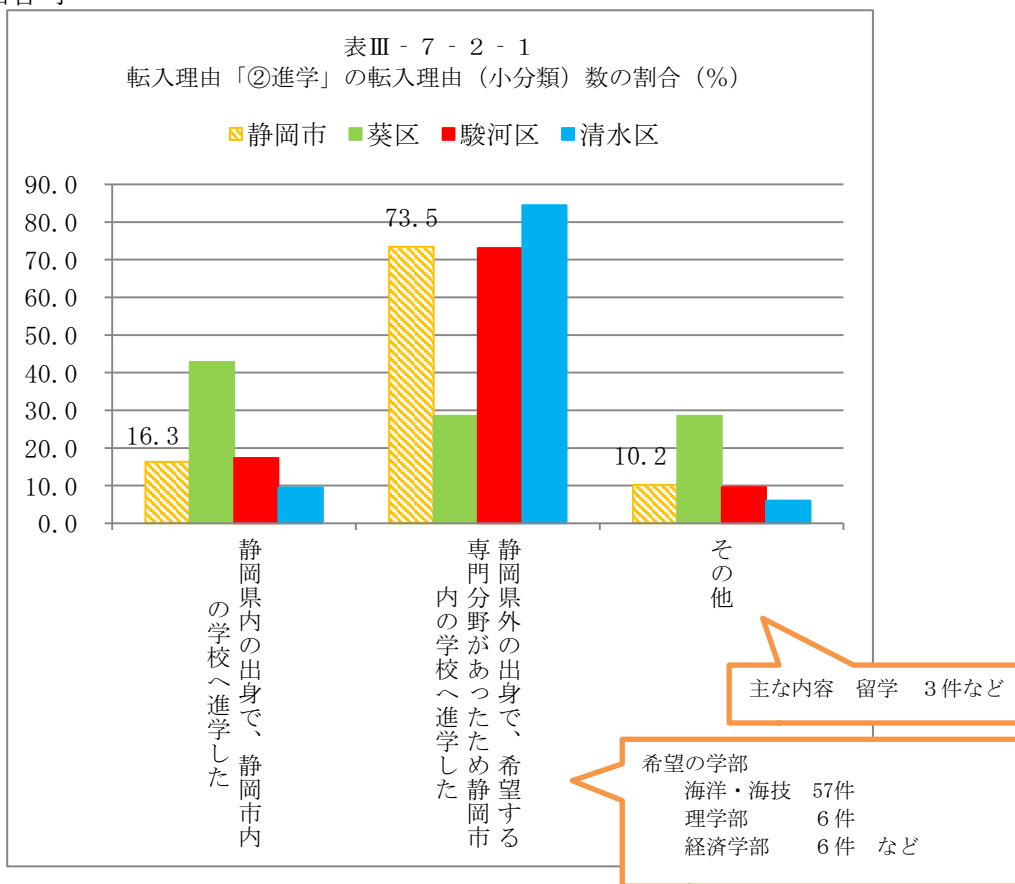
○転入理由を「就職」に限定したものと比較すると、「Uターン就職（地元を希望して就職）」や「出身地などに戻りたいため」の割合が高くなっている。

7-2-1. 転入理由「②進学」の転入理由（小分類）数（複数回答）

回答件数 N = 198.0

転入理由 (小分類) 数 ※	進学		
	静岡市内の出身で、静岡市内の学校へ進学した	静岡県外の出身で、希望する学校へ進学した	その他
静岡市へ	32	144	20
葵区へ	12	8	8
駿河区へ	9	38	5
清水区へ	11	98	7
不明	0	0	0

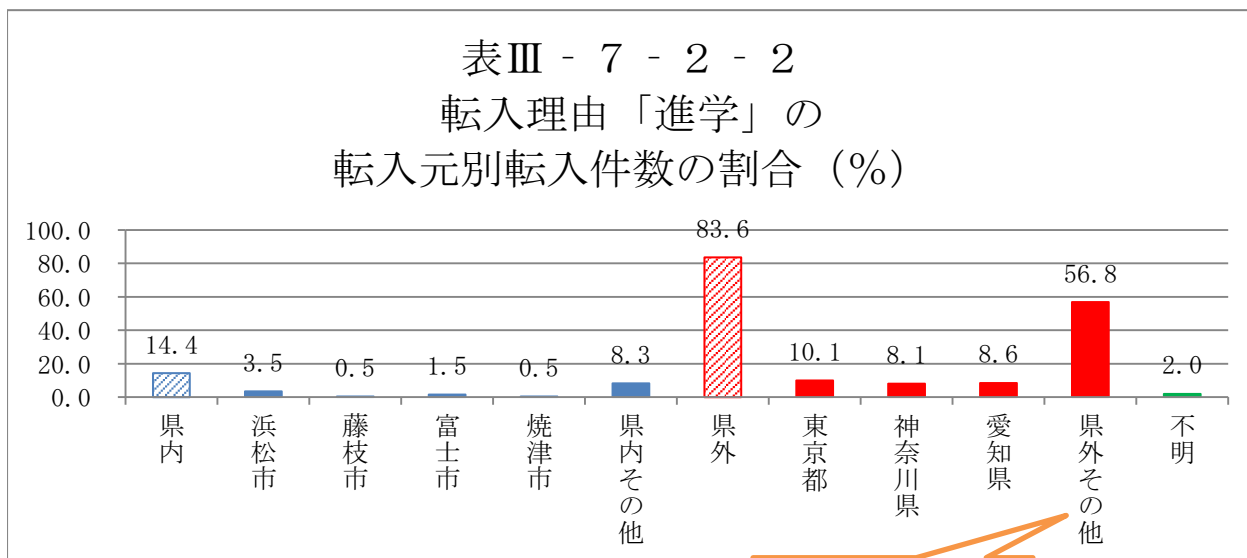
※ 転入理由（小分類）記載のある調査票を集計  
 ※ 複数回答可



7-2-2. 転入理由「進学」の転入元別転入件数

		(件)	(率)
		198	100.0
転入理由「進学」 の転入件数 ※	県内	28.5	14.4
	浜松市	7	3.5
	藤枝市	1	0.5
	富士市	3	1.5
	焼津市	1	0.5
	その他	16.5	8.3
	県外	165.5	83.6
	東京都	20	10.1
	神奈川県	16	8.1
	愛知県	17	8.6
	その他	112.5	56.8
	不明	4	2.0

※複数回答ある調査票については、按分処理を実施



北海道	5.1%
埼玉県	4.0%
大阪府	3.5%
その他	43.7%
不明	0.5%

○転入理由を「進学」に限定すると、転入元別転入件数の割合は、県内が約14.4%、県外が約83.6%を占めている。

○県外での内訳は、東京都、愛知県、神奈川県の順に割合が高くなっている。

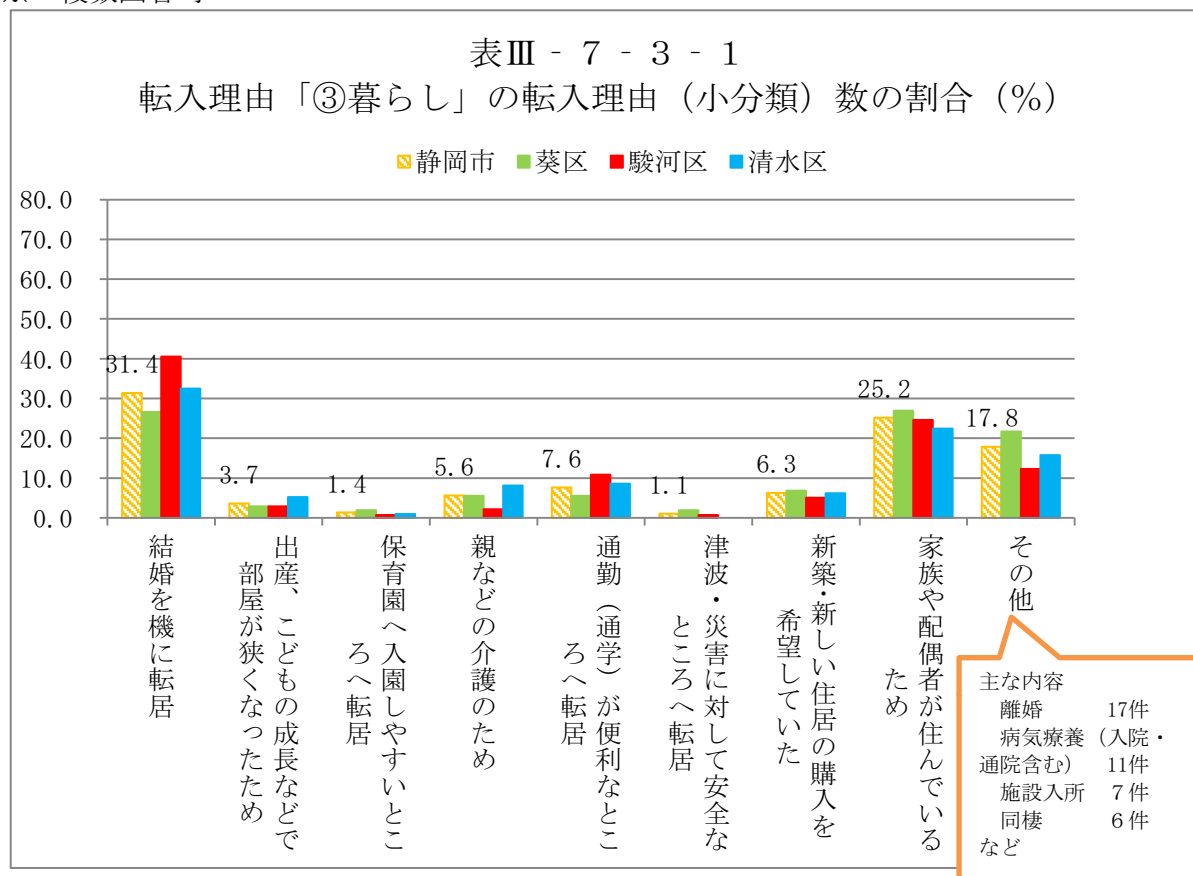
7-3-1. 転入理由「③暮らし」の転入理由（小分類）数（複数回答）

回答件数 N = 605.0

転入理由 (小分類) 数 ※	暮らし								
	結婚を機に転居	出産、こどもの成長などで部屋が狭くなったため	保育園へ入園しやすいところへ転居	親などの介護のため	通勤（通学）が便利などところへ転居	津波・災害に対して安全なところへ	新築・新しい住居の購入を希望していた	家族や配偶者が住んでいるため	その他
静岡市へ	206	24	9	37	50	7	41	165	117
葵区へ	82	9	6	17	17	6	21	83	67
駿河区へ	56	4	1	3	15	1	7	34	17
清水区へ	68	11	2	17	18	0	13	47	33
不明	0	0	0	0	0	0	0	1	0

※ 転入理由（小分類）記載のある調査票を集計

※ 複数回答可



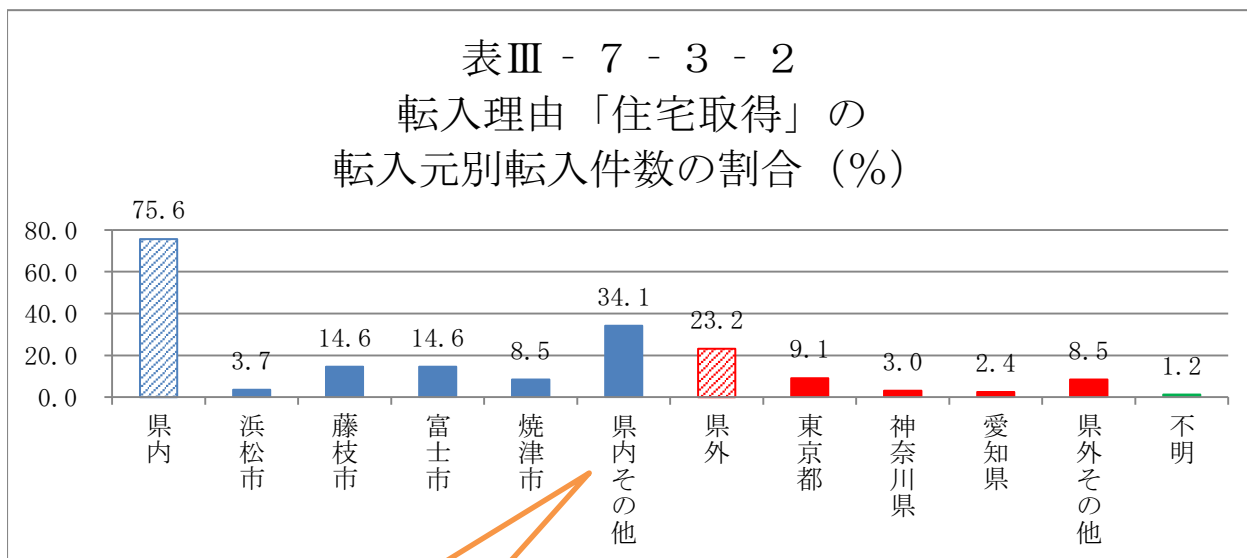
○転入理由「③暮らし」の転入理由（小分類）数の割合では「結婚を機に転居」の割合が約31.4%と最も高く、次いで「家族や配偶者が住んでいるため」の割合が約25.2%となっている。



7-3-2. 転入理由「住宅取得」の転入元別転入件数

		(件)	(率)
		82	100.0
転入理由 「住宅取得」 の転入件数(件)	県内	62	75.6
	浜松市	3	3.7
	藤枝市	12	14.6
	富士市	12	14.6
	焼津市	7	8.5
	その他	28	34.1
	県外	19	23.2
	東京都	7.5	9.1
	神奈川県	2.5	3.0
	愛知県	2	2.4
	その他	7	8.5
	不明	1	1.2

※複数回答ある調査票については、按分処理を実施



沼津市	5.5%
富士宮市	4.9%
掛川市	4.9%
その他	18.9%

○転入理由を「住宅取得」に限定すると、転入先別転入件数の割合は、県内が約75.6%、県外が約23.2%を占めている。(参考：アンケート全体の転入元別転入件数の割合 県内31%、県外68% (39P))

○県内での内訳は、藤枝市、富士市の割合が高くなっている。

7-3-3. 転入理由「住宅取得」の転入理由（小分類）数（複数回答）

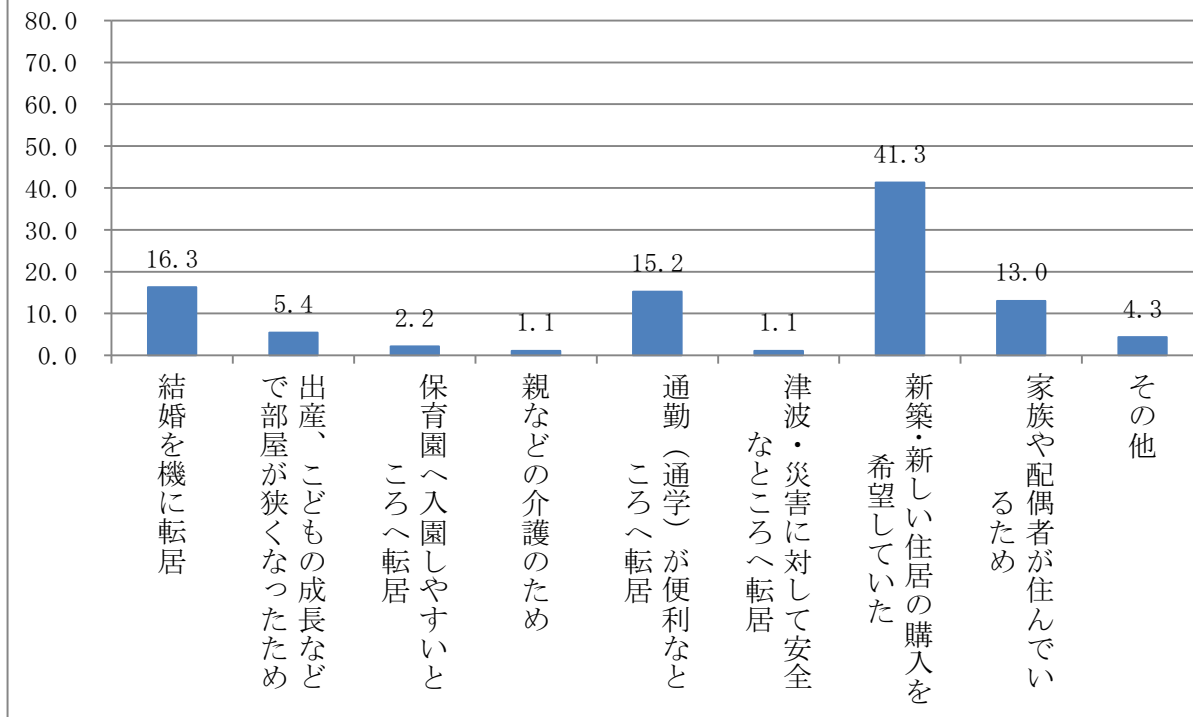
回答件数 N = 82.0

転入理由 「住宅取得」 の転入理由 (小分類)	暮らし								
	結婚を機に転居	出産、こどもの成長などで部屋が狭くなったため	保育園へ入園しやすいところへ転居	親などの介護のため	通勤（通学）が便利などところへ転居	津波・災害に対して安全なところへ転居	新築・新しい住居の購入を希望していた	家族や配偶者が住んでいるため	その他
転入理由 (小分類) 数 ※	15	5	2	1	14	1	38	12	4

※ 転入理由（小分類）記載のある調査票を集計

※ 複数回答可

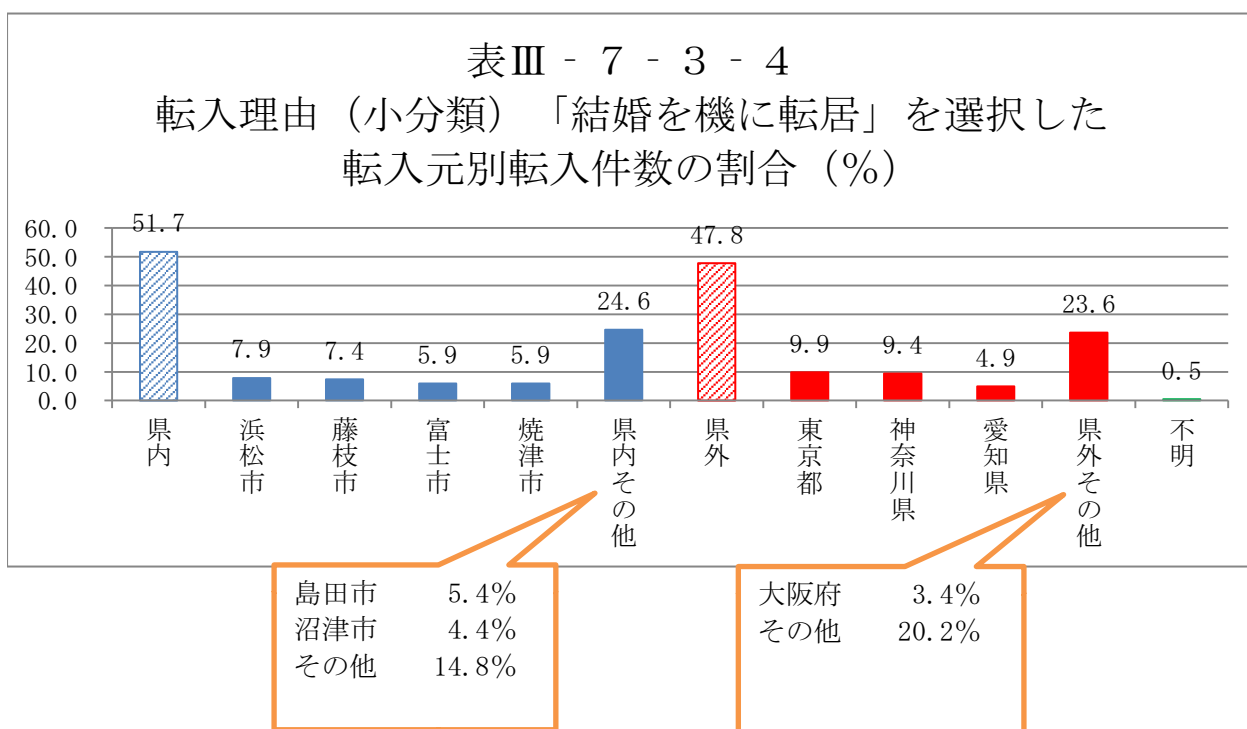
表Ⅲ - 7 - 3 - 3  
転入理由「住宅取得」の  
転入理由（小分類）数の割合（%）



○転入理由を「住宅取得」に限定すると、転入理由（小分類）は、「新築・新しい住居の購入を希望していた」が約41.3%、「結婚を機に転居」が約16.3%、「通勤（通学）が便利などところへ転居」が約15.2%を占めている。

7-3-4. 転入理由（小分類）「結婚を機に転居」を選択した転入元別転入件数

		(件)	(率)	
		203	100.0	
転入理由 (小分類) 「結婚を機に転居」 の転入先別転入件数 (件)	県内	105	51.7	
		浜松市	16	7.9
		藤枝市	15	7.4
		富士市	12	5.9
		焼津市	12	5.9
		その他	50	24.6
	県外	97	47.8	
		東京都	20	9.9
		神奈川県	19	9.4
		愛知県	10	4.9
		その他	48	23.6
	不明	1	0.5	



○転入理由（小分類）で「結婚を機に転居」を選択した転入元別転入件数の割合は、県内が約51.7%、県外が約47.8%を占めている。

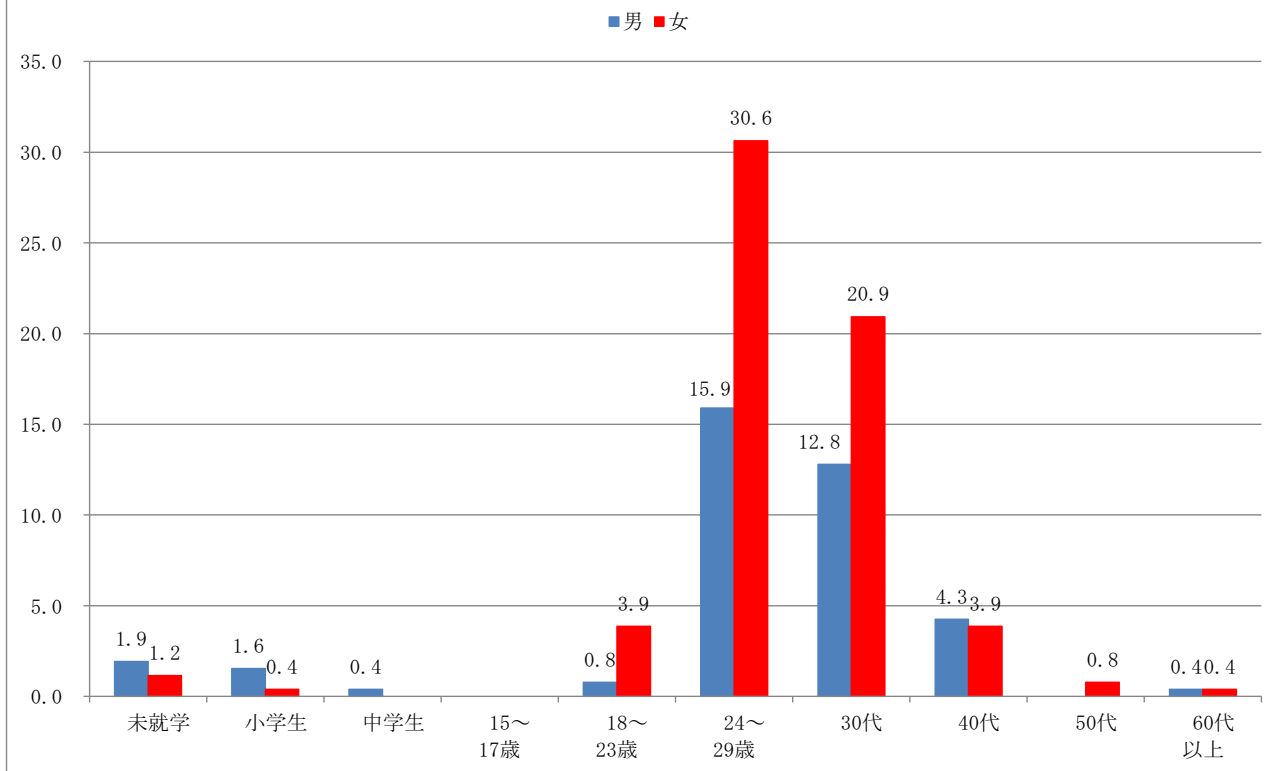
○県内での内訳は浜松市、藤枝市、富士市、焼津市の順に割合が高くなっている。

○県外での内訳は、東京都、神奈川県、愛知県の順に割合が高くなっている。

7-3-5. 転入理由（小分類）「結婚を機に転居」を選択した年齢区分別男女別人数

転入理由（小分類）「結婚を機に転居」を選択した人数（人）	総数	未就学	小学生	中学生	15～17歳	18～23歳	24～29歳	30代	40代	50代	60代以上
総数（男女）	258	8	5	1	0	12	120	87	21	2	2
男	98	5	4	1	0	2	41	33	11	0	1
女	160	3	1	0	0	10	79	54	10	2	1

表Ⅲ - 7 - 3 - 5  
転入理由（小分類）「結婚を機に転居」を選択した  
年齢区分別男女別人数の割合（％）



○転入理由（小分類）「結婚を機に転居」を選択した男女別人数の割合は、男性が約38.0%、女性が約62.0%と女性の割合が高い。（参考：アンケート全体の男女別転入者数の割合 男59%、女41%（38P））

○年齢区分別にみると、男女ともに、「24歳～29歳」、「30代」割合が高くなっている。

8. 転入元別転入理由（大分類）数

転入理由 (大分類) 数※	総 数	県 内						県 外	不 明				
		浜松市	藤枝市	富士市	焼津市	県内 その他	東京都		神奈川 県	愛知県	県外 その他		
総数	3177	998	184	115	101	82	516	2159	413	268	311	1167	20
仕事	2374	682	148.5	68	54.5	38	373	1680	321	206	268.5	884.5	12
就職	608	190	44.5	13.5	16.5	9	106.5	415	62	45.5	47	260.5	3
転勤	1127	294.5	74	37.5	15	11	157	830.5	167	97.5	166	400	2
転職	388.5	123	19	8	16	6	74	262.5	50	31	36.5	145	3
退職	92.5	22	5	4	2	1	10	70.5	23	13	6	28.5	0
定年後 再就職	6	1	0	0	1	0	0	4	0	2	0	2	1
仕事 その他	134	44	4.5	4	4	10	21.5	87	17	15.5	13	41.5	3
不明	18	7.5	1.5	1	0	1	4	10.5	2	1.5	0	7	0
進学	198	28.5	7	1	3	1	16.5	165.5	20	16	17	112.5	4
大学	113	9	4	0	0	0	5	103	11	6.5	12	73.5	1
短大	45.5	3.5	1	1	0	0	1.5	40	6	7	4	23	2
専門 学校	12	5	1	0	1	0	3	7	1	0	0	6	0
進学 その他	23.5	10	1	0	2	1	6	12.5	2	2	1	7.5	1
不明	4	1	0	0	0	0	1	3	0	0.5	0	2.5	0
暮らし	605	287.5	28.5	46	43.5	43	126.5	313.5	72	46	25.5	170	4
住宅取得	82	62	3	12	12	7	28	19	7.5	2.5	2	7	1
暮らし その他	493.5	212	23	33.5	29.5	35	91	278.5	62.5	41	22	153	3
不明	29.5	13.5	2.5	0.5	2	1	7.5	16	2	2.5	1.5	10	0

※複数回答ある調査票については、按分処理を実施

- は各転入元における最も回答の多い転入理由
- は各転入元における2番目に回答の多い転入理由

9. 届出の時期別転入理由（大分類）数

転入理由 (大分類) 数※	総 数	9月下旬 から 12月上旬	12月下旬 から 3月上旬	3月下旬 から 4月上旬	4月下旬 から 7月上旬	7月下旬 から 9月上旬
		総数	3177	635	599	1153
仕事	2374	454	419.5	915	408	177.5
就職	608	75	88.5	327	99.5	18
転勤	1127	242.5	174	438.5	173	99
転職	388.5	91	89	96	78	34.5
退職	92.5	14	24	18.5	27	9
定年後 再就職	6	1	1	1	3	0
仕事 その他	134	25	35.5	32	25.5	16
不明	18	5.5	7.5	2	2	1
進学	198	16.5	26.5	132.5	17.5	5
大学	113	11	18.5	69	11.5	3
短大	45.5	1	0.5	42	1	1
専門 学校	12	0	2	7	3	0
進学 その他	23.5	4	5	11.5	2	1
不明	4	0.5	0.5	3	0	0
暮らし	605	164.5	153	105.5	108.5	73.5
住宅取得	82	16.5	24	19.5	13	9
暮らし その他	493.5	142	112.5	80.5	95	63.5
不明	29.5	6	16.5	5.5	0.5	1

※複数回答ある調査票については、按分処理を実施

- は各届出時期における最も回答の多い転入理由
- は各届出時期における2番目に回答の多い転入理由

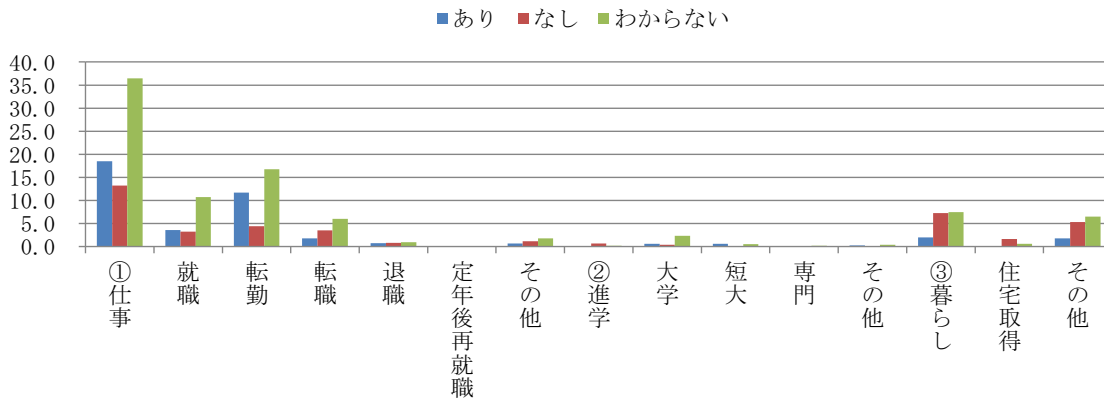
10. 転入理由（大分類）別静岡市外へ移る予定

N = 3,177

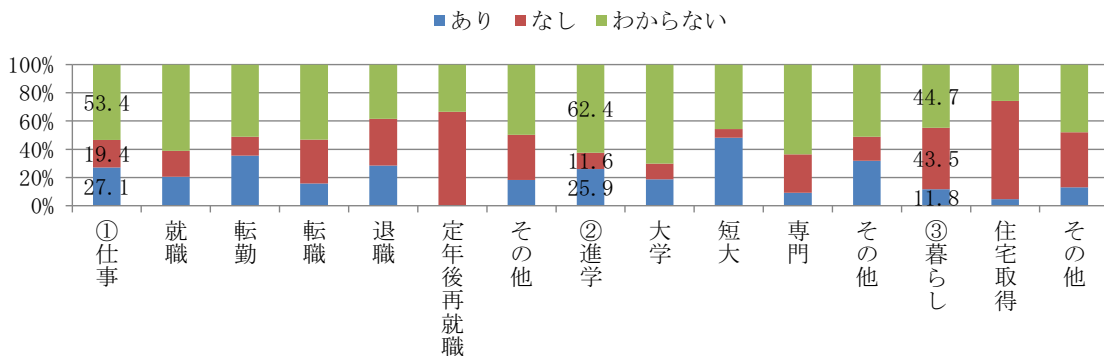
		総数	あり	なし	わからない	不明 (回答なし)
転入理由 (大分類) 数(件) ※	①仕事	3177	699	673	1511	294
	1 就職	2374	588.5	421	1158.5	206
	2 転勤	608	115	102	341.5	49.5
	3 転職	1127	372	139.5	533.5	82
	4 退職	388.5	56	111	190	31.5
	5 定年後再就職	92.5	23	26.5	31	12
	6 その他	6	0	2	1	3
	不明	134	20.5	36	56	21.5
	②進学	18	2	4	5.5	6.5
	1 1 大学	198	48	21.5	115.5	13
	1 2 短大	113	20	12	75	6
	1 3 専門	45.5	19	2.5	18	6
	1 4 その他	12	1	3	7	1
	不明	23.5	7.5	4	12	0
	③暮らし	4	0.5	0	3.5	0
	2 1 住宅取得	605	62.5	230.5	237	75
	2 2 その他	82	3.5	52.5	19.5	6.5
	不明	493.5	56	168	207	62.5
	29.5	3	10	10.5	6	

※ 大分類が複数回答ある調査票については、按分処理を実施

表Ⅲ - 10 - 1  
静岡市外へ移る予定の有無の割合 (%)



表Ⅲ - 10 - 2  
転入理由（大分類）別  
静岡市外へ移る予定の有無の割合 (%)



※不明を除いて算出

○「暮らし」を理由に転入した場合、静岡市外へ移る予定なしの割合が高い。

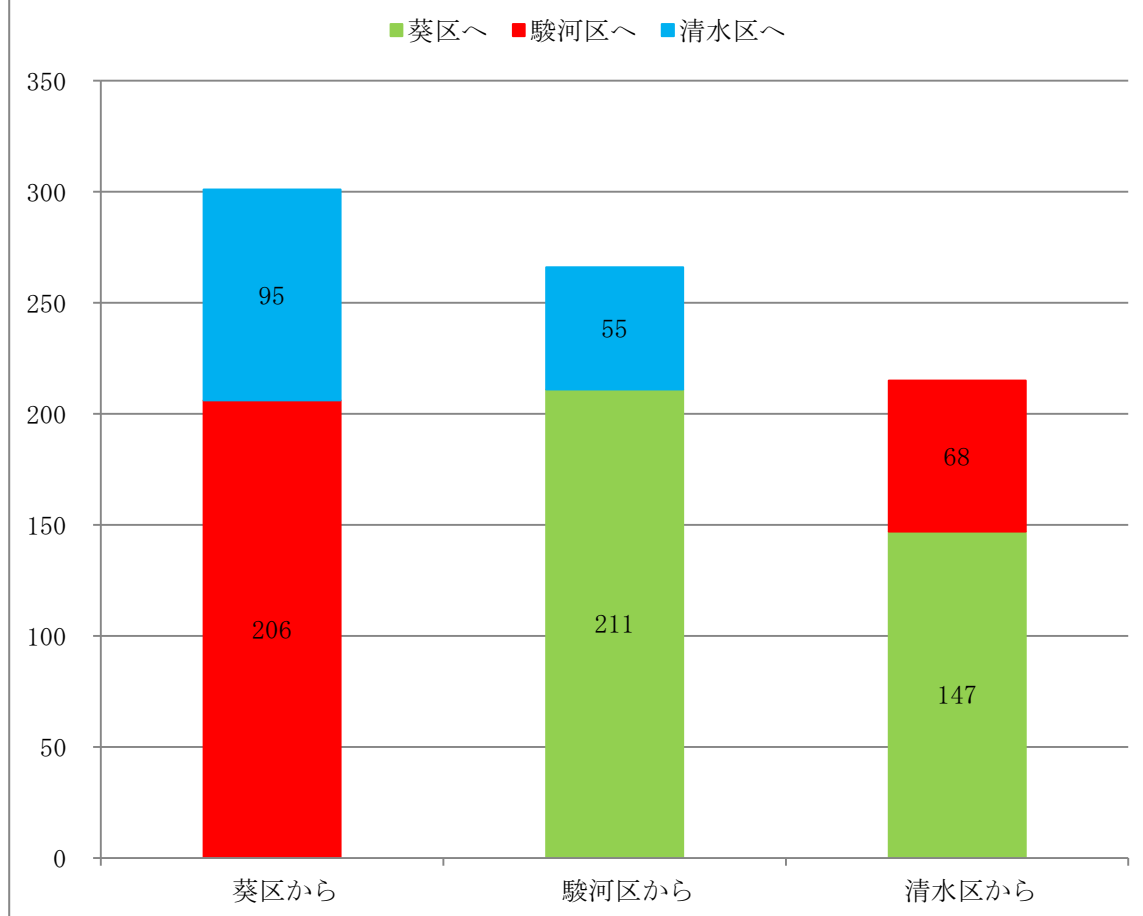
○転入者の約半数は、転入時点で「わからない」と回答している。

## IV. 区間異動

### 1. 回答者（区間異動者）の属性\_区別区間異動件数

区間異動件数（件）※		葵区へ	駿河区へ	清水区へ
総数	782	358	274	150
葵区から	301	0	206	95
駿河区から	266	211	0	55
清水区から	215	147	68	0

表Ⅳ - 1  
区別区間異動件数（件）





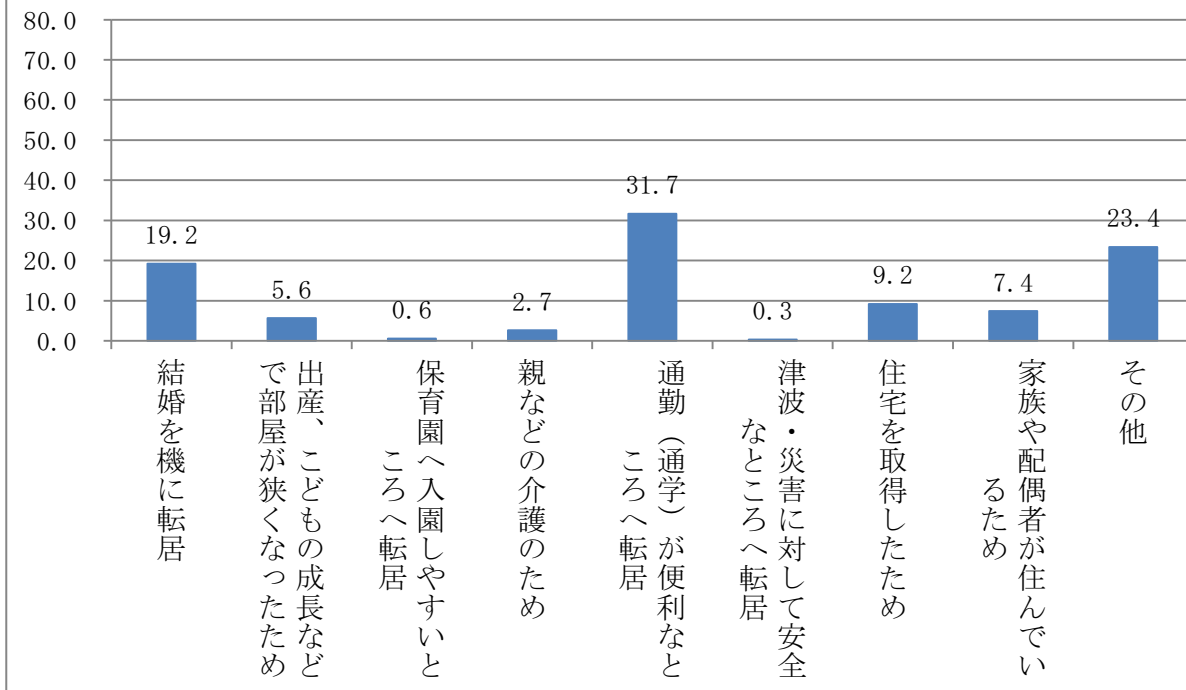
2-1. 葵区からの区間異動の異動理由数（複数回答）

回答件数 N = 301

葵区から	区間異動								
	結婚を機に転居	出産、こどもの成長などで部屋が狭くなったため	保育園へ入園しやすいところへ転居	親などの介護のため	通勤（通学）が便利などところへ転居	津波・災害に対して安全なところへ転居	住宅を取得したため	家族や配偶者が住んでいるため	その他
区間異動理由件数※	65	19	2	9	107	1	31	25	79

※ 複数回答可

表IV - 2 - 1  
葵区からの区間異動の  
異動理由数の割合（%）



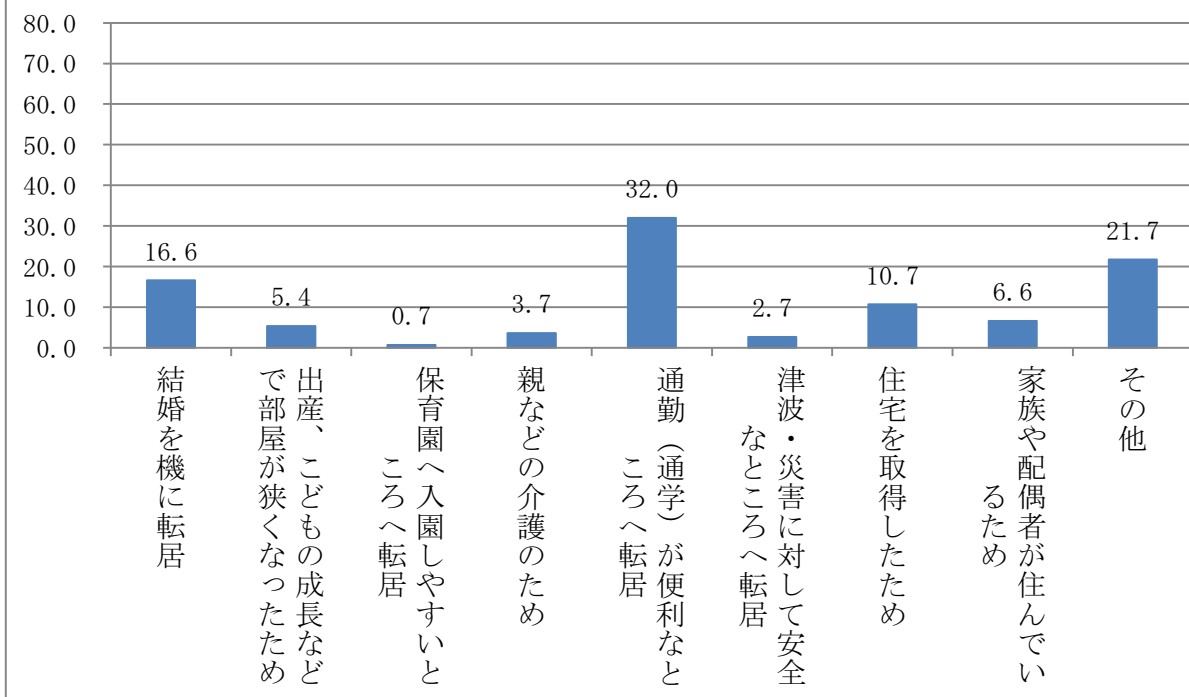
2-2. 葵区への区間異動の異動理由数（複数回答）

回答件数 N = 358

葵区へ	区間異動								
	結婚を機に転居	出産、こどもの成長などで部屋が狭くなったため	保育園へ入園しやすいところへ転居	親などの介護のため	通勤（通学）が便利などところへ転居	津波・災害に対して安全などところへ転居	住宅を取得したため	家族や配偶者が住んでいるため	その他
区間異動理由件数※	68	22	3	15	131	11	44	27	89

※ 複数回答可

表IV - 2 - 2  
葵区への区間異動の  
異動理由数の割合（%）

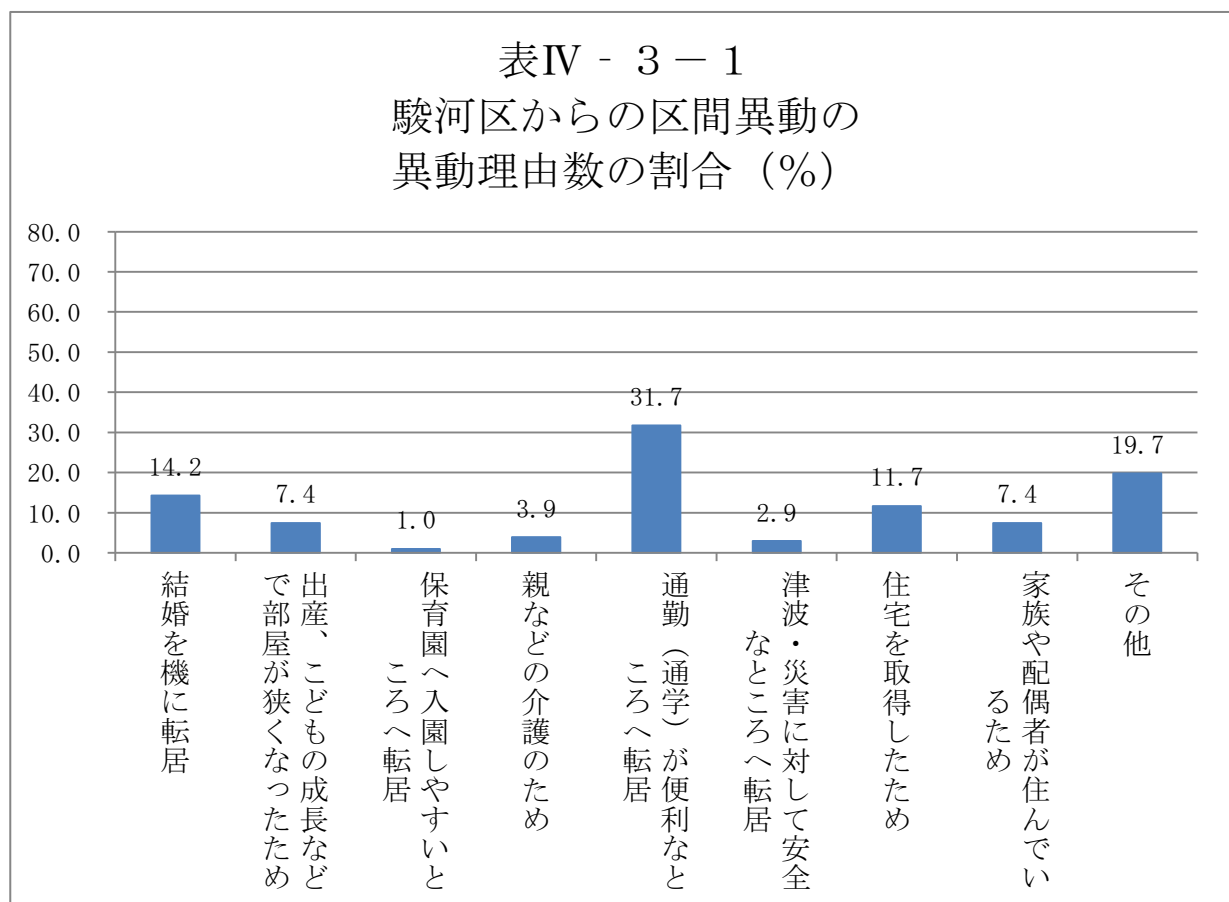


3-1. 駿河区からの区間異動の異動理由数（複数回答）

回答件数 N = 266

駿河区から	区間異動								
	結婚を機に転居	出産、こどもの成長などで部屋が狭くなったため	保育園へ入園しやすいところへ転居	親などの介護のため	通勤（通学）が便利などところへ転居	津波・災害に対して安全などところへ転居	住宅を取得したため	家族や配偶者が住んでいるため	その他
区間異動理由件数※	44	23	3	12	98	9	36	23	61

※ 複数回答可



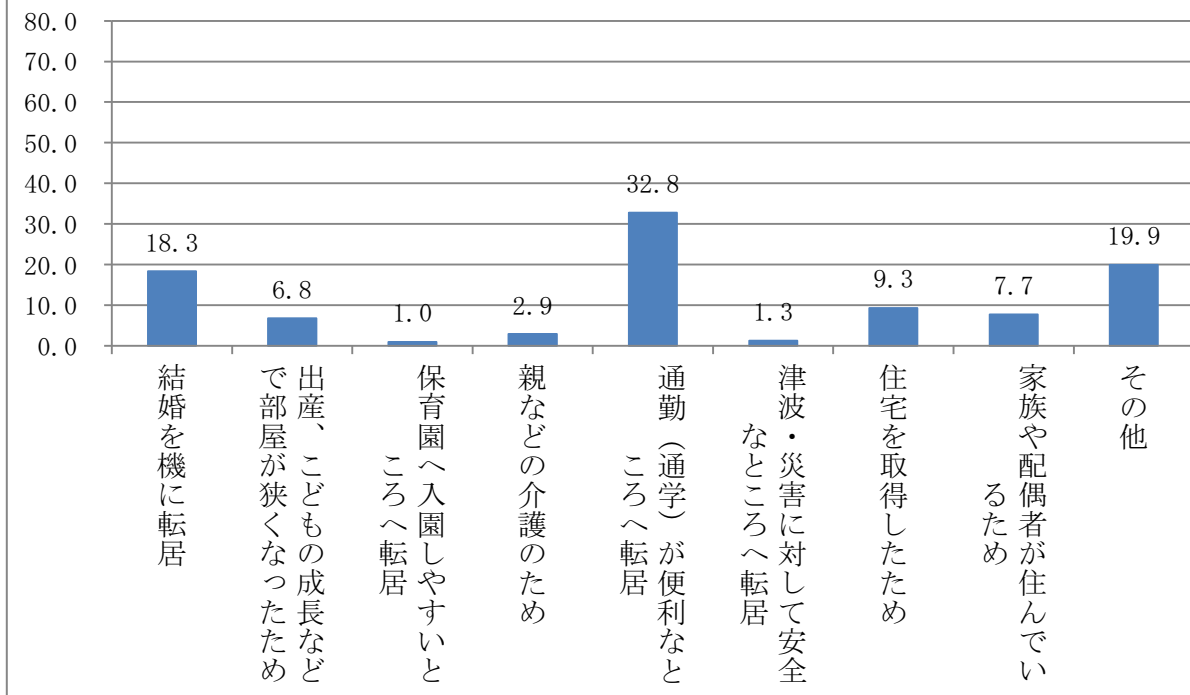
3-2. 駿河区への区間異動の異動理由数（複数回答）

回答件数 N = 274

駿河区へ	区間異動								
	結婚を機に転居	出産、こどもの成長などで部屋が狭くなったため	保育園へ入園しやすいところへ転居	親などの介護のため	通勤（通学）が便利などところへ転居	津波・災害に対して安全なところへ転居	住宅を取得したため	家族や配偶者が住んでいるため	その他
区間異動理由件数※	57	21	3	9	102	4	29	24	62

※ 複数回答可

表IV - 3 - 2  
駿河区への区間異動の  
異動理由数の割合（%）

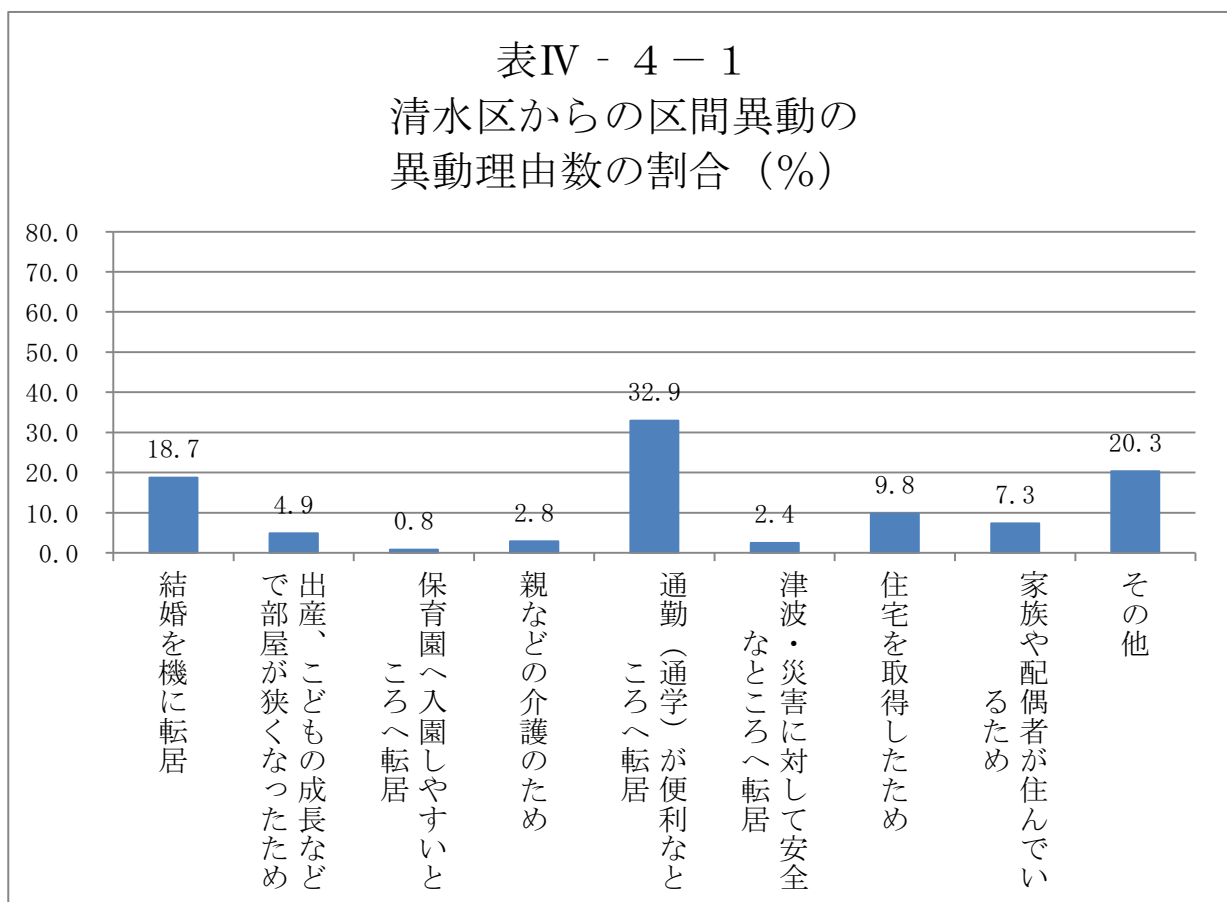


4-1. 清水区からの区間異動の異動理由数（複数回答）

回答件数 N = 215

清水区 から	区間異動								
	結婚を機に転居	出産、こどもの成長などで部屋が狭くなったため	保育園へ入園しやすいところへ転居	親などの介護のため	通勤（通学）が便利などところへ転居	津波・災害に対して安全などところへ転居	住宅を取得したため	家族や配偶者が住んでいるため	その他
区間異動理由件数※	46	12	2	7	81	6	24	18	50

※ 複数回答可



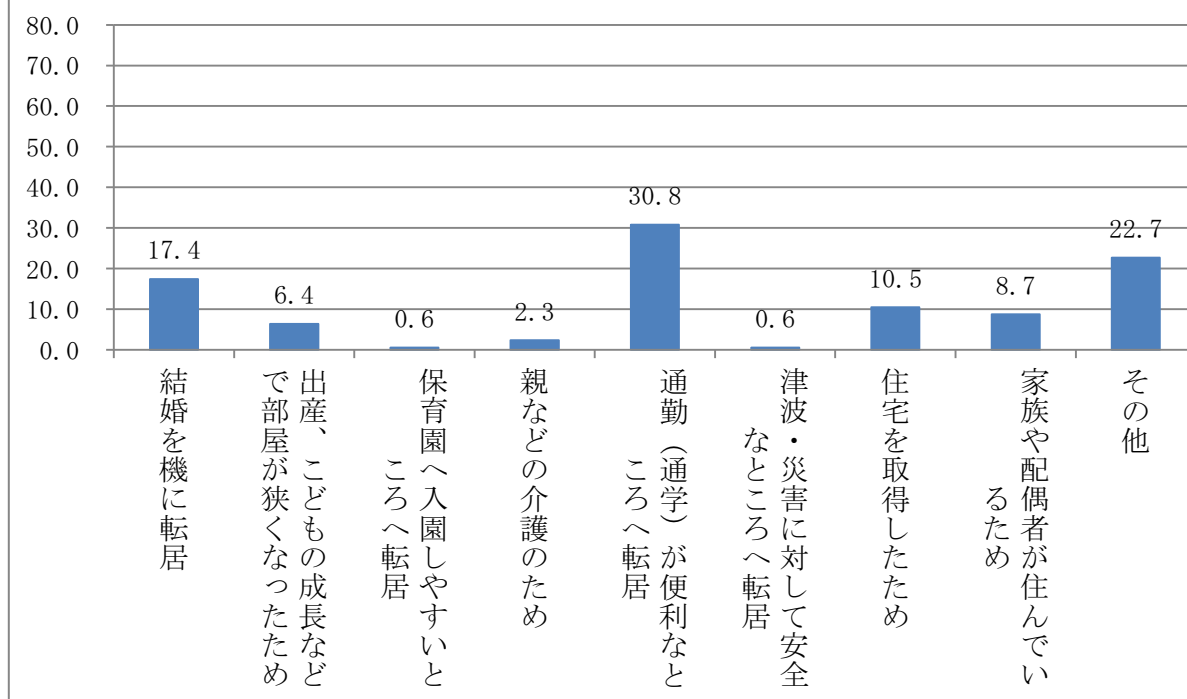
4-2. 清水区への区間異動の異動理由数（複数回答）

回答件数 N = 150

清水区へ	区間異動								
	結婚を機に転居	出産、こどもの成長などで部屋が狭くなったため	保育園へ入園しやすいところへ転居	親などの介護のため	通勤（通学）が便利などところへ転居	津波・災害に対して安全なところへ転居	住宅を取得したため	家族や配偶者が住んでいるため	その他
区間異動理由件数※	30	11	1	4	53	1	18	15	39

※ 複数回答可

表IV - 4 - 2  
清水区への区間異動の  
異動理由数の割合（%）



## V. まとめ・考察

### 1. 転出

- 転出者の主な転出理由別の転出者数として、「転勤」、「就職」、「転職」、「結婚」、「進学」、「住宅取得」の理由順に転出者数が多かった。(11P、33P)
- 「転勤」を理由とする転出者
- ・「30代」、「24歳～29歳」の年齢区分の男性が多く(11P、12P)、転出先別件数割合として愛知県、東京都、神奈川県で約40.3%を占めている。(22P)
  - ・理由(小分類)としては、「事業所(職場)の都合」が約91.0%と大多数を占めている(23P)ことから、本人の希望によらない割合が高いといえる。
  - ・静岡市に戻る希望の有無では、「あり」が「なし」を上回っている。(36P)
- 「就職」を理由とする転出者
- ・「18歳～23歳」の年齢区分が最も多く(11P)、転出先別件数割合として東京都だけで約28.1%を占め、東京都、神奈川県、愛知県、千葉県の上位4都道府県で約52.0%と過半数を占めている。(19P)
  - ・理由(小分類)としては、「静岡市外で働きたい職場があったため」が約40.0%、「進学先で就職」が約26.2%を占めている。(20P)
  - ・転出先「東京」に限定すると、転出理由(小分類)は、「静岡市外で働きたい職場があったため」が約40.7%、「進学先で就職」が約38.5%を占め(21P)、転出先を「東京」に限定しない場合と比較すると「進学先で就職」の割合が12.3ポイント高くなっていることから、県外へ進学して、そのまま就職し住民票を移す割合が高い(東京都はその割合が更に顕著)といえる。(参考:大学の学校数は東京に全国の18%の校数があるなど、大都市圏に大学が多い。)
  - ・静岡市に戻る希望の有無では、「あり」が「なし」を上回っている。(36P)
- 「転職」を理由とする転出者
- ・「24歳～29歳」、「30代」の年齢区分が多く(11P)、転出先別件数割合として東京都、神奈川県、愛知県で約42.7%を占める。(24P)
  - ・理由(小分類)としては「静岡市外で働きたい職場があったため」が約48.7%、「出身地などに戻りたいため」が約24.1%を占めている一方で、「静岡市内で就職先を探したが見つからなかった」が約8.7%しかないことから(25P)、最初から静岡市外(特に大都市)への転職を希望している割合が高いといえる。
  - ・静岡市に戻る希望の有無では、「なし」が「あり」を上回っている。(36P)
- 「結婚」を理由とする転出者
- ・「24歳～29歳」、「30代」の年齢区分の女性が多く(33P)、転出先別件数割合として県内が約54.1%、県外が約44.7%を占めている。(32P)
  - ・静岡市に戻る希望の有無では、「あり」が44件、「なし」が60件、「わからない」が119件となっている。
- 「進学」を理由とする転出者
- ・「18歳～23歳」の年齢区分が最も多く(11P)、転出先別件数割合として県外が約88.8%と大多数を占め、東京だけでも約23.7%を占めている。また、海外への進学も7.3%と高い割合であった。(27P)
  - ・理由(小分類)としては、「元々、静岡市外の学校に進学したかった」が約52.9%、と過半数を占めている。(26P)
  - ・転出先「東京」に限定すると、転出理由(小分類)は、「元々、静岡市外の学校に進学したかった」が約63.4%を占め(28P)、転出先を「東京」に限定しない場合と比較すると「元々、静岡市外の学校に進学したかった」の割合が10.5ポイント高くなっていることから、最初から静岡市外(特に県外)への進学を希望している割合が高い(東京都はその割合が更に顕著)といえる。
  - ・静岡市に戻る希望の有無では、「あり」が「なし」を上回っているが、「わからない」の割合も高くなっている。(36P)
- 「住宅取得」を理由とする転出者
- ・「30代」、「未就学」、「24歳～29歳」の年齢区分が多く(11P)、転出先別件数割合として藤枝市、焼津市で約37.4%を占める。(30P)
  - ・理由(小分類)としては、「家族や配偶者が住んでいるため」、「通勤(通学)の便利なところへ転居」の割合が高かった。(31P)
  - ・「未就学」の年齢区分の転出者数が多く、「小学生」、「中学生」の転出者数が少ないことから、子どもの就学前に住宅取得をして転出する割合が高いといえる。逆に子どもの就学後の住宅取得については、学区内での取得が多いと推測できる。
  - ・静岡市に戻る希望の有無では、「なし」が「あり」を大幅に上回っている。(36P)

## 2. 転入

- 転入者の主な転入理由別の転入者数として、「転勤」、「就職」、「転職」、「結婚」、「進学」、「住宅取得」の理由順に転入者数が多かった。(44P、65P)
- 「転勤」を理由とする転入者
- ・「30代」、「24歳～29歳」、「40代」の年齢区分の男性、「30代」の年齢区分の女性が多く(44P、45P、46P)、転入元別件数割合として東京都、愛知県、神奈川県で約38.2%を占めている。(55P)
  - ・理由(小分類)としては、「事業所(職場)の都合」が約83.4%と大多数を占めている(56P)ことから、本人の希望によらない割合が高いといえる。
  - ・静岡市外へ移る予定の有無では、「あり」が「なし」を大幅に上回っている。(68P)
- 「就職」を理由とする転入者
- ・「18歳～23歳」の年齢区分が最も多く(44P)、転入元別件数割合として東京都の約10.2%が最も多いが、転出の場合と比較して、全体的に大都市など一定の地域に偏ることなく、幅広い地域から転入されている。(52P)
  - ・理由(小分類)としては、「事業所(職場)の都合」が約30.2%を占めているのに対し、「Uターン就職」が約12.1%、「出身地などに戻りたいため」が約3.5%となっている。(53P)
  - ・転入元「県外」に限定すると、転入理由(小分類)は、「事業所(職場)の都合」が約36.3%を占め(54P)、転入元を「県外」に限定しない場合と比較すると「事業所(職場)の都合」の割合が6.1ポイント高くなっていることから、静岡市内の支店等へ配属される割合が高い(県外はその割合が更に顕著)といえる。
  - ・静岡市外へ移る予定の有無では、「あり」が「なし」をやや上回っている。(68P)
- 「転職」を理由とする転入者
- ・「24歳～29歳」、「30代」の年齢区分が多く(44P)、転入元別件数割合として東京都の約12.9%が最も多いが、転出の場合と比較して、全体的に大都市など一定の地域に偏ることなく、幅広い地域から転入されている。(57P)
  - ・理由(小分類)としては「静岡市内で働きたい職場があったため」が約39.5%、「Uターン就職」が約16.0%、「出身地などに戻りたいため」が15.5%を占めている一方で、「事業所(職場)の都合」が約11.1%しかないことから(58P)、「就職」を理由に転入した場合と比較すると、自らが希望して静岡市へ戻ってきている割合が高いといえる。
  - ・静岡市外へ移る予定の有無では、「なし」が「あり」を大幅に上回っている。(68P)
- 「結婚」を理由とする転入者
- ・「24歳～29歳」、「30代」の年齢区分が多く(65P)、転入元別件数割合として県内が約51.7%、県外が約47.8%を占めている。(64P)
  - ・静岡市外へ移る予定の有無では、「あり」が19件、「なし」が71件、「わからない」が97件となっている。
- 「進学」を理由とする転入者
- ・「18歳～23歳」の年齢区分が最も多く(44P)、転入元別件数割合として東京都の約10.1%が最も多いが、転出の場合と比較して、全体的に大都市など一定の地域に偏ることなく、幅広い地域から転入されている。(60P)
  - ・区別では清水区への転入が最も多い。転入者の希望する学部として、他市に少ない「海洋・海技」関係の学部あることが、本市の特徴となっている。(59P)
  - ・静岡市外へ移る予定の有無では、「あり」が「なし」を上回っているが、「わからない」の割合も高くなっている。(68P)
- 「住宅取得」を理由とする転入者
- ・「30代」、「未就学」の年齢区分が多く(44P)、転入元別件数割合として県内で約75.6%を占める。(62P)
  - ・理由(小分類)としては、「新築・新しい住居の購入を希望していた」が41.3%を占めている(63P)
  - ・「未就学」の年齢区分の転入者数が多く、「小学生」、「中学生」の転入者数が少ないことから、子どもの就学前に住宅取得をして転入する割合が高いと考えられる。逆に子どもの就学後の住宅取得については、学区内での取得が多いと推測できる。
  - ・静岡市外へ移る予定の有無では、「なし」が「あり」を大幅に上回っている。(68P)



# 今まで、ありがとうございました！

## 転出される皆様へ アンケートに協力をお願いします



**転出者用**

**静岡市**

このアンケートの回答は、静岡市の各種政策立案等の資料として活用させていただきます。

静岡市企画課  
054-221-1024

### 1 今までの住所はどちらですか

(該当する項目の番号を○で囲み、下線に町名を記入してください。 例 ① 葵区 追手町 )

1. 葵区 \_\_\_\_\_ 2. 駿河区 \_\_\_\_\_ 3. 清水区 \_\_\_\_\_

### 2 引越先の住所について (該当する項目の番号を○で囲むか、その他欄への記入をお願いします。)

1. 県内 ⇒ 1.浜松市 2.藤枝市 3.富士市 4.焼津市 5.その他 ( ) 市町

2. 県外 ⇒ 1.東京都 2.神奈川県 3.愛知県 4.その他 ( ) 道府県

### 3 引越しされる方の内訳について (男女別、引越し日時点の年代別の人数をご記入ください)

	未就学	小学生	中学生	15～17歳 (中学生を除く)	18～ 23歳	24～ 29歳	30代	40代	50代	60歳 以上
男										
女										

### 4 引越しの理由について

① 引越しの理由について 最もあてはまる番号に1つ だけ○で囲んでください		② この欄のあてはまる番号を○で囲んでください (複数回答可)		③ 静岡 市に戻る 希望
仕事	1. 就 職 2. 転 勤 3. 転 職 4. 退 職 5. 定 年 後 再 就 職 6. そ の 他	⇒	1. 進学先で就職 2. 静岡市内で就職先を探したが見つからなかった 3. 静岡市外で働きたい職場があったため 4. 事業所(職場)の都合 5. 出身地などに戻りたいため 6. その他 ( )	⇒
進学	11.大 学 12.短期大学 13.専門学校 14.そ の 他	⇒	1. 元々、静岡市外の学校に進学したかった 2. 静岡市内の学校に進学したかったが、希望する専門分野がなかったため、静岡市外の学校に進学した ↓ (希望する学部・分野: ) 3. その他 ( )	⇒
暮らし (仕事、 進学以外)	21.住宅取得 22.そ の 他	⇒	1. 地価や家賃が高い 2. 通勤(通学)の便利なところへ転居 3. 結婚を機に転居 4. 出産、子どもの成長などで部屋が狭くなったため 5. 保育園へ入園しやすいところへ転居 6. 親などの介護のため 7. 津波・災害に対してより安全なところへ転居 8. 家族や配偶者が住んでいるため 9. その他 ( )	⇒

～ ご協力ありがとうございました。～

# ようこそ！ 葵区・駿河区・清水区へ 転入される方についての アンケートに協力をお願いします



このアンケートの回答は、静岡市の各種政策立案等の資料として活用させていただきます。

静岡市企画課  
054-221-1024

1 今までの住所はどちらですか（該当する項目の番号を○で囲むか、その他欄への記入をお願いします。）

1. 県内 ⇒	1. 浜松市	2. 藤枝市	3. 富士市	4. 焼津市	5. その他（	）	市 町
2. 県外 ⇒	1. 東京都	2. 神奈川県	3. 愛知県	4. その他（	）	道府県	

2 引越先の住所について（該当する項目の番号を○で囲み、下線に町名を記入してください。 例 ① 葵区 追手町 ）

1. 葵区 _____	2. 駿河区 _____	3. 清水区 _____
-------------	--------------	--------------

3 引越される方の内訳について（男女別、引越し日時点の年代別の人数をご記入ください）

	未就学	小学生	中学生	15～17歳 (中学生を除く)	18～ 23歳	24～ 29歳	30代	40代	50代	60歳 以上
男										
女										

4 引越しの理由について

① 引越しの理由について 最もあてはまる番号に1つ だけ○で囲んでください		② この欄のあてはまる番号を○で囲んでください (複数回答可)		③ 静岡市外へ移る 予定	
仕事	1. 就職 2. 転勤 3. 転職 4. 退職 5. 定年後再就職 6. その他	⇒	1. Uターン就職（地元を希望して就職） 2. 静岡市以外出身だが、進学先の静岡市内に就職 3. 静岡市内で働きたい職場があったため 4. 事業所（職場）の都合 5. 出身地などに戻りたいため 6. 出身地ではないが静岡市に住むことにした 7. その他（_____）	⇒	
進学	11. 大学 12. 短期大学 13. 専門学校 14. その他	⇒	1. 静岡県内の出身で、静岡市内の学校へ進学した 2. 静岡県外の出身で、希望する専門分野があったため静岡市内の学校へ進学した ↓ (希望の学部・分野：_____) 3. その他（_____）	⇒	1. ある 2. ない 3. わからない
暮らし (仕事、 進学以外)	21. 住宅取得 22. その他	⇒	1. 結婚を機に転居 2. 出産、こどもの成長などで部屋が狭くなったため 3. 保育園へ入園しやすいところへ転居 4. 親などの介護のため 5. 通勤（通学）が便利なところへ転居 6. 津波・災害に対して安全なところへ転居 7. 新築・新しい住居の購入を希望していた 8. 家族や配偶者が住んでいるため 9. その他（_____）	⇒	

～ ご協力ありがとうございました。～

転居される皆様へ アンケートに協力をお願いします



静岡市企画課  
054-221-1024

このアンケートの回答は、静岡市の各種政策立案等の資料として活用させていただきます。

1 今までの住所はどちらですか

(該当する項目の番号を○で囲み、下線に町名を記入してください。 例 ① 葵区 追手町 )

1. 葵区 \_\_\_\_\_ 2. 駿河区 \_\_\_\_\_ 3. 清水区 \_\_\_\_\_

2 引越先の住所について (該当する項目の番号を○で囲み、下線に町名を記入してください。)

1. 葵区 \_\_\_\_\_ 2. 駿河区 \_\_\_\_\_ 3. 清水区 \_\_\_\_\_

3 引越される方の内訳について (男女別、引越し日時点の年代別の人数をご記入ください)

	未就学	小学生	中学生	15~17歳 (中学生を除く)	18~ 23歳	24~ 29歳	30代	40代	50代	60歳 以上
男										
女										

4 引越しの理由について

この欄のあてはまる番号を○で囲んでください

**複数回答可**

1. 結婚を機に転居
2. 出産、こどもの成長などで部屋が狭くなったため
3. 保育園へ入園しやすいところへ転居
4. 親などの介護のため
5. 通勤(通学)が便利なところへ転居
6. 津波・災害に対して安全なところへ転居
7. 住宅を取得したため
8. 家族や配偶者が住んでいるため
9. その他 ( \_\_\_\_\_ )

静岡市では、人口減少に対応していくために  
必要なアンケートを行っています。  
(対象者は転出者・転入者・区間異動者)



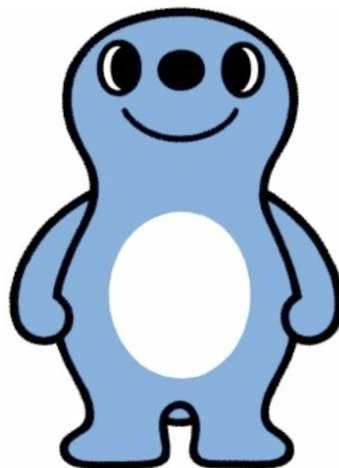
葵区PRキャラクター「あおいくん」

アンケートの回答は、主に静岡市の人口減少対策の各種政策立案等の資料として活用します。



駿河区の登呂遺跡・登呂博物館のイメージキャラクター「トロベー」

このアンケートは、静岡市がもっと魅力的な都市になるために必要です。



清水区広報キャラクター「シズラ」

お忙しいところ申し訳ありませんが、  
ぜひご協力をお願いいたします。

静岡市企画課  
054-221-1024